

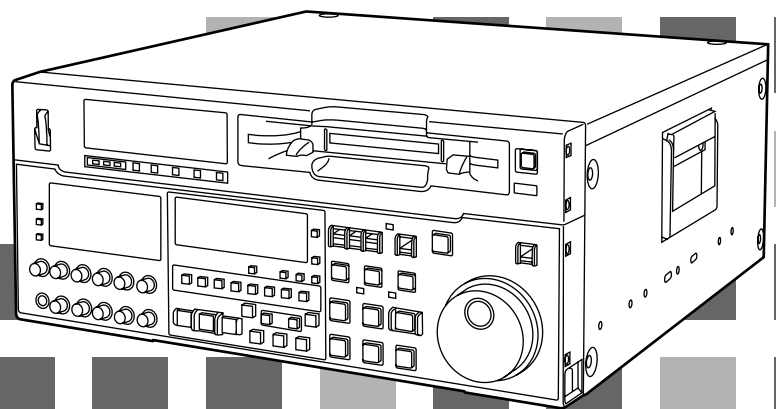
# Panasonic

**DVCPRO HD**

Digital HD Video Cassette Recorder

**AJ-HD150**

**取扱説明書**



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って上手に節電  
ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# 目次

---

安全上のご注意	4
概要・特長	8
各部の名称と機能	10
•フロントパネル部	10
•コネクタ部	19
フロントパネル下部の操作について	22
フロントパネル上部の操作について	25
接続	29
•1台での接続	29
•2台での接続例(デッキ対デッキ)	30
•編集コントローラとの接続例	31
テープ	32
電源投入/カセット挿入	33
STOP/STANDBYモード	34
記録	35
再生	36
ジョグ/シャトル	37
手動編集	38
プリロール	39
自動編集(デッキ対デッキ)	40
•スイッチの設定と調整	41
•編集モードの選択	42
•編集点の登録	43
•編集点の確認	44
•編集点の訂正	45
•プレビュー	46
•自動編集の実行	47
•レビュー	48
オーディオスプリット編集	49
MODE/SELボタンによる拡張モード実行	51
MULTI CUE機能	52

## 保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権(録画テープの取扱い)

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# 目次

---

STOP CODE機能	58
IC CARD機能	61
バリアブルメモリー機能	64
ERROR LOG機能	66
セットアップ(初期設定)	68
セットアップメニュー	69
• SYSTEMメニュー	73
• USERメニュー	75
• BASIC	75
• OPERATION	79
• INTERFACE	83
• EDIT	85
• TAPE PROTECT	88
• TIME CODE	89
• VIDEO	91
• AUDIO	96
• MENU	103
タイムコード/ユーザービットについて	104
内部/外部タイムコードの記録	105
タイムコード/ユーザービットの再生	106
スーパーインポーズ画面	107
音声の記録チャンネルとモニター出力の選択	108
回路板	109
ラックマウント	110
ビデオヘッドクリーニング	111
結露	111
エラーメッセージ	112
エラーメッセージ(AUTO OFF ランプ点灯)	114
RS-232Cインターフェース	116
コネクタの信号	123
定格	125

---

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

## オプション

- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P
- HD-SDフォーマットコンバータ AJ-UDC150P

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない！</p> <p> たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！ 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p>
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>•コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。</li></ul>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

指定のカバー以外は、  
外さない！



分解禁止

感電の原因となり  
ます。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

電源プラグは、根元ま  
で確実に差し込む！



感電の原因になりま  
す。

本機の裏ぶた・キャビ  
ネット・カバーなどを  
外さない！



分解禁止

感電の原因となりま  
す。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

本機を落としたり、破  
損した場合は、電源ス  
イッチを切り、電源プ  
ラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用する  
と、火災・感電を  
起こすおそれがあ  
ります。

本機の内部に水などが  
入った場合は、電源ス  
イッチを切り、電源プ  
ラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用する  
と、火災・感電を起  
こすおそれがありま  
す。

本機の内部に異物が入  
った場合は、電源ス  
イッチを切り、電源プ  
ラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用する  
と、火災・感電を起  
こすおそれがありま  
す。

煙が出ている、変なに  
おいや音がするなどの  
異常状態の場合は、電  
源スイッチを切り、電  
源プラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

火災・感電の原因と  
なります。  
お買い上げの販売店  
に、修理をご依頼く  
ださい。

電源コードが傷んだ場  
合は、交換を依頼す  
る！



そのまま使用する  
と、火災・感電を  
起こすおそれがあ  
ります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

電源プラグのほこりなど  
は、定期的にとる！



プラグにほこりがた  
まると、湿気等で絶  
縁不良となり、火災  
の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない！</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>持ち上げや移動には、十分注意する！</p> <p> 落としたりすると、けがの原因となります。</p> <p>• 10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど、慎重に取り扱ってください。</p>	<p>プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p> <p>• 必ずプラグを持って抜いてください。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない！</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p> <p>次のような使い方は、しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 本機を風通しの悪い所に押し込む。</li><li>• テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。</li></ul>
<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>	<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	
<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
<p>お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。</p>	<p>キャビネットを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤を使わない！</p> <p> 汚れた部分を柔らかい布で拭いてください。</p> <p>禁止</p>

# 概要・特長

---

## 概要

本機は、1/4インチ幅の小型カセットテープを使用したDVCPRO HDフォーマットのHDデジタルビデオカセットレコーダです。

HD信号(1080i/720p、59.94Hz/60Hz)の記録・再生・編集ができ、既存のDVCPRO(25Mbps/50Mbps)の再生が可能なスタジオデジタルVTRです。オプションのフォーマットコンバータのHD-SD変換により既存のSDシステムとのインターフェースやHDシステムへの展開が可能です。

高効率デジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっていますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップのための各設定は、上フロントの表示管か、モニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行い、編集機能として、アSEMBル・インサートの両編集が行えます。

## 特長

### 小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウントアダプタ(オプション、AJ-MA75P)を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

### 最大46分記録

使用するカセットテープは、Lカセット(最大46分用)です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

### 高画質

既存DVCPROの4倍の記録レート(100Mbps)を持った4:2:2 HDコンポーネント信号記録により高画質を実現しています。

### 1080i/720p、59.94Hz/60Hzスイッチャブル

メニューで切換えることにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。

### SDIインターフェース

HDシリアルデジタルインターフェースを標準装備しています。

### DVCPROとの互換再生

既存のDVCPRO(25Mbps/50Mbps)で記録されたテープを本機で再生することができます。また、民生のDVテープ(SP)も本機で再生することができます。

### デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、-1倍速から+1倍速までクリアな再生が行えます。

### <ノート>

±1倍速に限りなく近いスピードのスロー再生(外部コントローラを使った場合)時、多少のノイズが発生することがあります。

### サーチ速度

サーチ速度は正・逆方向に最大50倍速までカラー画像で再生が可能です。



# 概要・特長

---

## 特長（つづき）

### タイムコード

本機はTCG(タイムコードジェネレータ)/TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力をLTCとして本機に記録することが可能です。

### 多機能なインターフェース

#### • シリアルデジタル入出力

HDコンポーネントシリアルインターフェース入出力を装備しており、HDコンポーネント映像信号と8チャンネルのデジタルオーディオを1本のBNCでインターフェースすることができます。(SMPTE 292M/BTA S-004)

また、HD - SDフォーマットコンバータ基板(オプション)を内蔵することにより、SDコンポーネントシリアル信号をも出力することができます。(SMPTE 259M-C、272M、294M)

#### • アナログビデオ出力

コンポジット出力は標準装備です。DVCPRO互換再生、DV再生、ダウンコン時に出力します。それ以外はブラックバースト信号が出力されます。

#### • AES/EBUオーディオ入出力

8チャンネルのデジタルオーディオ入出力端子を装備しています。

#### • SDTI入出力

SDTIボード(オプション)を使用しますと、圧縮されたコンポーネント信号のままインターフェースが行えます。(SMPTE 305M)

#### • 9ピンRS-422A/RS-232Cリモート

標準的な9ピンシリアルリモート(RS-422A)の他、RS-232Cおよび50ピンパラレルのリモート端子を装備しています。

RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

### 8チャンネルの高音質デジタルオーディオ

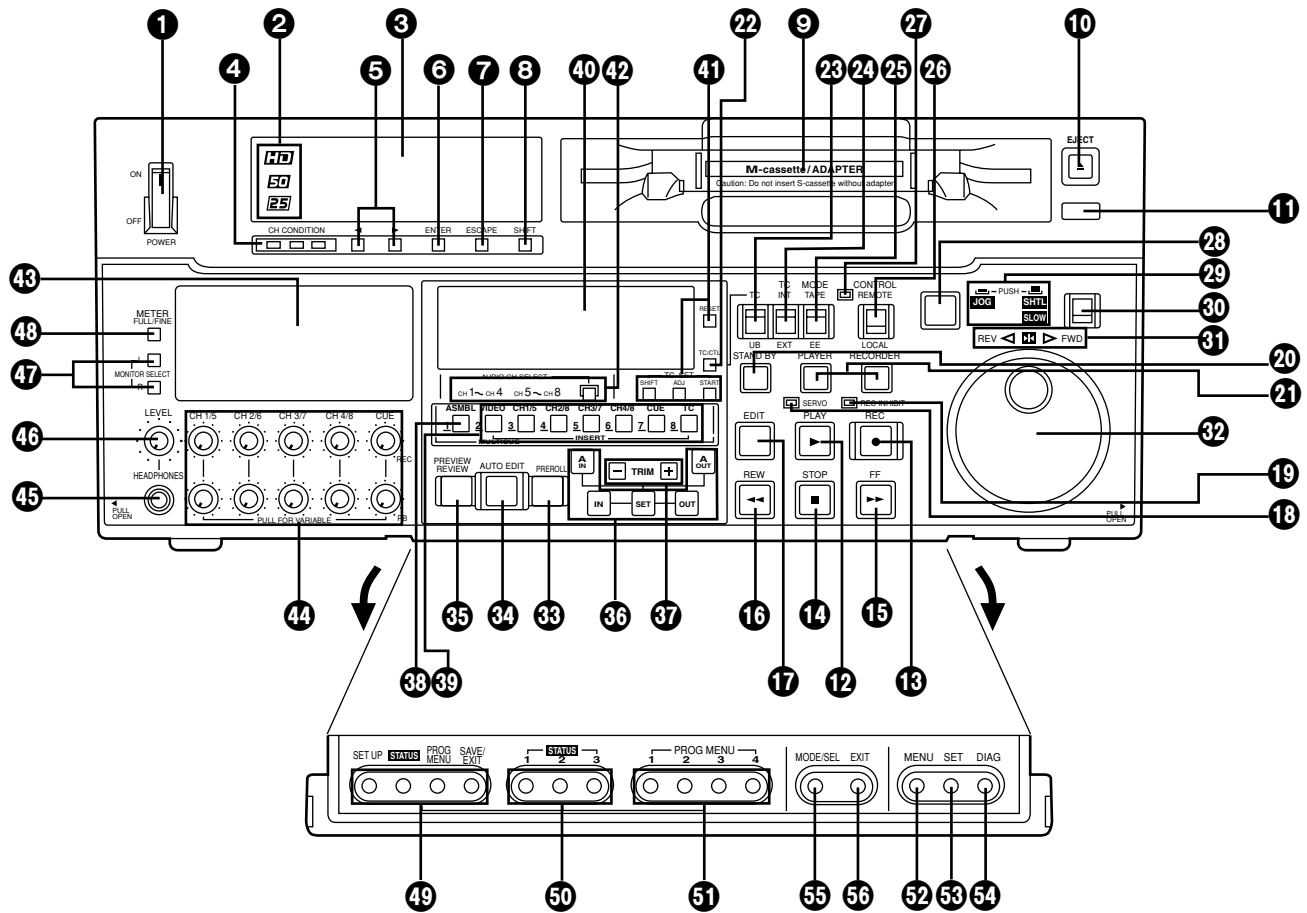
8チャンネルのPCMオーディオを持ち、8チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能です。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

### メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

# 各部の名称と機能

## フロントパネル部



# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル上部

- ① POWER スイッチ
- ② TVシステム/フォーマット表示部  
再生時のフォーマットが表示されます。  
HD : DVCPRO HDの記録および再生モードを示します。  
50M : DVCPRQ(50Mbpsフォーマット)の再生モードを示します。  
25M : DVCPRQ(25Mbpsフォーマット) DVまたはDVCAMの再生モードを示します。
- ③ VTRステータス表示部  
VTRの状態の表示、プログラマブルメニューの表示、セットアップメニューの表示をします。  
<ステータス表示>  
フロントサブパネルでユーザー定義されたVTRの状態(フォーマット、フィールド周波数、ビデオ/オーディオ入力、タイムコードなど)を表示します。  
<プログラマブルメニューの表示>  
フロントサブパネルでユーザー定義されたセットアップメニューを表示し、⑤、⑥、⑦、⑧のボタンにより設定を変更できます。  
<セットアップメニューの表示>  
MENUボタン⑨により、セットアップメニューを表示します。
- ④ チャンネルコンディション・ランプ  
エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑 アンバー 赤)  
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。  
アンバー : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。このランプが点灯しても、再生画は正常です。  
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。
- ⑤ スクロールボタン  
ステータス表示時は、左右にスクロールさせます。  
プログラマブルメニュー表示時は、上下にスクロールさせます。
- ⑥ ENTERボタン  
プログラマブルメニュー表示時、項目の確定および設定値の確定するときに押します。
- ⑦ ESCAPEボタン  
プログラマブルメニュー表示時、設定の無視、解除時に押します。
- ⑧ SHIFTボタン  
プログラマブルメニューの設定値を変更する時、SHIFTボタンを押しながらスクロールボタンを押すと高速に値を可変できます。
- ⑨ カセット挿入口
- ⑩ EJECT ボタン  
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。  
カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。
- ⑪ AUTO OFFランプ  
本機の動作に異常が発生した時に点灯します。

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ⑫ PLAYボタン  
押すと再生が始まります。  
RECボタンと同時に押すと記録が、PLAY中にEDITボタンと同時に押すと手動編集が始まります。ただし、サーボがロックしていない時は手動編集には入りません。  
手動編集中にPLAYボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。
- ⑬ RECボタン  
このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。  
再生、サーチ\*<sup>1</sup>、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押ししている間、E-Eモードの画像と音声信号をモニターすることができます。  
ストップモード中にこのボタンを押すと、E-Eモードの画像と音声モニターできます。  
STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。
- ⑭ STOPボタン  
押すとテープ走行が停止し、TAPE/EE切換スイッチが「TAPE」の時には静止画をモニターすることができます。  
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。  
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。  
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
- ⑮ FFボタン\*<sup>2</sup>  
押すと、テープを早送りします。
- ⑯ REWボタン\*<sup>2</sup>  
押すと、テープを巻き戻します。
- ⑰ EDITボタン  
手動編集をする時、PLAY中にこのボタンとPLAYボタンとを同時に押します。  
ストップモード中にこのボタンを押すと、ASMBLボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。  
STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。  
再生、サーチ\*<sup>1</sup>、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押ししている間、ASMBLボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。
- ⑱ SERVOランプ  
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。
- ⑲ REC INHIBITランプ  
下記状態の時点灯し、記録および編集はできません。  
(関連するセットアップメニューNo.022、No.023、No.113、No.114、No.117、No.118)  
1. セットアップメニューNo.113(REC INH)が「1(ON)」の時  
2. カセットが誤除去防止状態になっている時  
3. セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)で「MANUAL」を選択し、No.023(FORMAT SEL)で「50M/25M/50Mp/DV/DVCAM」を選択し、No.118(SD MODE INH)で「ON」を選択し、テープが挿入されている時  
4. セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)で「AUTO」を選択し、No.118(SD MODE INH)で「ON」を選択し、DVCPRO/DVCPRO50/DVCPRO50P/DV/DVCAMテープが挿入されている時  
5. セットアップメニューNo.117(M CASSTT INH)で「ON」を選択し、Mカセットテープが挿入されている時
- \*<sup>1</sup> サーチモードでのオーディオの再生音は保障できません。  
\*<sup>2</sup> 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102(FF、REW MAX)で選択ができます。

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ⑳ STAND BYボタン  
通常のSTOP時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転中はボタンが点灯してスタンバイONモードであることを示します。  
スタンバイOFFモードの時は、ハーフロード・モードになります。ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。  
また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。  
スタンバイOFFモードの時にこのボタンを押すか、またはSTOPボタンを押すと、スタンバイONモードになります。  
また、STOPボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。  
スタンバイOFFモードへの移行時間はオンスクリーン上で設定できます。
- ㉑ PLAYER/RECORDERボタン  
本機とRS-422Aシリアルインターフェースのリモコン端子(9ピン)を装備したVTRを使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。  
PLAYERボタン : 押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。  
RECORDER ボタン : 押すとランプが点灯し、編集テープ走行系のボタンはレコーダ(本機)に対して働くようになります。  
また、セットアップメニューNo.200(PARA RUN)で「ENA」を選択した状態で、PLAYERボタンまたはRECORDERボタンを押すことにより、両方のランプが点灯し、本機がパララン(パラレルラン)操作時のマスター機となります。[ただし、本設定時にはREMOTE端子(9ピン)からの外部コントロールはできなくなります。]
- ㉒ TC/CTLスイッチ  
このスイッチを押すことにより、カウンタ表示部の表示がTC CTL TC・・・と変化します。また、TC選択時には、TC/UBスイッチの選択に応じて、TCもしくはUBの値を表示します。
- ㉓ TC/UBスイッチ  
TC/CTLスイッチがTCの時に、カウンタ表示部にTCの値を表示するか、UBの値を表示するかを選択スイッチです。
- ㉔ INT/EXTスイッチ  
INT : 内蔵タイムコード・ジェネレータを使用します。  
EXT : タイムコード入力端子より入力する外部タイムコードを使用します。
- ㉕ TAPE/EEスイッチ  
<STOP時>  
TAPE : テープから再生される信号を出力します。  
EE : セットアップメニューNo.600(VIDEO IN SEL)とNo.700(AUDIO IN SEL)で選択された入力信号を出力します。  
<記録/編集\*時>  
TAPE : 同時再生信号を出力します。  
EE : セットアップメニューNo.600(VIDEO IN SEL)とNo.700(AUDIO IN SEL)で選択された入力信号を出力します。  
\*セットアップメニューNo.302(CONFI EDIT)の設定が必要です。

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ②6 REMOTE/LOCALスイッチ  
REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切換えます。  
REMOTE : 9ピンのREMOTE もしくはRS-232C、パラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。  
LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。
- ②7 REMOTEランプ  
REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。
- ②8 サーチボタン  
押すとサーチモードになります。  
サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。
- ②9 JOG/SHTL/SLOWランプ  
サーチダイヤルとSHTL/SLOWスイッチの現在の状態を表示します。  
JOG(ジョグ) : JOGモード時に点灯します。  
SHTL(シャトル): SHTLモード時に点灯します。  
SLOW(スロー) : SLOWモード時に点灯します。
- ③0 SHTL/SLOW スイッチ  
サーチダイヤルをSHTL用、もしくはSLOW用として用いる時の選択スイッチです。
- ③1 REV/STILL/FWDランプ  
サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。  
REV : ダイアルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがREV方向に走行します。  
STILL : JOGモード時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープ走行も停止します。  
SHTLモード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。  
FWD : ダイアルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがFWD方向に走行します。
- ③2 サーチダイヤル  
編集点を探すためのダイヤルです。  
ダイヤルは一度押すごとにシャトルモードとジョグモードが交互に切替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。  
POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILL位置に戻らないと動作しません。  
SHTLモード : SHTL/SLOWスイッチがSHTLの時、ダイヤルを回し、任意の位置で止め(シャトル)ると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。  
SLOWモード : SHTL/SLOW スイッチがSLOWの時には、ダイヤルを左一杯に回すと - 4.1倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと+4.1倍速になります。SLOWの速度はセットアップメニューNo.30( VAR FWD MAX )、No.30( VAR REV MAX )で選択できます。  
JOGモード : ダイアルにクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じた速度( - 1倍速(ジョグ) ~ +1倍速)で再生します。

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ③③ PREROLL ボタン  
送人や手動編集の頭出しに使用します。  
押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。  
プリロール時間は、セットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定できます。  
INまたはOUTボタンと同時に押すと、その登録点にキューアップすることができます。  
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動登録します。(ただしセットアップメニューNo.305(AUTO ENTRY)を「ENA」にした場合)
- ③④ AUTO EDIT ボタン  
編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。  
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動編集を実行します。
- ③⑤ PREVIEW/REVIEWボタン  
PREVIEW : 編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにプレビューができます。  
IN点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点をIN点として登録し、プレビューを実行します。  
REVIEW : 1区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダ側のモニターで見ることができます。
- ③⑥ IN(A IN)/SET/OUT(A OUT)ボタン  
SETボタンと同時に押し、IN(A IN)/OUT(A OUT)点を登録します。  
A IN/A OUTは、オーディオスプリット編集を行う時、ビデオと異なるオーディオのIN/OUT点を登録するために使用します。  
IN(A IN)/OUT(A OUT)点が登録されている時には、登録されているIN(A IN)ボタン、もしくはOUT(A OUT)ボタンが点灯します。  
登録した後にこれらのボタンを押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の値がカウンタ表示部に表示されます。  
IN(A IN)/OUT(A OUT)ボタンとRESETボタンを同時に押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の登録が削除できます。
- ③⑦ TRIMボタン  
IN/OUT点の微修整用のボタンです。  
INボタンまたはOUTボタンを押しながら、+または-ボタンを押すと、登録した編集点を1フレーム単位で修整できます。+ボタンを押すと1フレーム進み、-ボタンを押すと1フレーム戻ります。
- ③⑧ ASMBLボタン  
アセンブル編集をする時に押します。  
ボタンは自照式で、一度押すとON(点灯)、もう一度押すとOFF(消灯)になります。
- ③⑨ INSERTボタン  
インサート編集をする時、7つのボタンのうち希望のボタンを押して編集する入力信号を選択します。ボタンは自照式で、一度押すとON(点灯)、もう一度押すとOFF(消灯)になります。  
オーディオ(CH1~CH8)の割りつけは、AUDIO CH SELECTボタン④②によってCH1~4またはCH5~8に設定されます。

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

### ④① カウンタ表示部

TC、CTLのカウント値、UBや各種メッセージを表示します。

カセット挿入表示ランプ：

本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。

DVCPROフォーマット(25Mbps/50Mbps)カセット再生表示ランプ：

DVCPROフォーマット(25Mbps/50Mbps)で記録されたカセットが再生されている時に点灯します。

SCH ランプ：

SDREF信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。

CFランプ：

カラーフレーミングがロックしている時に点灯します。

TC/UBランプ：

テープ再生中にTCやUBの情報が読めない時、点滅します。正常に読んでいる時は点灯しています。

### ④② タイムコードボタン

TC/UBの値を設定する時に使用します。

SHIFT : TCやUBの値を設定する時には、まずこのボタンを押してデータの歩進を止めます。表示が点滅している桁を変更します。

一度押すたびに表示の点滅が一桁ずつ右に移動し、一番右桁までいくと一番左の桁まで戻ります。

押し続けると、次々に移動します。

ADJ : 表示が点滅している桁の数字を変更します。

一度押すたびに数値が1つずつ増加し、押し続けると次々に増加します。

START : SHIFT/ADJで変更されたデータを確定します。

またTC、UBの設定をしていない時に押すと、TCGまたはUBGの設定値を確認できます。

RESET : CTLモード時は、ボタンを押すと表示が[00:00:00:00]になります。

また、CTLモード時には、登録されている編集点は消去されます。

TC/UBモード時は、SHIFTボタンとの同時押しで、ジェネレータをリセットします。

### ④③ オーディオチャンネル切換

CH1～CH4またはCH5～CH8のオーディオメーター/ボリューム/インサートボタンの表示、制御をこのボタンで切換えます。

### ④④ レベルメータ

PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4(CH5/CH6/CH7/CH8)と、CUEトラック信号の各レベルを表示します。

オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。



# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ④④ オーディオ入出力レベルの調整ボリューム  
PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8と、CUEトラック信号の各記録および再生レベルを調整するボリュームです。  
上段に配置されている各ボリュームが記録レベルの調整用ボリュームです。  
下段に配置されている各ボリュームが再生レベルの調整用ボリュームです。  
各ボリュームは“PULL FOR VARIABLE”形式で、ボリュームを引き上げた時に初めて調整が可能です。ボリュームを押し下げた時には、各信号レベルがユニティ値(初期値)になります。  
また、AUDIO CH SELECTボタン④⑤でCH1～CH4とCH5～CH8を切換えた時、以前の情報は次に動かされるまで保持されています。
- ④⑤ ヘッドホンジャック  
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ④⑥ 音量調整ボリューム  
ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。  
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニューNo.713(MONI OUT)で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。)分離させた時には、モニター出力はユニティ値(初期値)になります。
- ④⑦ MONITOR SELECTスイッチ  
モニターL/Rに出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。  
「L」ボタンを押すたびに、モニターLに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8、CUE、CH1、・・・と切換えます。  
(セットアップメニューNo.734(MONITOR MIX L)でOFF以外を選択した場合は、切換えはできなくなります。)  
また、「R」ボタンを押すたびに、モニターRに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8、CUE、CH1、・・・と切換えます。  
(セットアップメニューNo.735(MONITOR MIX R)でOFF以外を選択した場合は、切換えはできなくなります。)  
今、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部のL/Rのランプの点灯で示しています。(セットアップメニューNo.745(MONI CH SEL)がAUTOの時は、モニター出力に合わせて表示が切換わります。)  
また、AUDIO CH SELECTによってそのチャンネルの表示面になっていない場合は、点滅で示します。
- ④⑧ METER(FULL/FINE)切換スイッチ  
オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切換えるボタンです。  
FULLモード : 標準目盛りになります。( - ~ 0 dBの範囲 )  
FINEモード : 0.5 dBごとのスケールになります。

# 各部の名称と機能

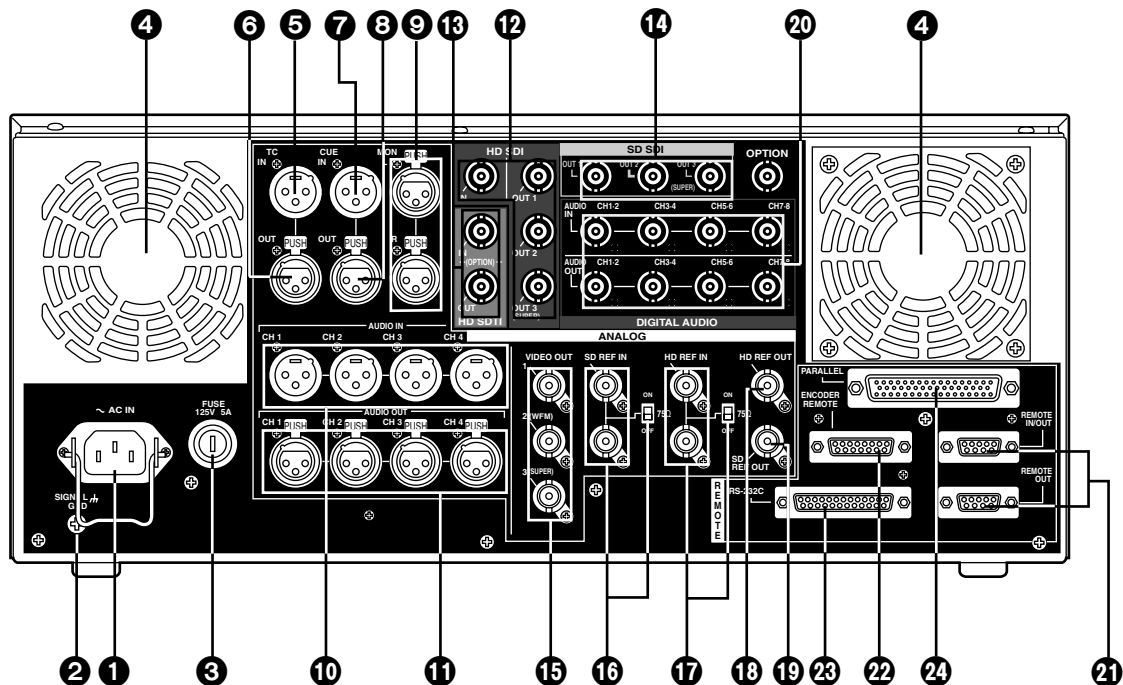
---

## フロントパネル下部

- ④9 ユーザーアサインスイッチ  
VTRステータス/プログラブルメニューを登録することができます。  
詳しくは22ページを参照してください。
- ⑤0 ステータス切換スイッチ  
ユーザーアサインスイッチで3通り登録することができます。  
詳しくは22ページを参照してください。
- ⑤1 プログラブルメニュー切換スイッチ  
ユーザーアサインスイッチで4通り登録することができます。  
詳しくは22ページを参照してください。
- ⑤2 MENUボタン  
このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを表示します。  
(HD SDI OUT3、SD SDI OUT3、VIDEO OUT3端子を使用している時)  
また、本機の上フロント表示部にはセットアップメニュー番号と項目を表示します。再度押すと、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。
- ⑤3 SETボタン  
このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。  
データ確定後は、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。
- ⑤4 DIAGボタン  
このボタンを押すとVTRの情報をオンスクリーンに表示します。  
再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。  
VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。  
これらの情報の表示切換えは、サーチボタンを押すことによって行います。  
「HOURS METER」画面では通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の入切回数等を表示します。  
「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。
- ⑤5 MODE/SELボタン  
MULTI CUE動作など「拡張モード」に入ります。  
詳しくは51ページを参照してください。
- ⑤6 EXITボタン  
MULTI CUE動作などの「拡張モード」から抜けだし、もとに戻ります。

# 各部の名称と機能

## コネクタ部



- ① AC IN コネクタ  
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② SIGNAL GND 端子  
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ ヒューズホルダ  
5Aのヒューズが入っています。
- ④ ファンモータ  
本機の冷却用のファンモータです。  
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、**W**ランプが点灯します。  
ワーニングの状態でも継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ TIME CODE IN 端子  
外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

# 各部の名称と機能

---

## コネクタ部

- ⑥ TIME CODE OUT端子  
再生時は再生タイムコードを出力します。  
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。
  
- ⑦ CUE IN端子  
CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。  
セットアップメニューNo.705(CUE IN LV)で - 60dB入力モードを選択することにより、  
マイクからの音声信号の記録もできます。
  
- ⑧ CUE OUT端子  
CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。
  
- ⑨ MONITOR OUT端子  
再生時には、PCMオーディオ信号CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8、もしくはCUEトラックからの再生信号を出力します。
  
- ⑩ ANALOG AUDIO IN端子  
アナログオーディオの入力端子です。(CH1/CH2/CH3/CH4)
  
- ⑪ ANALOG AUDIO OUT端子  
アナログ・オーディオ信号を出力します。(CH1/CH2/CH3/CH4)
  
- ⑫ HD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子  
SMPTE 292M規格に準拠した、HDデジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。  
HD SDI OUT3からは、TC/メニューなどスーパー付きで出力します。
  
- ⑬ SDTI IN/OUT端子(オプション)  
SMPTE305M規格に準拠した圧縮データの入出力信号です。
  
- ⑭ SD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO OUT端子  
SMPTE 259M-C、272M、294M規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の出力端子です。  
DVCPRO25M/50M/DV/DVCAM互換再生時、ダウンコン出力時(オプション)に出力します。  
SD SDI OUT3からは、TC/メニューなどスーパー付きで出力します。
  
- ⑮ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。  
DVCPRO25M/50M/DV/DVCAM互換再生時、ダウンコン出力時(オプション)に出力します。  
VIDEO OUT3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。  
スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo.005(SUPER)で選択します。  
VIDEO OUT2の端子は、WFM(ウェーブフォーム)OUTとして使用することができます。  
メニューで切換えられる信号はTC、CTL、VIDEO、RF L/R、ENV L/Rです。

# 各部の名称と機能

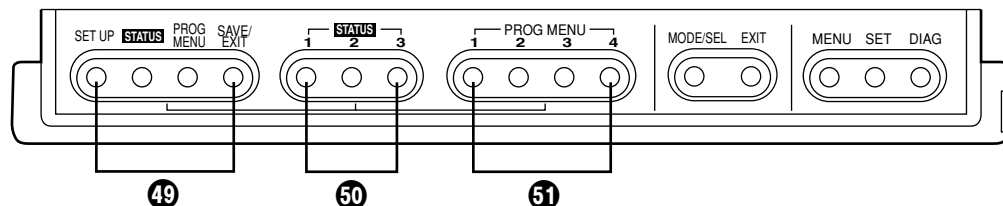
---

## コネクタ部

- ⑩ SD REF IN端子と75 終端スイッチ  
SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子です。カラーバースト付きのNTSC信号を入力してください。終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑪ HD REF IN端子と75 終端スイッチ  
HDリファレンス・ビデオ信号の入力端子です。正負両極性3値同期信号を入力してください。終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑫ HD REF OUT端子  
外部同期用のHDリファレンス・ビデオ信号の出力端子です。  
正負両極性3値同期信号を出力します。  
フィールド周波数は入力信号に同期します。(入力がない場合は、メニューに従います。)
- ⑬ SD REF OUT端子  
NTSC外部同期用の信号(ブラックバースト信号)を出力します。
- ⑭ DIGITAL AUDIO IN/OUT端子  
AES/EBU規格に準拠したデジタル・オーディオ信号の入出力端子です。
- ⑮ リモートコントロール端子  
本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。  
リモートコントロール端子は、IN/OUT用とOUT用との2つがあります。  
IN/OUT : 外部コントローラと接続  
          デッキ対デッキ操作時に接続  
OUT      : パララン操作時に接続  
          ループスルーとして使用
- ⑯ ENCODER REMOTE端子  
ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダーリモートコントローラを接続します。
- ⑰ RS-232C端子
- ⑱ PARALLEL REMOTE端子  
本機を外部から操作する時に使用します。

# フロントパネル下部の操作について

STATUS1～3ボタン⑤⑩およびPROG MENU1～4ボタン⑤⑪に対して、SETUP、STATUS、PROG MENU、SAVE/EXITボタン④⑨を使用することで、希望するステータス情報およびセットアップメニュー項目を登録することができます。登録後は、STATUS1～3ボタン⑤⑩またはPROG MENU1～4ボタン⑤⑪のいずれかを押すことにより、登録内容をVTRステータス表示部③に表示されます。



## 登録できる項目

ボタンに登録できる項目として、以下のような項目があります。

- STATUS : 記録フォーマット、再生フォーマットなどを各ボタンに対して9個まで登録することができます。(項目および内容の説明はVTRステータス項目一覧を参照してください。)
- PROG MENU : セットアップメニューの000番台～700番台の項目を各ボタンに対して9個まで登録することができます。ただし、セットアップメニューNo.680 (BLANK LINE)のサブメニュー項目は登録できません。

## 登録方法

登録はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビと本機のコネクタ部のVIDEO OUT3端子を接続し、登録メニューを表示させてください。

- 1 SETUPボタンを押します。  
モニターテレビに登録操作を開始するメッセージが表示されます。

```
-ASSIGNMENT MODE-  
  
select any key!  
  
MENU    :<PROG MENU>  
STATUS  :<STATUS>  
EXIT    :<SETUP>
```

- 2 目的に合わせてボタンを選択します。
  - PROG MENUボタン : PROG MENU1～4ボタンにセットアップメニューを登録するための登録メニューが表示されます。
  - STATUSボタン : STATUS1～3ボタンにVTRステータスを登録するための登録メニューが表示されます。
  - SETUPボタン : 登録操作をキャンセルします。

# フロントパネル下部の操作について

- 3 サーチダイヤルを回して登録する項目を選択します。  
メニュー画面のカーソル( \* )が移動します。

セットアップメニュー登録の表示メニュー例

```
ASSIGN-MENU BASIC
<USER>      NO.000 - 1---
*000 P-ROLL TIME  1---
 001 LOCAL ENA    -2--
 002 TAPE TIMER   --3-
 003 REMAIN SEL   ----
 004 SYNCHRONIZE  ----
 005 SUPER        ----
 006 DISPLAY SEL  ----
 007 CHARA H-POS  ----
 008 CHARA V-POS  ----
```

VTRステータス登録の表示メニュー例

```
ASSIGN-MENU
<STATUS>     NO.000 - 1---
*000 REC FORMAT  1---
 001 REF OUT     -2--
 002 PB FLD RATE --3-
 003 REC FLD RATE ----
 004 HD OUT      ----
 005 SD OUT      ----
 006 UFC         ----
END             ----
```

- 4 セットアップメニュー登録時：登録する項目の位置でPROG MENU1～4ボタンから登録させたいボタンを選択し、押します。  
VTRステータス登録時：登録する項目の位置で STATUS1～3ボタンから登録させたいボタンを選択し、押します。  
押されたボタンに従ってボタン番号が表示されます。再び同じボタンを押すと、ボタン番号は非表示になります。

- 5 登録する項目がある場合は3～4の操作をを繰り返します。

- 6 SAVE/EXITボタンを押します。  
登録した内容は記憶されます。(ただし、複数の項目を登録した場合は項目番号の小さいものから順に記憶されます。)  
登録した内容を登録前に戻す場合は、STOPボタンを押します。

# フロントパネル下部の操作について

---

登録の内容を工場出荷(初期設定)に戻す時は、登録メニューが表示されている時にRESETボタンを押します。以下のメッセージが表示されます。

セットアップメニュー登録のリセット操作表示メニュー例

```
ASSIGN-MENU INIT SET

select any key!

ALL      <PLAY>
MENU1    <MENU1>
MENU2    <MENU2>
MWNUN3   <MENU3>
MENU4    <MENU4>
CANCEL   <STOP>
```

PLAYボタン : PROG MENU1 ~ 4ボタン⑩の登録内容は工場出荷時の設定になります。

PROG MENU1 ~ 4ボタン : 押されたボタンは未登録状態となります。

CANCELボタン : リセット操作をキャンセルします。

VTRステータス登録のリセット操作表示メニュー例

```
ASSIGN-MENU INIT SET

select any key!

ALL      <PLAY>
STATUS1 <STATUS1>
STATUS2 <STATUS2>
STATUS3 <STATUS3>
CANCEL   <STOP>
```

PLAYボタン : STATUS1 ~ 3ボタン⑪の登録内容は工場出荷時の設定になります。

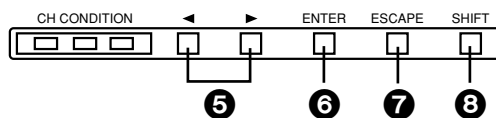
STATUS1 ~ 3 : 押されたボタンは未登録状態となります。

CANCELボタン : リセット操作をキャンセルします。



# フロントパネル上部の操作について

フロント下部のSTATUS1～3<sup>⑤</sup>、PROG MENU1～4<sup>⑥</sup>のいずれかのボタンを選択することにより、VTRステータス表示部<sup>④</sup>に登録内容を呼び出すことができます。  
呼び出された項目は下記のボタンにより操作を行うことができます。



## 1-1. VTRステータスの表示

電源立ち上げ時はSTATUS1ボタンに登録されている内容が表示され、以降はSTATUS1～3ボタン<sup>⑤</sup>を押すと切り換えができます。

(ステータス表示例)

R	E	C	F	R	M		R	E	F	O	U	T	.	.	.	.	.	.
I	0	8	0	i			I	N	T	5	9		.	.	.	.	.	.

- 各項目は6文字単位で構成されています。一度に3項目を同時に表示することができます。
- 1行目に項目名称を表示し、2行目に状態を表示します。
- 登録項目数が4項目以上ある場合は、スクロールボタン<sup>⑤</sup>を押すことにより、左右にスクロールすることができます。
- 登録項目が3項目未満の場合は、未登録部を「.....」で表示します。

## 2-1. 登録メニューの表示

PROG MENU1～4<sup>⑥</sup>ボタンを押すと、登録されているセットアップメニューが表示されます。

(登録メニュー表示例)

*	P		R	O	L	L		T	I	M	E						5	s
	L	O	C	A	L		E	N	A					S	T	&	E	J

- 1桁 : 項目選択カーソル[\*] / 設定値変更中マーク[!]
- 2～13桁 : メニュー項目名称(12文字表示)
- 14桁 : 項目選択カーソル
- 15～20桁 : 設定値(6文字表示)

- 登録メニューは一度に2項目を同時に表示できます。
- 登録項目が3項目以上ある場合は、スクロールボタン<sup>⑤</sup>を押すことにより、上下にスクロールすることができます。
- 設定値は、現在選択されているユーザーファイル(USER1～USER5)が反映されています。

# フロントパネル上部の操作について

## 2-2. 登録メニューの設定値変更方法

- メニューの選択 : スクロールボタン⑤を押し、項目選択カーソル[\*]を上下に移動させて、項目を選択します。
- 変更モードへの移行 : ENTERボタン⑥を押し、設定値の変更モードへ移行させます。変更モードへ移行したかどうかは、項目選択マークが14桁目に移動することで認識することができます。
- 設定値の変更 : スクロールボタン⑤を押し、設定値を変更します。現状設定値に対して値を変更させた場合は、その状態を明示するために、1桁目に設定値変更中マーク[!]を表示します。

!	P		R	O	L	L		T	I	M	E	*					7	s
	L	O	C	A	L		E	N	A					S	T	&	E	J

- 設定値の可変範囲の大きい項目に対しては、SHIFTボタン③を押しながらスクロールボタン⑤を押し続けると、高速にインクリメントまたはデクリメントすることができます。
- 変更内容の確定 : ENTERボタン⑥を押すと、設定変更が確定され、メニューの選択状態に戻ります。
- 変更の解除 : ESCAPEボタン⑦を押すと、設定変更が無視され、メニューの選択状態に戻ります。

### <ノート>

現在選択されているユーザーファイルがUSER2～USER5のいずれかであり、セットアップメニューNo.A03(MENU LOCK)で1(ロック設定)が選択されている場合は、設定値の変更モードへの移行ができません。

# フロントパネル上部の操作について

## VTR ステータス項目一覧表

登録メニュー名称		VTRステータス表示部の名称	表示内容
000	REC FORMAT	REC FMT	記録フォーマットを表示します。 1080i : 1080iで記録します。 720p : 720pで記録します。
001	REF OUT	REFOUT	出力リファレンスの状態を表示します。 HD_59 : HD_REF入力のリファレンスに選択されています。FLD 周波数は59.94Hzです。 HD_60 : HD_REF入力のリファレンスに選択されています。FLD 周波数は60Hzです。 IN_59 : HDシリアル入力のリファレンスに選択されています。FLD 周波数は59.94Hzです。 IN_60 : HDシリアル入力のリファレンスに選択されています。FLD 周波数は60Hzです。 INT59 : 内部発信器(59.94 Hz)のリファレンスに選択されています。 INT60 : 内部発信器(60 Hz)のリファレンスに選択されています。 NTSC59 : SD_REF入力のリファレンスに選択されています。FLD 周波数は59.94 Hzです。 INT59N : OUT_REFの設定でSD_REFが選択されています。SD_REF信号が入力されていないため、内部発信器(59.94 Hz)を使用しています。
002	PB FLD RATE	PB_FLD	テープの再生信号から、テープに記録された時のFLD周波数を表示します。 59.94 : FLD周波数が59.94 Hzで記録されたテープです。 60 : FLD周波数が60 Hzで記録されたテープです。
003	REC FLD RATE	RECFLD	テープに記録するFLD周波数を表示します。 59.94 : FLD周波数59.94Hzでテープに記録します。 60 : FLD周波数60 Hzでテープに記録します。
004	HD OUT	HD_OUT	HDシリアル出力の状態を表示します。 1080i : HDシリアル出力は1080iです。 720P : HDシリアル出力は、720Pです。 NONE : セットアップメニューNo.626～No.630の設定に従い、出力がミュート状態です。
005	SD OUT	SD_OUT	SDシリアル出力の状態を表示します。 480i : SDシリアル出力は、480iです。 480P : SDシリアル出力は、480pです。 NONE : セットアップメニューNo.626～No.630の設定に従い、出力がミュート状態です。

# フロントパネル上部の操作について

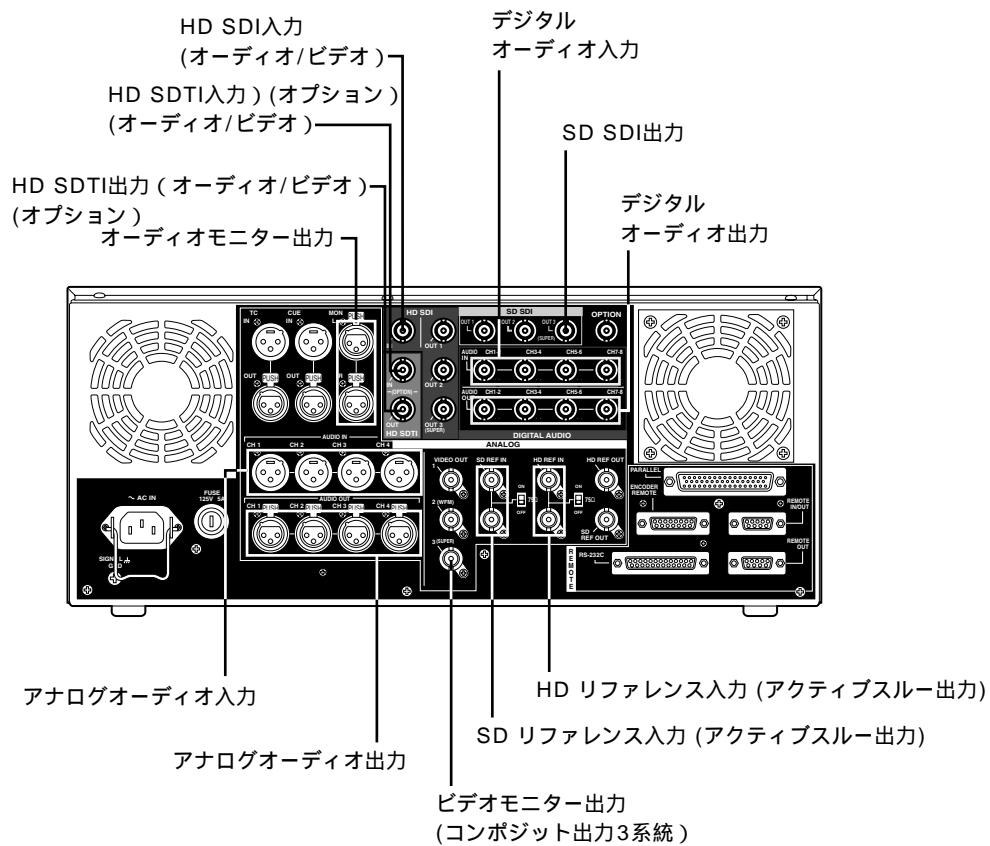
## VTR ステータス項目一覧表

登録メニュー名称		VTRステータス表示部の名称	表示内容
006	UFC	UFC	HD-SDフォーマットコンバータ(AJ-UDC150P、別売品)の状態を表示します。 LN_CON : ラインコンバータの動作をしています。 UP_CON : アップコンバータの動作をしています。 DW_CON : ダウンコンバータの動作をしています。 NONE : HD-SDフォーマットコンバータ(AJ-UDC150P、別売品)が装着されていません。
007	SETUP NUMBER	SETUP	セットアップメニューのユーザーファイルNo.を表示します。 USER1 : USER1が選択されています。 USER2 : USER2が選択されています。 USER3 : USER3が選択されています。 USER4 : USER4が選択されています。 USER5 : USER5が選択されています。
008	TAPE SPEED	SPEED	JOG/SLOW/SHTLモード時のテープ速度を表示します。 JOGモード時 : REV(逆方向)/STILL(停止)/FWD(正方向)を表示します。 SLOWモード時 : 現在速度を表示します。 SHTLモード時 : 現在速度を表示します。 上記以外の時 : ブランク表示となります。

# 接 続

## 1 台での接続

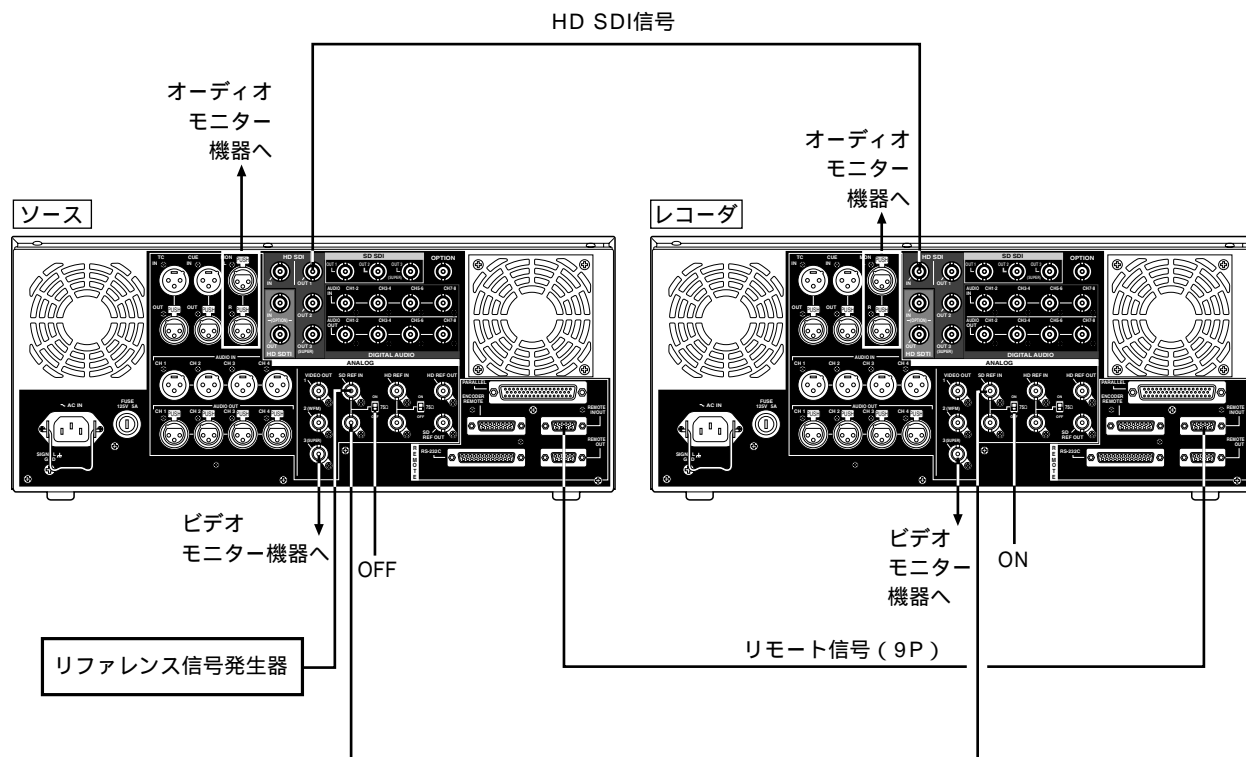
フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



# 接 続

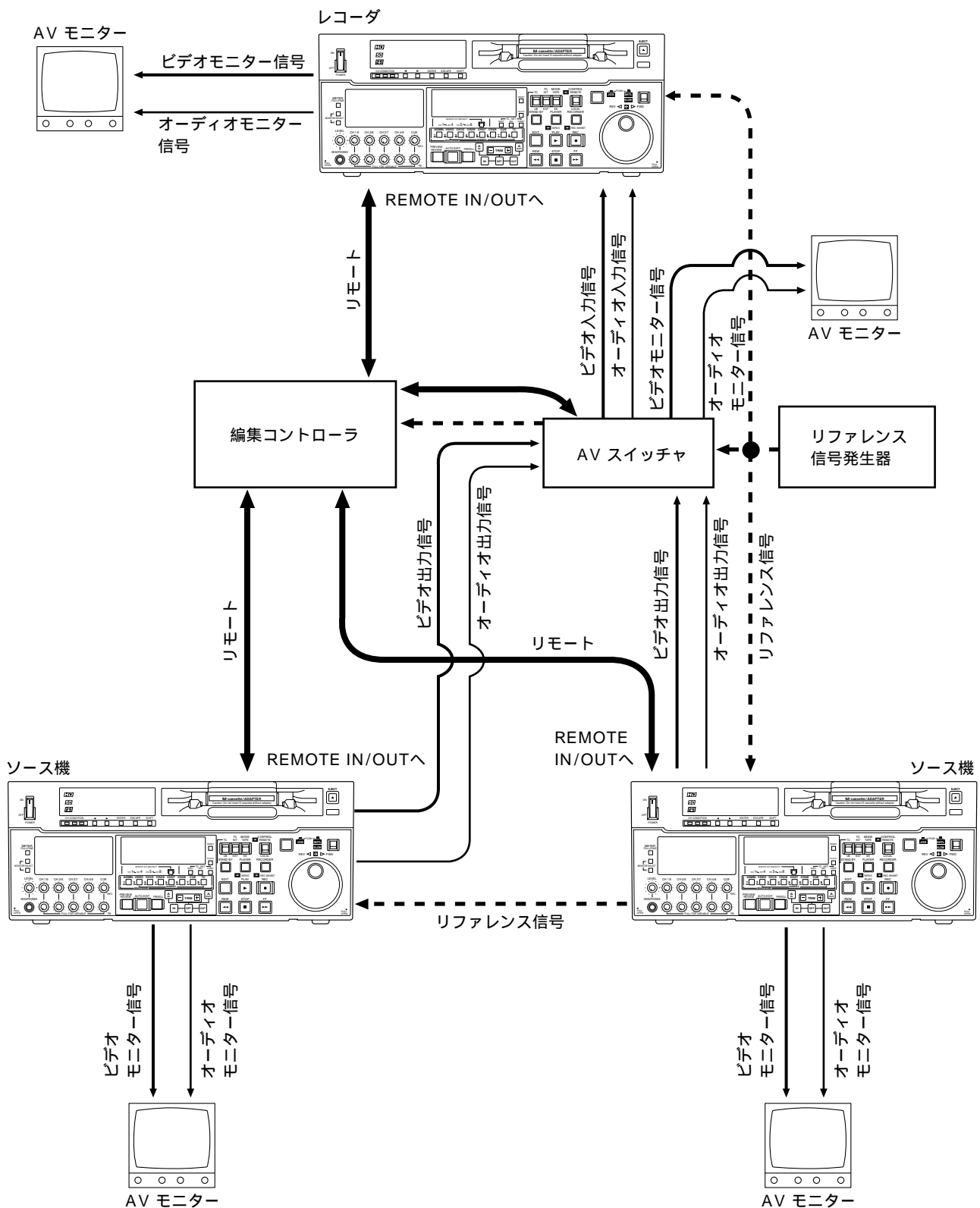
## 2 台での接続例 (デッキ対デッキ)

- ソース側      • フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。  
レコーダ側    • フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



# 接 続

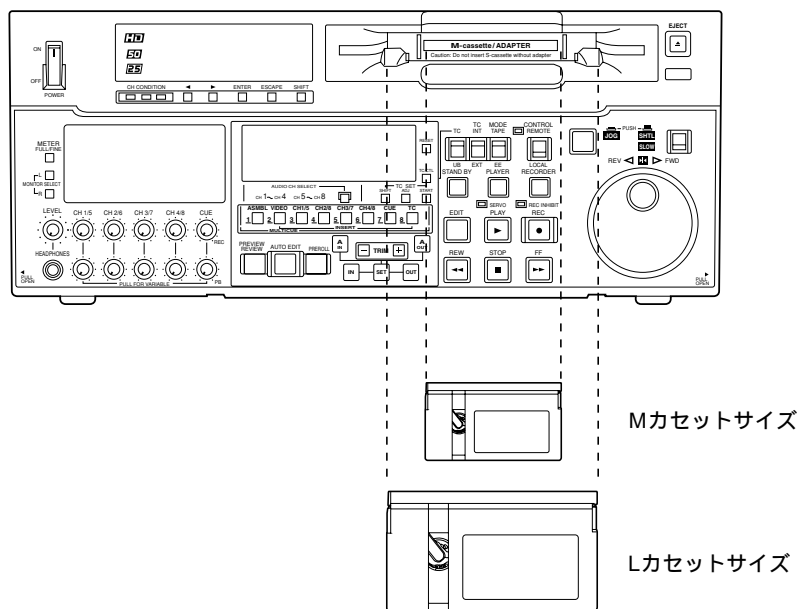
## 編集コントローラとの接続例



# テープ

タイプ		内容
民生DV/DVCAM用 カセット(Sカセット)		民生DV/DVCAM用カメラレコーダ専用テープです。 カセットアダプタ(別売品)を使用すれば、再生できます。ただし、長時間用カセットテープ(標準モード80分/LPモード120分)は使用できませんのでご注意ください。 なお、民生用DVテープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。 「カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと、故障の原因となりますのでご注意ください。」
Mカセット		最大33分の再生テープ (AJ-5P23MP、AJ-5P33MP)
Lカセット	DVCPROHD (100Mbps)	最大46分の録画・再生テープ (AJ-HP32LP、AJ-HP46LP)
	民生DV/ DVCAM用	民生DV/DVCAM標準カセットの再生テープです。 再生するためには、セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)で「AUTO」を選択するか、No.023(FORMAT SEL)で「DV」または「DVCAM」を選択してご使用ください。 なお、民生用DVテープはパナソニックのテープのご使用をお勧めいたします。

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押してください。  
カセットテープは自動的にローディングされます。



## 民生DV/DVCAMテープの再生時のご注意

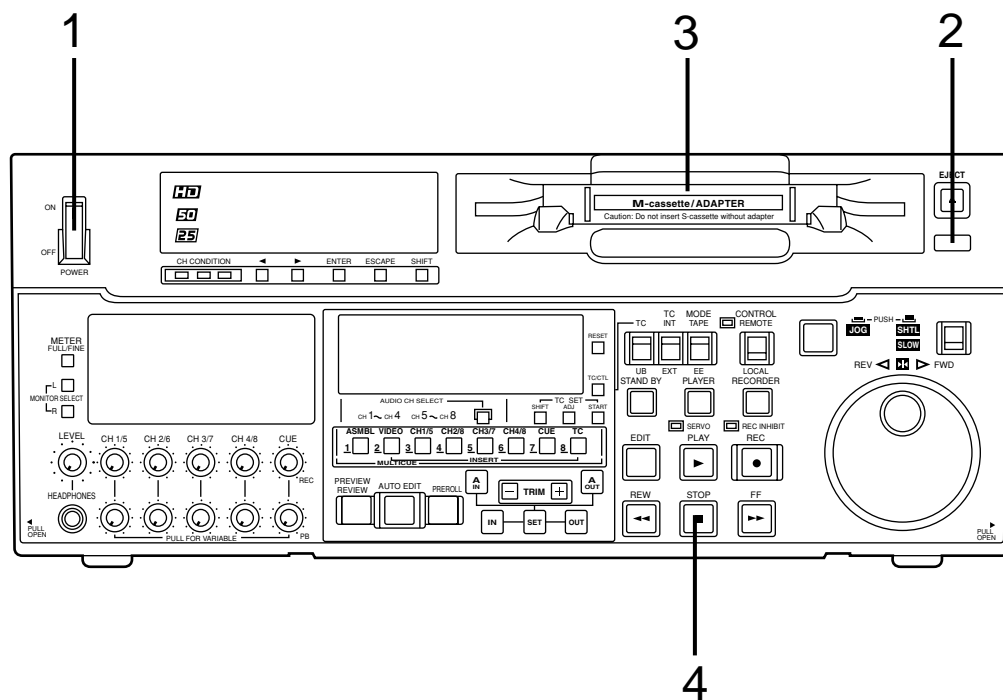
- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。
- 民生DV/DVCAMテープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生DV/DVCAMテープでの最大スチル時間は10秒に設定しています。
- テープ保護の観点から、民生DV/DVCAMテープ出の同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生DV/DVCAMテープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、またSTILL状態で放置した時の合計時間は1分に設定されています。



# 電源投入 / カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。  
結露など異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、全ての操作はできなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。  
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。  
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。  
EJECTランプは消灯します。

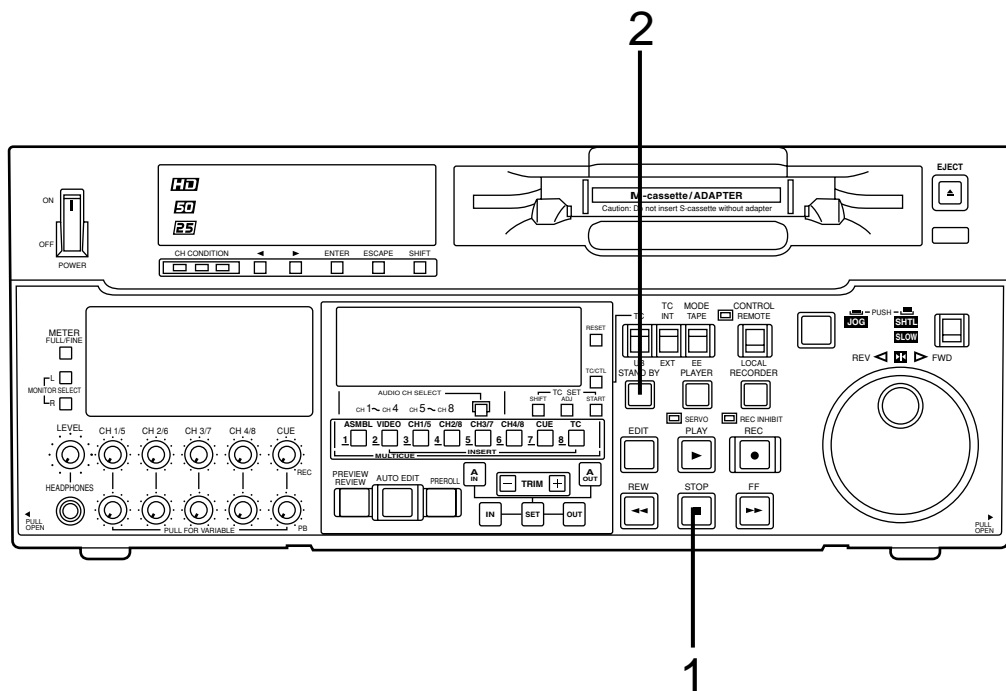


# STOP/STANDBY モード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。  
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
  - テープ保護のため、セットアップメニューNo.400( STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。  
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2 STAND BYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。  
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。  
ストップモード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。  
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

## STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護のため、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えばセットアップメニューNo.400( STILL TIMER )は最大30秒程度に設定してください。



- 1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOPボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 TAPE/EEスイッチを「EE」にします。  
モニターテレビにE-E画像が出ます。
- 4 REC INHIBITランプの消灯を確認します。  
ランプが点灯しているときはセットアップメニューNo.113(REC INH)を「0(OFF)」にします。
- 5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整
  - 5-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択
    - 1 記録する信号を接続します。
    - 2 セットアップメニューNo.600(VIDEO IN SEL)とNo.700(AUDIO IN SEL)で入力信号を選択します。
  - 5-2 オーディオレベル調整
    - 1 セットアップメニューNo.700(AUDIO IN SEL)で選択されたオーディオCH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。  
通常はオーディオ入出力レベルの調整ボリューム④④を押し込んだままにしておきます。(ユニティ値)  
オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
    - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリューム④④を引出し、アナログキューは - 20dBを超えない範囲に調整します。  
< ノート >  
オーディオチャンネル切換表示④②で「CH1 ~ CH4(CH5 ~ CH8)」が点灯している時はオーディオ入出力レベル調整ボリューム④④とメータ④③はCH1 ~ CH4(CH5 ~ CH8)として動作します。
- 6 RECボタンを押しながら、PLAYボタンを押します。  
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
- 7 記録を終了するときは、STOPボタンを押します。  
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 記録中はSERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。

# 再生

---

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。  
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。  
各音声レベル調整つまみを引き出して、左右に回して調整します。  
通常は押し込んだ状態にしておきます。(ユニティー値)
- 4 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。  
VTRはSTOPモードになります。

< ノート >

- 再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

# ジョグ / シャトル

---

## ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。  
JOG ランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。  
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピード( - 1 ~ + 1倍速 )で再生します。  
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行する時は、移行するモードのボタンを押します。

## シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。  
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
  - 電源を入れた直後はサーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW スイッチを「SHTL」または「SLOW」に切換えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。  
SHTL/SLOW スイッチが「SHTL」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが 0 ~ ±32倍速まで変化します。(セッティングメニューNo.101(SHTL MAX)で±8,4、±16、±32倍速に切換可能です。)  
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
SHTL/SLOW スイッチが「SLOW」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが - 4.1 ~ + 4.1倍速まで変化します。[セッティングメニューNo.308(VAR FWD MAX)、No.309(VAR REV MAX)の設定により最大速度を切換えることができます。ただし、- 1 ~ + 1倍速以外はノイズが出ます。] ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行する時は、STOPボタンまたは他のボタンを押します。

### < ノート >

工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたはジョグモードに移行するように設定されています。

ダイレクトに可変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。

セッティングメニューNo.100(SEARCH ENA)を「KEY」にします。

# 手動編集

---

- 1 編集モードを選択します。  
ASSEMBLE：アセンブル(つなぎとり)編集を行います。  
INSERT： インサート(挿入)編集を行います。
- 2 編集チャンネルを選択します。  
インサート編集の場合は、編集を希望するチャンネルボタンを押してランプを点灯させます。
- 3 PLAYボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置(IN点)を探し、IN点で、PLAYとEDITボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置(OUT点)でSTOPまたはPLAYボタンを押します。STOPモードになり編集が終了します。

# プリロール

---

- 1 PREROLLボタンを押します。  
VTRはプリロール動作を行います。
  - 編集IN点が登録されている場合は、セットアップメニューNo.000( P-ROLL TIME )で設定された時間だけ編集IN点から巻戻されて止まります。
  - 編集IN点が登録されていない場合は、ボタンを押した位置からセットアップメニューNo.000( P-ROLL TIME )で設定された時間だけ巻戻されて止まります。

< ノート >

- 編集IN点とプリロール点の間にはタイムコードまたはCTLが連続して記録されてる必要があります。
- セットアップメニューNo.305( AUTO ENTRY )により、IN点が登録されていない時にIN点を登録してプリロールするか、登録しないでプリロールするかを選択できます。

# 自動編集 (デッキ対デッキ)

---

編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

編集の基本的な操作は以下のとおりです。

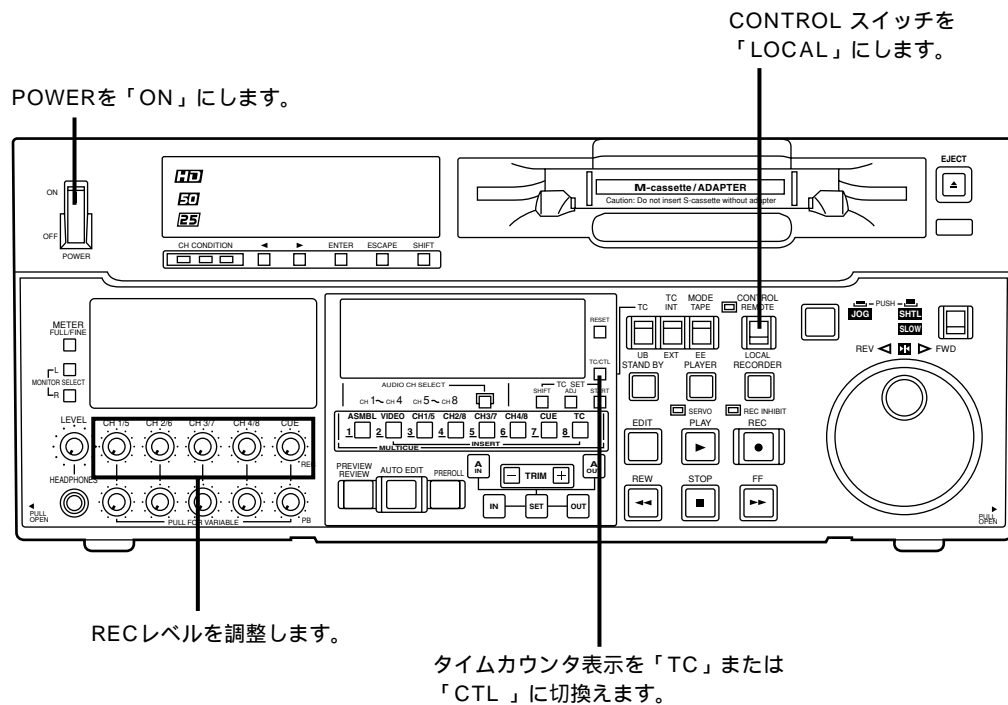
- 1 CONTROLスイッチをプレーヤは「REMOTE」、レコーダは「LOCAL」にします。
- 2 編集モードを選びます。
- 3 レコーダとプレーヤの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認(プレビュー)を行います。
- 6 編集を実行します。
- 7 編集結果を確認(レビュー)します。



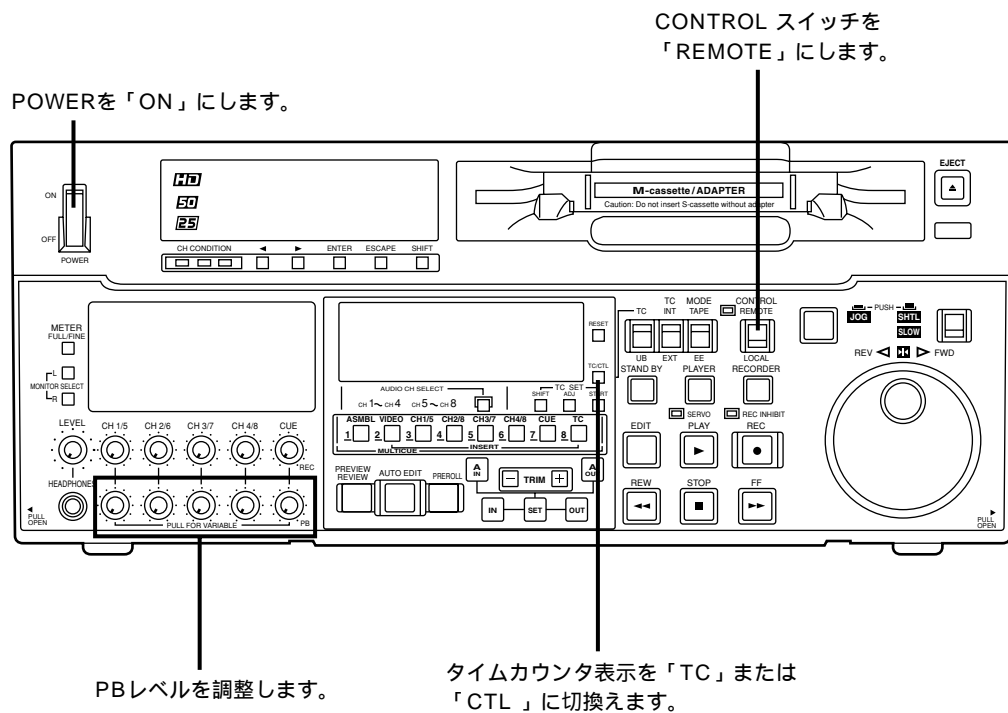
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## スイッチの設定と調整

本機をレコーダとして使用する場合



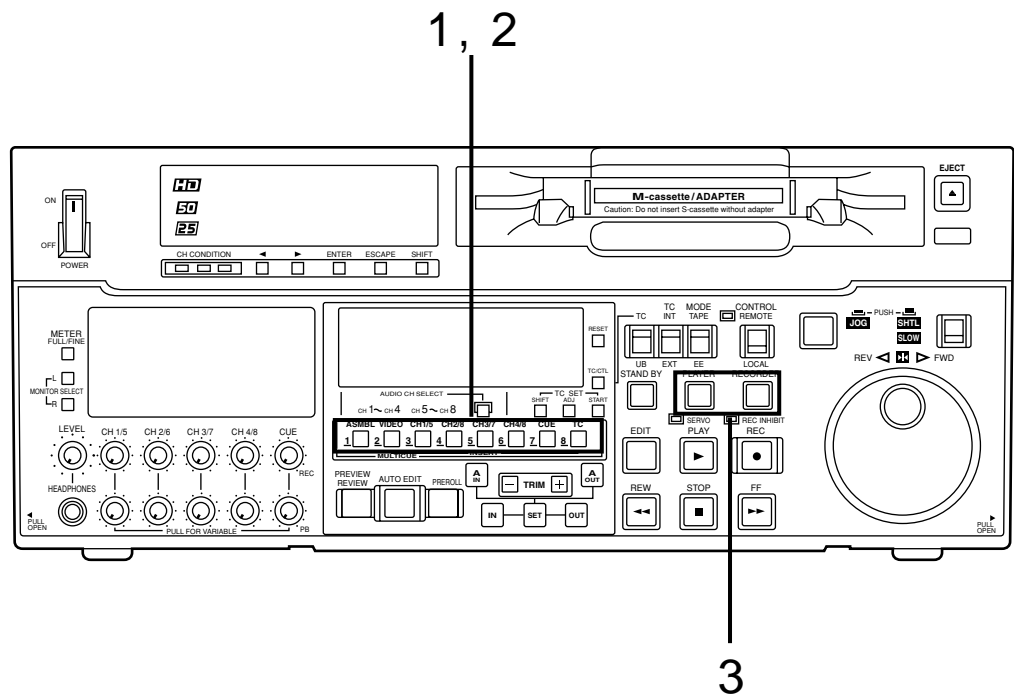
本機をプレーヤとして使用する場合



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集モードの選択

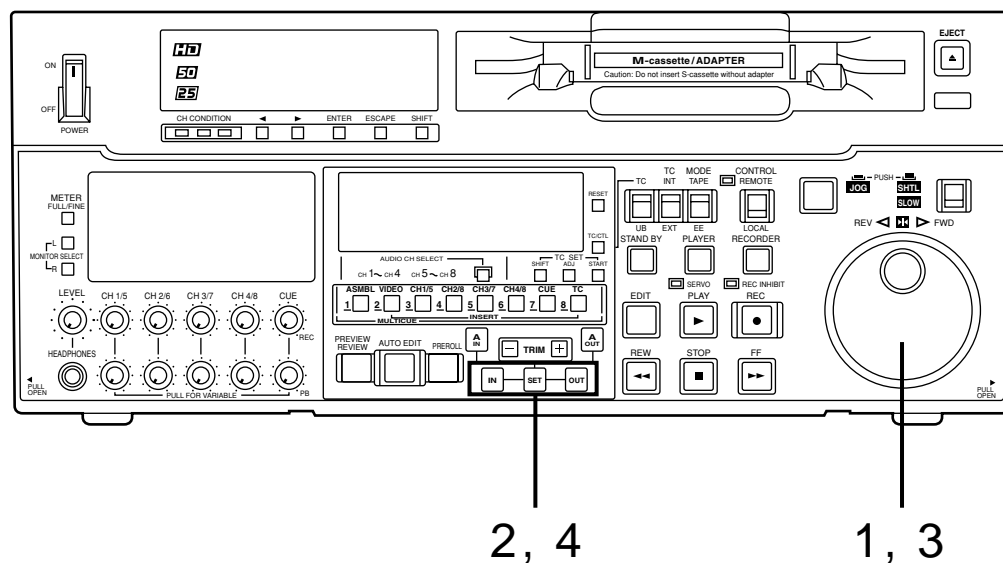
- 1 編集モードを選択します。  
アセンブル編集はASMBLボタンを押します。  
インサート編集はINSERTボタンを押します。  
ASSEMBLE : アセンブル(つなぎとり)編集モードになります。  
INSERT : インサート(挿入)編集モードになります。
- 2 編集チャンネルを選択します。  
アセンブル編集の場合はASMBLランプが点灯します。  
インサート編集の場合は編集するチャンネルのボタンを押して点灯させます。
- 3 操作するVTRの選択(VTR2台での編集時の設定)  
PLAYERまたはRECORDERボタンを押して操作を行うVTRを選択します。  
PLAYER : プレーヤ側VTRを操作して、編集点を登録する場合に押します。  
RECORDER : レコーダ側VTR(本機)を操作して、編集点を登録する場合に押します。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集IN点を探します。  
希望の位置で静止画にします。  
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は37ページを参照してください。
- 2 INとSET ボタンを同時に押します。  
編集IN点が登録されます。  
編集IN点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集OUT点を探します。  
希望の位置で静止画にします。  
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は37ページを参照してください。
- 4 OUT とSET ボタンを同時に押します。  
編集OUT点が登録されます。  
編集OUT点の値がディスプレイ部に表示されます。



### マッチフレーム処理機能について

VTR2台での編集操作の場合、編集点はプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点の合計4つの編集点があります。しかし、最後の一つは自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の三つだけ可能です。

### ネガティブデュレーション機能について

セットアップメニューNo. 300(IN/OUT DEL)とNo.301(NEGA FLASH)を組み合わせでご使用ください。

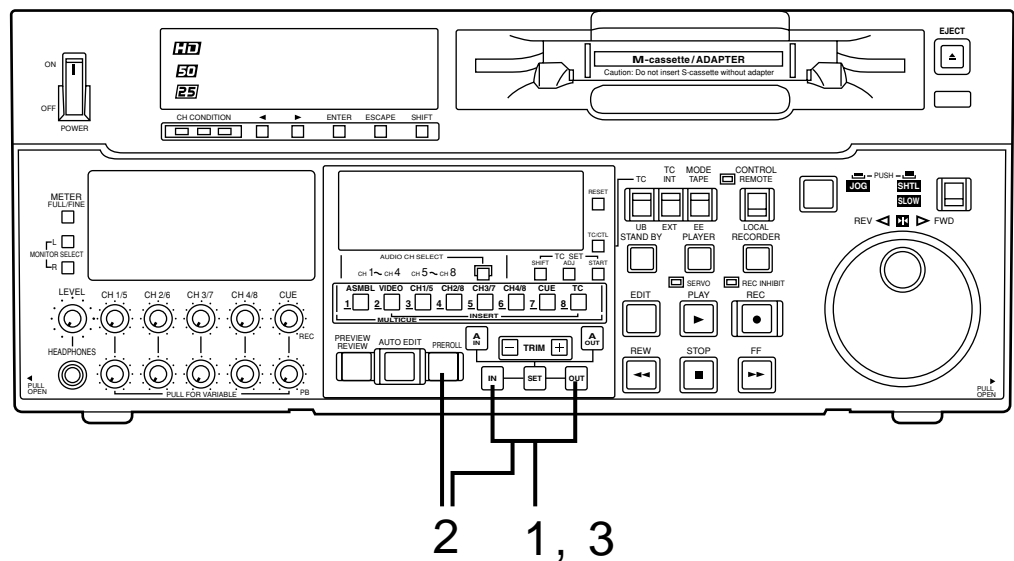
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の確認

- 1 IN(またはOUT)ボタンを押して、編集点を確認します。  
登録されている編集点の値がディスプレイに出ます。
- 2 IN(またはOUT)ボタンを押しながら、PREROLLボタンを押し、編集点の画像を確認します。
  - 編集IN(またはOUT)点にテープがキューアップされて、静止画になります。  
セットアップメニューNo. 307(AFTER CUE-UP)が「STOP」に設定されている場合、TAPE/EEスイッチが「EE」のときはE-Eモードになります。
- 3 INとOUTボタンを同時に押して、編集区間(デュレーションタイム)を確認します。  
デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。

### デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合      2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合      設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合      前回編集した区間のデュレーション



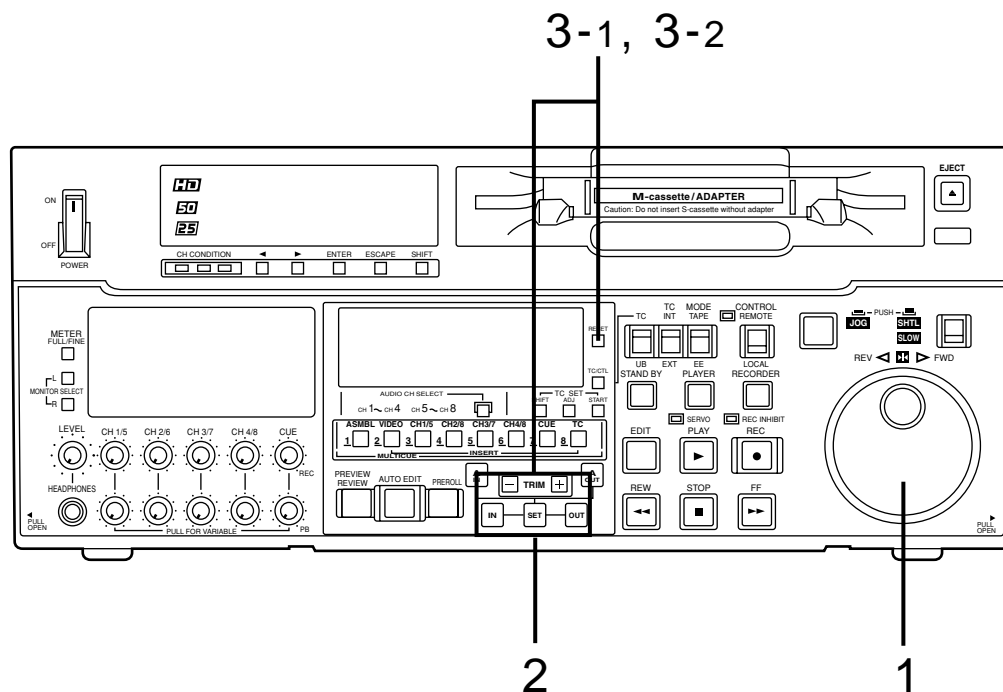
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の訂正

- 1 編集点の再登録  
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN(またはOUT)とSETボタンを同時に押し、再登録します。
- 2 フレーム単位での編集点の訂正(トリム機能)  
IN(またはOUT)ボタンを押しながらTRIMボタンを押します。  
+ ボタンを一回押すたびに、1フレーム進みます。  
- ボタンを一回押すたびに、1フレーム戻ります。
- 3 編集点のリセット
  - 3-1 編集INとOUT点両方のリセット
    - RESETボタンを押します。
  - 3-2 編集INまたはOUT点のどちらか片方のリセット
    - IN(またはOUT)ボタンを押しながらRESETボタンを押します。

< ノート >

- 編集点のリセット3-1はCTLモード時のみ有効です。
- 編集実行中でも編集OUT点のリセットは可能です。
- EJECTモード時はINおよびOUT点は自動的にリセットされます。



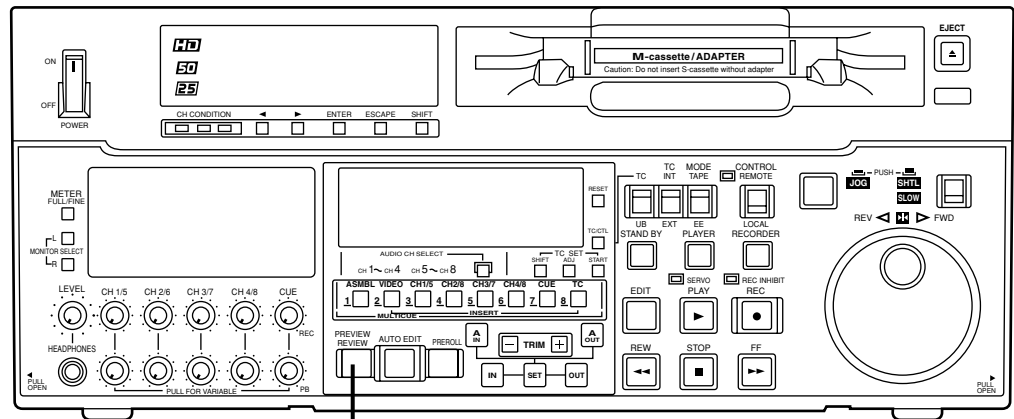
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## プレビュー

- 1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。  
通常のプレビューが実行されます。

< ノート >

- 編集IN点が登録されていない場合は、PREVIEWボタンが押された位置を編集IN点として登録します。
- プレビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
- プレビュー実行中にIN点以降で再度PREVIEWボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集OUT点になると、自動的に止まります。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 自動編集の実行

- 1 AUTO EDITボタンを押します。  
自動編集が実行されます。
  - 途中で編集をやめる場合は、STOPボタンを押します。
  - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。

### ポストロールについて

アSEMBル編集の場合、編集OUT点通過後約2秒間編集を続け、OUT点に戻って止まります。  
インサート編集の場合、編集OUT点通過後PLAYモードになり、OUT点に戻って止まります。

### リトライ機能

STOPボタンを押して編集を途中でやめても、そのまま再度AUTO EDITボタンを押すと最初から編集を行います。

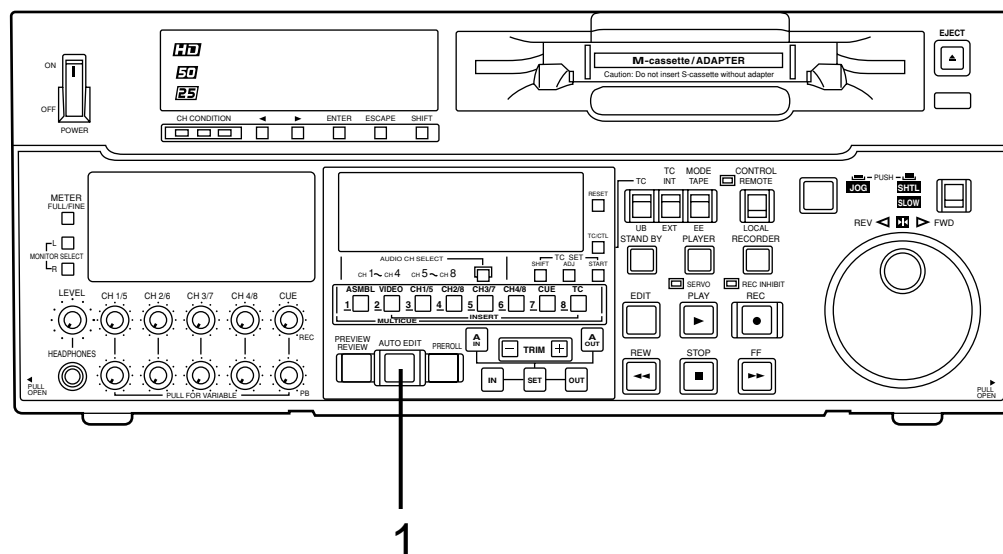
### オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDITボタンを押すと、前回の編集OUT点をIN点として登録し、編集を行います。

オートタグモードを解除する場合は、走行系(PLAYボタンなど)ボタンを押します。

### < ノート >

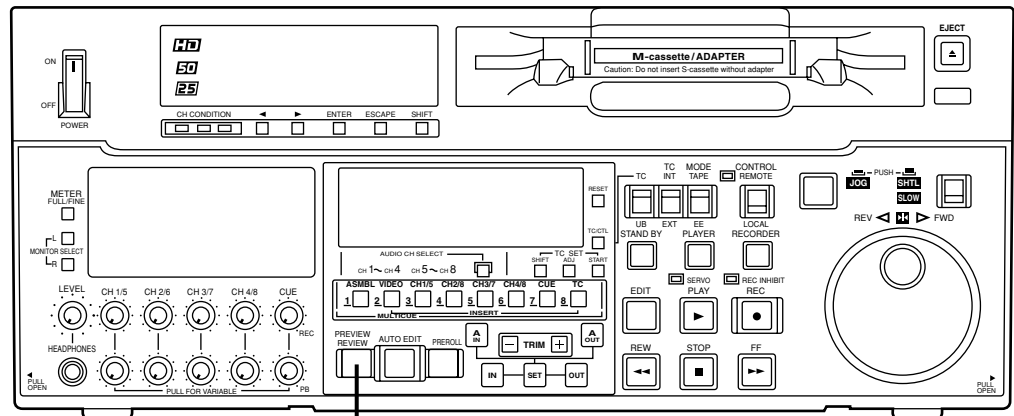
編集実行後、登録点は自動的にクリアされますがTRIM +(またはTRIM -)とSETボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## レビュー

- 1 編集終了後に、REVIEWボタンを押します。  
レコーダ側でレビューが開始されます。
  - レビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
  - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。



1



# オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点を独立に登録し、編集点をずらせて編集することができます。オーディオ編集点の登録はアSEMBL編集モードが選択されている時はできません。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

## 編集点の登録

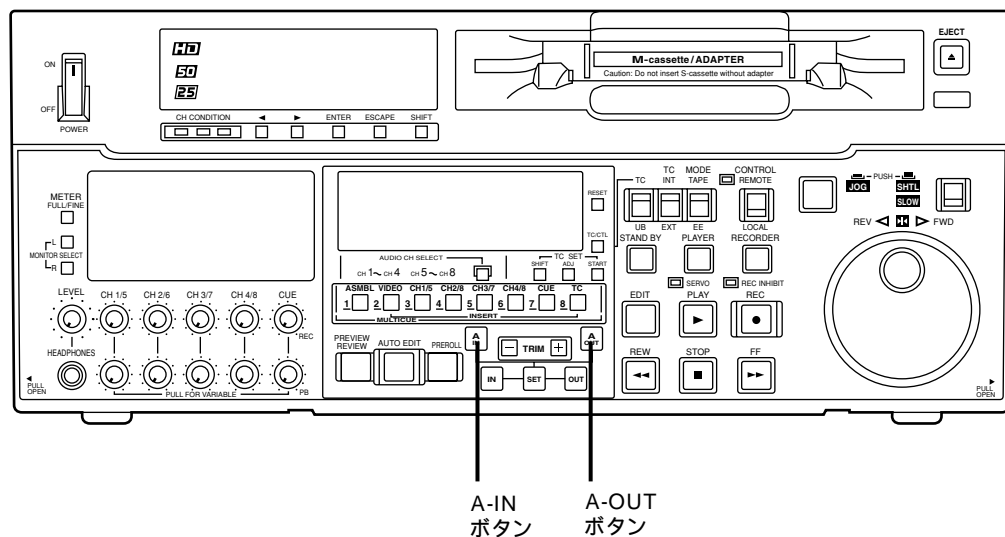
- ビデオIN点 : INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

## 編集点の削除

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。

## 編集点の訂正

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。



# オーディオスプリット編集

---

## オーディオスプリット編集点の表示

編集点はフロントパネルに以下のように表示されます。(下図はオーディオIN点の場合)

操作

- ビデオIN点 : INボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押します。

< ノート >

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアSEMBル編集に切換えると、オーディオ編集点は削除されます。

## 編集点へのキューアップ

- ビデオIN点へのキューアップ : INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。
- ビデオOUT点へのキューアップ : OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。
- オーディオIN点へのキューアップ : A-INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。
- オーディオOUT点へのキューアップ : A-OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

## デュレーションの表示

デュレーションはフロントパネルのみ表示することができます。

ビデオIN点/OUT点間 : INボタンとOUTボタンを同時に押します。

オーディオIN点/OUT点間 : A-INボタンとA-OUTボタンを同時に押します。

マッチフレーム処理機構について

- VTR2台でオーディオスプリット編集操作の場合、ビデオの編集点としてプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点と、オーディオの編集点としてプレーヤ側にオーディオIN/OUT点、レコーダ側にオーディオIN/OUT点の合計8つの編集点があります。8点のうち5点の編集点を登録すると、残りの3点は自動的に計算されますので、編集点の登録は5点まで可能となります。

## スプリット編集機能のないVTRをプレーヤにする時

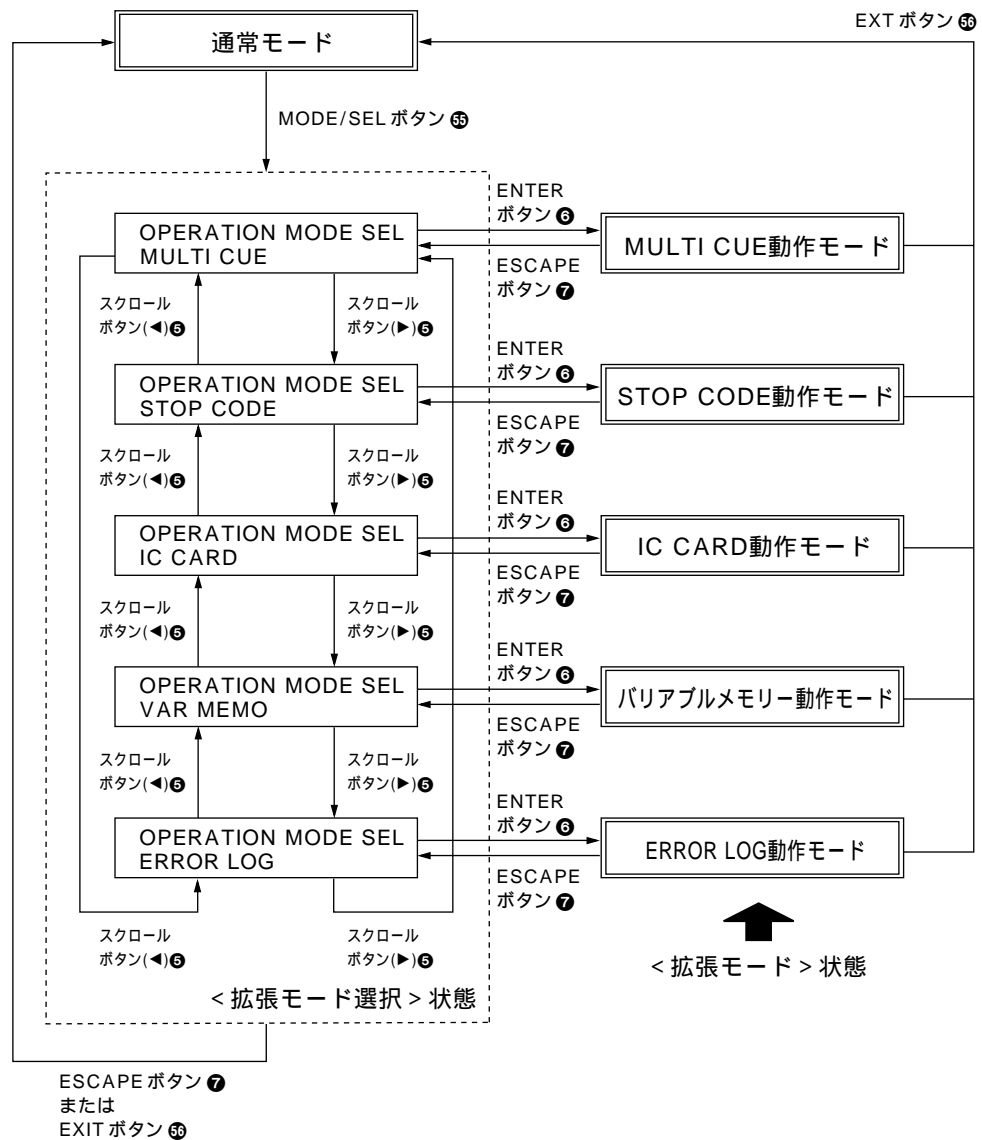
ビデオとオーディオの編集点を独立して設定することができないVTRをプレーヤとして使用する時、オーディオのIN点とOUT点をレコーダ側に設定し、ビデオの編集点として3点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

< ノート >

オーディオスプリット編集時、オーディオOUT点(またはビデオOUT点)を登録せずに、ビデオOUT点(またはオーディオOUT点)のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオOUT(またはビデオOUT)点が登録されるか、STOPボタンを押して操作を中断するまで編集を続けます。

# MODE/SEL ボタンによる拡張モード実行

MODE/SELボタン⑤を押しますと、以下のように MULTI CUE動作モード、STOP CODE動作モードのような『拡張モード』に入ることができます。



## < 拡張モード選択 > 状態

通常モードでMODE/SELボタン⑤を押すと上フロント表示が以下ようになります。

OPERATION MODE SEL  
MULTI CUE

スクロールボタン⑤を押すと STOP CODE IC CARD ...と順に変化します。必要なモードを選択し、ENTERボタン⑥を押すと『拡張モード』になります。

# MULTI CUE 機能

## MULTI CUE モードの選択

MODE/SELボタン⑤を押した<拡張モード選択>状態から、MULTI CUEモードが選択できます。

EXITボタン⑥を押すとMULTI CUEモードは解除され通常モードとなります。

## 編集チャンネル

CUE点は編集CH選択ボタン(ASMBL、VIDEO、CH1/5、CH2/6、CH3/7、CH4/8、CUE、TC)が、それぞれCUE\*1~CUE\*8として使用できます。

↑↑  
A B

CUEAB	A : ページを表します。(0~9ページ)
	B : CUE点を表します。(1~8点)

## CUE 点の登録

最大10ページまで合計80ポイントのCUE点の登録ができます。

セットアップメニューNo.131(PAGE MODE : AUTO / MANU)を設定することにより、以下のようなCUE点の登録動作モードが選択できます。

- 選択されたページ内での動作となり、8ポイントのCUE点が登録できる動作
- CUE点登録中ページが一杯になった時は、自動的に次のページへ移り、登録を続け、最大で10ページまで、合計80ポイントのCUE点が登録できる動作

また、セットアップメニューNo.132 (ROTA MODE : ON/OFF) を設定することにより、すべてのCUE点が登録されている時、以下のような動作モードが選択できます。

- 登録動作を行わない動作
- 登録動作を行う動作(セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)が「MANU」に設定されている場合はそのページ内のCUE\*1へ、「AUTO」に設定されている場合は0ページのCUE01へ登録)

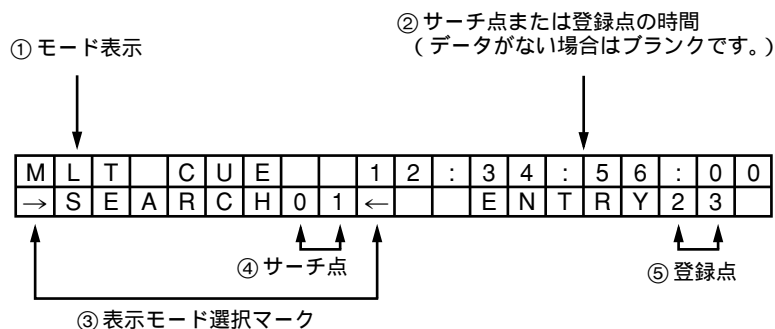
なお、MULTI CUEを選択した場合は、

- MULTI CUEモードの時は、編集ができません。
- 編集モード選択状態においてMULTI CUEモードへ移行した場合は、自動的に編集CH選択ボタン(ASMBL、VIDEO、CH1/5、CH2/6、CH3/7、CH4/8、CUE、TC)を解除します。
- MULTI CUEモードの時は、デッキ対デッキでは使用できません。

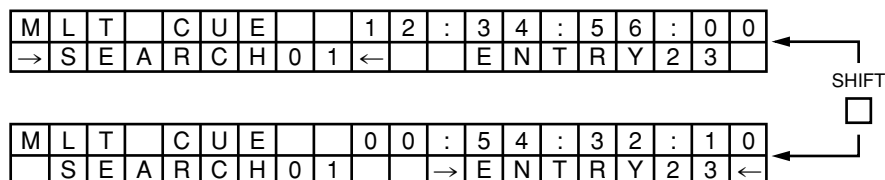
# MULTI CUE 機能

## 表示説明

MODE/SELボタン⑤でMULTI CUEを選択するとフロント上パネル③が下記表示となります。



- ①モード表示：本機がMULTI CUEモードで動作していることを表します。
- ②時間表示：サーチ点もしくは登録点の時間を表示します。  
(時間データが無い場合はブランク表示となります。)
- ③表示モード選択マーク：現在のLEDおよび時間データ表示がサーチ点を表示しているのか、または登録点を表示しているのかを表します。(下図のように上パネルのSHIFTボタン⑧で表示を切替えます。)



- ④サーチ点：現在選択されているサーチ点を表示します。  
(SEARCH01 0ページ目のCUE1)
- ⑤登録点：次にSETボタンを押したときに登録する点を表示します。  
(ENTRY23 2ページ目のCUE3)

## ページ操作

フロント上パネルのスクロールボタン⑤によりページの送り/戻しができます。

- ページ送りについては、セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)の設定によって以下のようになります。  
「OFF」設定時：9ページから0ページへの移動はできません。  
「ON」設定時：9ページから0ページへの移動はできます。
- ページ戻りについては、0ページから9ページへの移動はできません。

# MULTI CUE 機能

## サーチ点および登録点の操作

SHIFTボタン③を押す度に、サーチ点表示モードと登録点表示モードが交互に切り替わります。それぞれのモードにおいて、サーチ点 / 登録点を操作してください。

- POWER ON時、サーチ点 / 登録点は前回POWER OFF時のものとなります。
- セットアップメニューNo.131(PAGE\_MODE)または、No.132(ROTA MODE)設定を変更した場合、サーチ / 登録ポインターは両方ともCUE01(0ページ / CUE1)となります。

### サーチ点操作

フロント上パネルに下記表示を行っているときサーチポインターの操作ができます。選択されているサーチ点LEDが点滅し、上パネルに番号を表示します。

上パネル表示例

M	L	T		C	U	E			1	2	:	3	4	:	5	6	:	0	0
→	S	E	A	R	C	H	0	1	←			E	N	T	R	Y	2	3	

LED表示例

ASMBL	VIDEO	CH1/5	CH2/8	CH3/7	CH4/8	CUE	TC
1	2	3	4	5	6	7	8
点滅			点灯(登録済)			消灯(未登録)	

- 同一ページ内は、CUE\*1 ~ \*8(ASMBL ~ TC)ボタンを押すことによりサーチポインター位置はダイレクトに変更されます。
- スクロールボタン⑤を使用して表示ページを変更したときは、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により以下ようになります。
  - 「MANU」設定時：サーチ / 登録ポインターとも変更されたページのCUE\*1へ移動します。
  - 「AUTO」設定時：サーチポインターのみが変更されたページのCUE\*1へ移動し、登録ポインターは移動しません。

### 登録点操作

フロント上パネルに下記表示を行っている時、登録ポインターの操作ができます。SETボタン④を押した時、登録される点が点滅します。

LED表示例

ASMBL	VIDEO	CH1/5	CH2/8	CH3/7	CH4/8	CUE	TC
1	2	3	4	5	6	7	8
			点灯(登録済)		点滅	消灯(未登録)	

# MULTI CUE 機能

上パネル表示例：登録状況により下記の2通りの表示をします。

未登録の場合

M	L	T		C	U	E				:		:		:		
S	E	A	R	C	H	0	1			→	E	N	T	R	Y	1 6 ←

登録済みの場合

M	L	T		C	U	E		0	0	:	5	4	:	3	2	:	1	0
S	E	A	R	C	H	0	1			→	E	N	T	R	Y	1	6	←

- 同一ページ内は、CUE\*1 ~ \*8(ASMBL~TC)ボタンを押すことにより登録ポインター位置はダイレクトに変更されます。
- ボタンにより表示ページを変更したときは、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により以下ようになります。  
 「MANU」設定時：サーチ / 登録ポインターとも変更されたページのCUE\*1へ移動します。  
 「AUTO」設定時：登録ポインターのみが変更されたページのCUE\*1へ移動し、サーチポインターは移動しません。

## CUE 点の登録

セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により以下の動作をします。

選択されたページ内での動作 (PAGE MODE = MANU)

- 選択されたページ内での動作となります。
- スクロールボタン⑤でページを選択します。
- SETボタン⑥の単独押して、選択されたページ内で以下のように順次登録していきます。(既に登録されている点に対しては上書きします。)

CUE\*1 → CUE\*2 → …… → CUE\*7 → CUE\*8

- そのページにおいてCUE\*8を登録すると、自動的に終了となります。  
 次のCUE点を登録したい時は、登録ポインターを変更する必要があります。  
 登録表示モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポインターを自動的に変更してください。この場合、サーチポインターも自動的に変更されたページの先頭(CUE\*1)に移動します。また、ページ内でポインター変更したいときはダイレクトにCUEボタンを押してください。

セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)で「ON」が設定されている場合は、以下のよう同一ページ内でのローテーション動作を行います。

→ CUE\*1 → CUE\*2 → …… → CUE\*7 → CUE\*8 →

# MULTI CUE 機能

CUE点登録ページが一杯になった時、自動的に次ページへ移り登録を続ける動作 (PAGE MODE = AUTO)

- CUE点登録中ページが一杯になったとき、自動的に次ページへ移り登録を続けます。最終ページCUE98になったら自動的に終了となります。

次のCUE点を登録したいときは、登録ポインターを変更する必要があります。

登録表示モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポインターを自動的に変更してください。この場合、サーチポインターは変更されません。

また、ページ内でポインター変更したいときはダイレクトにCUEボタンを押してください。

セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)で「ON」が設定されている場合は、9ページ(CUE98)から0ページ(CUE01)へローテーション動作を行います。

上記2つの動作のいずれのモードでも登録できなくなった場合

- 登録ポインター表示が「\*\*」となります。
- 登録表示モードでは、登録点表示操作(SETボタン押し)を行ったときに「FULL MEMORY」のメッセージが出ます。
- LEDについては点滅するものが無くなります。  
(途中で登録されてない点がある場合も上記「FULL MEMORY」のメッセージを出します。)

M	L	T		C	U	E		F	U	L		M	E	M	O	R	Y	
	S	E	A	R	C	H	0	1		→	E	N	T	R	Y	*	*	←

< ノート >

セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)で「ON」が設定されている場合は、登録できなくなることはありません。

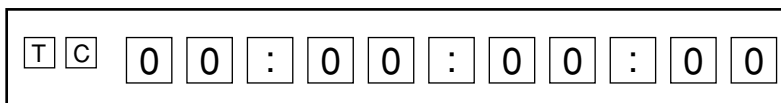


# MULTI CUE 機能

## CUE点を数字で登録する場合

フロントパネルのタイムコードボタンのADJボタン⑪を押したままSHIFTボタン④を押しCUE点登録モードにします。その後は、SHIFTボタンとADJボタン(TCG登録動作と同じ操作)により登録したい時間を下パネルに設定後、SETボタン⑬を押すことにより登録することができます。

下パネル



SETボタンを押すと本設定値  
が登録されます。

## 登録点の削除

### 一括削除

- SETボタン⑬を押しながらESCAPEボタン⑦を押すことにより登録されている全てのボタン(LED)が消灯し登録点は解除されます。削除されるポインタの範囲は、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により以下ようになります。  
「MANU」設定時：現在のページ内のすべてのポインタを削除します。  
「AUTO」設定時：すべてのページのすべてのポインタを削除します。
- サーチ/登録ポインタは、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により以下ようになります。  
「MANU」設定時：ページ内の先頭(CUE\*1)へ戻ります。  
「AUTO」設定時：自動的に先頭ページの先頭(CUE01)へ戻ります。
- サーチ点/登録点表示モードに関係なく受け付けます。

### 登録点の個別リセット

- 削除したい点のCUE 1 ~ 8の任意のボタンを押しながらESCAPEボタン⑦を押すことにより、登録されているボタン(LED)が消灯し登録が削除されます。
- 登録点表示モード時のみ受け付けます。  
(サーチ点表示モード時、ESCAPEボタン⑦を押しても登録点は解除されません。)

## サーチ動作

サーチ点表示モードで点滅しているCUE点に対し、PREROLLボタン⑭を押すことにより、プリロール動作します。

CUE点の登録が無い場合は、プリロール動作しません。

また、登録点表示モードにおいてはPREROLLボタン⑭を押してもプリロール動作しませんので、必ずサーチ点表示モードになっているかをご確認ください。

[本モードにおけるプリロール時間は、通常のプリロール時間の設定とは別にセットアップメニューNo.011(CU-ROLL TIME)の設定されている時間が有効となります。]

# STOP CODE 機能

## STOP CODEモードの選択

MODE/SELボタン⑤で<拡張モード選択>状態にし、STOP CODEモードを選択すると本機はストップコードの記録/確認/消去モードになります。

(通常の編集はできなくなりますのでご注意ください。)

EXITボタン⑥を押すとストップコードモードは解除され通常モードとなります。

## ストップコードの記録

PLAY、JOGモードなどで<ストップコード記録基準点>を頭出しし、AUTO EDITボタン④を押します。AUTO EDITボタンを押したところを<ストップコード記録基準点>として、8秒前にプリロールしてから記録動作を始め、下図のようにユーザビッド“0”とストップコードを記録してから自動停止します。REC INHIBIT状態では、本動作は実行されません。



ストップコード記録中は上フロントの表示が下記のようにになります。

S	T	O	P	C	O	D	E													
										R	E	C	O	R	D	I	N	G		

動作を途中で止めるにはSTOPボタン④を押します。

## 記録開始位置の指定

記録開始位置を指定するにはセットアップメニューNo.012(REC ADJUST)(0、1、2、3、4、5sec、下線がDEFAULT設定)にて、<ストップコード記録基準点>の何秒前からストップコードを記録するかを設定します。

## 記録の確認

記録を確認するにはPREVIEW/REVIEWボタン⑤を押します。ストップコード記録開始位置の5秒前にプリロールし、再生を開始します。ストップコードが正常に検出された場合には、セットアップメニューNo.013(DET STOP)(OFF、ON、下線がDEFAULT設定)の設定にかかわらずセットアップメニューNo.014(DET ADJUST)(-8フレーム~0~3秒10フレーム、下線がDEFAULT設定)の設定にしたがって停止します。ストップコードの記録点を通過しても停止しない場合は、改めて記録操作を行ってください

(PREVIEW/REVIEWボタンでの記録確認はSTOP CODEモード選択時のみ有効です。)

# STOP CODE 機能

## ストップコードの消去

「ストップコード検出による停止」モードで消去したいストップコードで停止させ、SETボタン<sup>⑳</sup>を先に押しながらAUTO EDITボタン<sup>㉑</sup>を押します。

(AUTO EDITボタンを先に押した場合は、記録モードになりますのでご注意ください。) VTRはストップコード記録点の5秒前にプリロールしてから消去動作を始め、下図のようにユーザビッド“0”を記録してから自動停止します。



ストップコード消去中は上フロントの表示が下記ようになります。

S	T	O	P	C	O	D	E																		
														E	R	A	S	I	N	G					

動作を途中で止めるにはSTOPボタン<sup>㉒</sup>を押します。

### 消去の解除

消去を確認するにはPREVIEW/REVIEWボタン<sup>㉓</sup>を押します。VTRは記録点の5秒前にプリロールし、再生を開始します。ストップコードが記録されていた点で停止する場合には、改めて消去操作を行ってください。

(PREVIEW/REVIEWボタン<sup>㉓</sup>での記録確認はSTOP CODEモード選択時のみ有効です。)

## ストップコードの検出

ストップコードが書き込んだテープを再生する時、セットアップメニューNo.013(DET STOP)、No.213(50P STOP DET)の設定によって以下のような動作になります。

50P STOP DET	DET STOP	ストップコード検出時の VTR の動作
OFF	OFF	何もしません。
ON	OFF	停止しません。 50ピンの出力をアクティブにします。
OFF	ON	停止します(NORMAL PLAY)。
ON	ON	停止し(NORMAL PLAY)、50ピンの出力をアクティブにします。

# STOP CODE 機能

ストップコードが検出できるテープ走行モードと速度範囲は次のようになります。

走行モードおよび速度	検出	50ピン出力タイミング	停止するタイミング
NORMAL PLAY	します。	5回読み取った時 *1	メニュー No.014 (DET ADJUST)で設定。
VAR、SHUTTLE (0 ~ ± 1 倍速)	します。	4回読み取った時	動作しません。
VAR、SHUTTLE (1倍速超 ~ ± 8倍速)	します。	2回読み取った時	動作しません。
REC、EDI、JOG、CUE UP、 PREROLL、SHUTTLE (± 8倍速超)	しません。	動作しません。	動作しません。

\*1) ストップコードにより停止した後は、停止またはスタンバイOFF以外の状態になるまで50ピンのアクティブ出力を保持します。

ストップコードが検出された場合、上フロントの表示が下記のようにになります。

S	T	O	P		C	O	D	E											
											D	E	T	E	C	T	E	D	

## <メニュー説明>

メニューNo.012(REC ADJUST)(DEFAULT設定は3sec)

<ストップコード記録基準点>の何秒前からストップコードを記録するかを選択します。

0、1、2、3、4、5sec

メニューNo.013(DET STOP)(DEFAULT設定はOFF)

ストップコード検出時の動作を設定します。

OFF : PLAY動作を継続します。

ON : 強制STOPします。

メニューNo.014(DET ADJUST)(DEFAULT設定は0フレーム)

ストップコード検出時テープ走行を停止する位置を通常の停止位置から<ストップコード基準点>に近づく方向に - 8フレーム ~ 0 ~ 3秒10フレームの範囲でフレーム単位で調整します。

メニューNo.213(50P STOP DET)(DEFAULT設定はOFF)

ストップコード検出時の50ピンへの状態出力を設定します。

OFF : 50ピンへ出力しません。

ON : 50ピンへ検出状態を出力します。

# IC CARD 機能

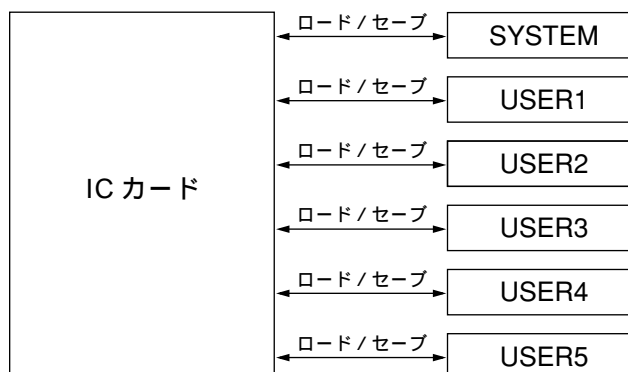
## IC CARDモードの選択

MODE/SELボタン $\text{\textcircled{F}}$ を押した<拡張モード選択>状態から、IC CARDモードが選択できます。

EXITボタン $\text{\textcircled{E}}$ を押すとICカードモードは解除され通常モードとなります。

## 概要

ICカードを使ったセットアップメニューの管理を行い、システムファイルおよびユーザーファイル( USER1 ~ USER5 )のロード( ICカードからの読み出し )/セーブ( ICカードへの保存 )が行えます。



## ノート

システムファイルおよびユーザーファイル( USER2 ~ USER5 )には設定内容を保護するロックモードがあり、システムファイルはセットアップメニューNo.30( MENU LOCK )、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03( MENU LOCK )で設定することができます。

但し、上記メニューにおいてロックモードを設定しても、ロード( ICカードからの読み出し )は実行されます。

\* 使用できるカードは68ピンツープース方式の電池交換型SRAMカード( 64KB以上 )です。品番BN-064HSRを推奨します。

# IC CARD 機能

## 表示説明

IC CARD機能を選択した場合、VTRステータス表示部③に以下の情報が表示されます。



①モード表示 : 本機がIC CARDモードで動作していることを表します。

②ファイル選択表示 : 対象となる全ファイル名が表示されており、操作対象ファイルを選択するとそのファイル名が点滅表示されます。(デフォルト状態では1が点滅しており、USER1が操作対象となっています。)

ファイル名	内 容
1	ユーザーファイル (USER1)を意味します。
2	ユーザーファイル (USER2)を意味します。
3	ユーザーファイル (USER3)を意味します。
4	ユーザーファイル (USER4)を意味します。
5	ユーザーファイル (USER5)を意味します。
s	システムファイルを意味します。

③バッテリー表示 : ICカードに内蔵されているバッテリーの消耗状態を表示します。

状態表示	内 容
(ブランク)	バッテリーは問題ありません。
!	バッテリーが消耗しています。(新しいものと交換してください。)

④実行状態表示 : 操作対象ファイルに対して操作を行うと、その実行期間中において実行状態を表示します。

状態表示	実行内容
SAVE	対象ファイルをVTRから読み出し、ICカードへ保存しています。
LOAD	対象ファイルをIC CARDから読み出し、VTR側に保存しています。
LOCK	IC CARDに保存されているファイルを書き込み禁止状態または書き込み許可状態にしています。
DELETE	ICカードに保存されているファイルを消去しています。
FORMAT	ICカードをフォーマットしています。

⑤ファイルステータス表示 : ICカード内のファイルの保存状態を表示します。

状態表示	内 容
(ブランク)	ファイルは保存されていません。
○	ファイルは保存されています。
■	保存されているファイルが書き込み禁止状態になっています。

# IC CARD 機能

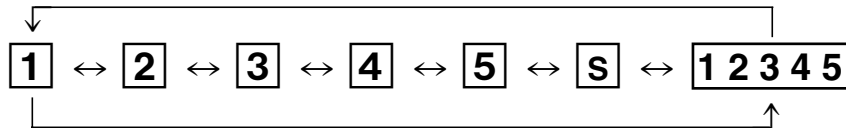
## 操作説明

IC CARD機能に対して以下のキー操作ができます。

機能名	キー操作	実行内容
ファイル選択	TRIM ボタン <b>37</b> ( <b>+</b> / <b>-</b> )	対象ファイルを選択します。
SAVE	SET ボタン <b>36</b> + IN ボタン <b>36</b>	対象ファイルを VTR から読み出し、IC カードへ保存します。
LOAD	SET ボタン <b>36</b> + OUT ボタン <b>36</b>	対象ファイルを IC CARD から読み出し、VTR 側に保存します。
LOCK	SET ボタン <b>36</b> + SHIFT ボタン <b>41</b>	IC CARD に保存されているファイルを書き込み禁止状態または書き込み許可状態にします。
DELETE	SET ボタン <b>36</b> + RESET ボタン <b>41</b>	IC カードに保存されているファイルを消去します。
FORMAT	SET ボタン <b>36</b> + REC ボタン <b>18</b>	IC カードをフォーマットします。

ファイル選択について

TRIM ボタンを押すことにより、以下のように選択ファイルが切り替わります。



TRIM ボタン **+** : ① ②...と順に切り替わります。  
 TRIM ボタン **-** : ⑤ ④...と順に切り替わります。

ノート

IC カードへの操作中に IC カードを取り出さないでください。IC カードの内容が破損するおそれがあります。

## ワーニングメッセージ

IC CARD モードを選択した場合、以下のワーニングメッセージが VTR ステータス表示部 **④** に表示されることがあります。  
 指示に従って、ワーニングを解除してください。

IC カードが挿入されていない場合： IC カードを挿入してください。

N	O	C	A	R	D																

IC カードがフォーマットされていない場合： 操作説明に従ってフォーマットを実行してください。

U	N	F	O	M	A	T	T	E	D	C	A	R	D								

IC カードへの操作が禁止されている場合： REMOTE/LOCAL L スイッチ **④** が「REMOTE」になっていると、以下のワーニングメッセージが表示され、IC カードへの操作が禁止されます。「LOCAL」に切り替えてください。

I	C	C	a	r	d	i	s	i	n	v	a	l	i	d								

# バリエブルメモリー機能

## バリエブルメモリー機能

バリエブルメモリーモードの選択  
MODE/SELボタン④を押した<拡張モード選択>状態から、バリエブルメモリーモードが選択できます。  
EXITボタン⑤を押すとバリエブルメモリーモードは解除され通常モードとなります。

## 概要

本機には以下のように2つのバリエブルメモリー機能があります。これらの機能はバリエブルメモリーモードで操作することができます。

- バリエブルメモリー再生 : 任意の区間をVARモードで変速再生し、その速度の変化を記憶し、その記憶した速度で再生を行うことができます。
- バリエブルメモリー編集 : 本機をコントローラとして使用(デッキ対デッキモードのRECORDER機)し、PLAYER機の再生速度をコントロールして、変速モードでの編集を行うことができます。

## バリエブルメモリー再生操作手順

バリエブルメモリー再生を行うには、バリエブルメモリーモードにして以下の操作を実施します。

- 1 SETボタン④とINボタン⑥を使ってIN点を登録します。  
バリエブルメモリー再生では、OUT点の設定は不要です。
- 2 SETボタン④を押しながらサーチダイヤル⑦で初速(-1.0 ~ +1.0)を設定します。
- 3 SETボタン④とPREVIEW/REVIEWボタン⑤を同時に押すと、自動的にプリロールしIN点まで設定された初速で再生します。
- 4 IN点通過後サーチダイヤル⑦を回して再生速度を記憶します。
- 5 STOPボタン⑧を押してテープを止めます。
- 6 PREVIEW/REVIEWボタン⑤を押すと記憶した速度でバリエブルメモリー再生を行います。

### ノート

- IN点通過からメモリー内容で再生し、メモリー内容の最後のスピードでSTOPボタン⑧を押すまで走行します。
- メモリーされた内容は、バリエブルメモリーモードでなくなると消えます。また、POWERスイッチ⑨を「OFF」にするとメモリーは消えます。



# バリアブルメモリー機能

---

## バリアブルメモリー編集操作手順

バリアブルメモリー編集を行うには、RECORDERとして接続されている本機をバリアブルメモリーモードにして以下の操作を実施します。

- 1 ASMBLボタン<sup>④</sup>または希望のINSERTボタン<sup>⑤</sup>を押して編集モードを選択します。
- 2 RECORDERまたはPLAYERボタン<sup>①</sup>を押して操作するVTRを選択します。
- 3 SETボタン<sup>⑥</sup>とIN/OUTボタン<sup>⑦</sup>を使ってIN/OUT点を登録します。  
PLAYERのOUT点は登録できません。
- 4 PLAYERボタン<sup>①</sup>を押しPLAYERのVTRを選択した後、SETボタン<sup>⑥</sup>を押しながらサーチダイヤル<sup>⑧</sup>で初速を設定します。
- 5 SETボタン<sup>⑥</sup>とPREVIEW/REVIEWボタン<sup>⑨</sup>を同時に押すと、PLAYER/RECORDER共に、自動的にプリロールしPLAYERのVTRはIN点まで設定された初速で再生します。
- 6 IN点通過後サーチダイヤル<sup>⑧</sup>を回してPLAYER VTRの再生速度を記憶します。
- 7 RECORDERで設定されたOUT点を通過すると再生速度の記憶は終了します。
- 8 AUTO EDITボタン<sup>⑩</sup>を押すとバリアブルメモリー編集を実行します。  
一度編集が実行されると記憶していた速度は消されます。ただし、初速度はクリアされません。
- 9 PREVIEW/REVIEWボタン<sup>⑨</sup>を押すと編集結果が確認できます。

### ノート

- メモリーされた内容は、バリアブルメモリーモードでなくなると消えます。また、POWERスイッチ<sup>①</sup>を「OFF」にするとメモリーは消えます。
- バリアブルメモリー編集のIN点までの再生時に調相を行いません。

# ERROR LOG 機能

## ERROR LOGモードの選択

MODE/SELボタン $\text{\textcircled{5}}$ を押した<拡張モード選択>状態から、ERROR LOGモードが選択できます。

EXITボタン $\text{\textcircled{6}}$ を押すとERROR LOGモードは解除され通常モードとなります。

## 概要

テープ走行中において、以下のワーニングが発生した場合、ワーニングメッセージと共にタイムコードと動作モードを保存し、VTRステータス表示部 $\text{\textcircled{3}}$ においてリスト形式で読み出すことができます。

発生したワーニングは最大99個まで保存することができます。また、99個の保存容量を越えた場合はセットアップメニューNo.015(AUTO STEP)の設定に従って処理されます。

保存対象ワーニングメッセージ	内 容
NO RF	テープのブランク部分を1秒以上検出した。(ノーマル再生時)
SV NOT LOCKED	サーボが3秒以上はずれた。(記録/ノーマル再生/編集時)
LOW RF	エンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した。(記録/ノーマル再生/編集時)
HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオの何れかの再生信号に修正/補正がかかった。(ノーマル再生時)

## メニュー説明

セットアップメニューNo.015(AUTO STEP) DEFAULT設定はOFF)

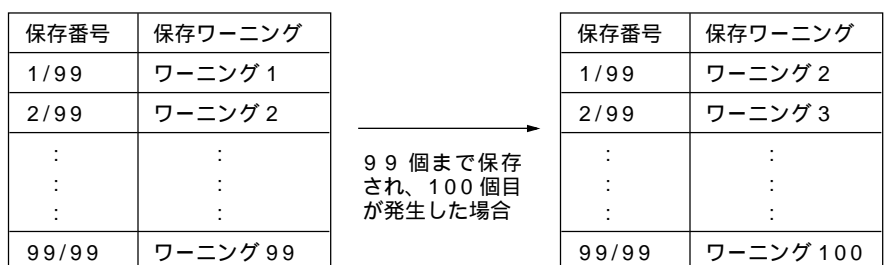
ERROR LOG機能において、ワーニングメッセージは最大99個まで保存できますが、この容量を越えた場合の保存処理を選択します。

OFF : 99個を上限とし、以降に発生したワーニングメッセージは保存されません。

ON : 99個を保存し、以降に発生したワーニングメッセージは99番目に保存されます。

既に保存されているワーニングメッセージは下位番目方向に順次シフトされます。

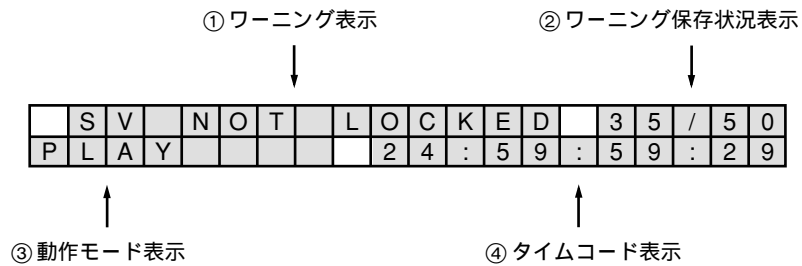
- 「ON」が設定された場合の保存イメージ図を示します。



# ERROR LOG 機能

## 表示説明

ERROR LOG機能を選択した場合、VTRステータス表示部③に以下の情報が表示されます。



- ①ワーニング表示                      : 保存されているワーニングメッセージを表示します。
- ②ワーニング保存状況表示            : 表示されているワーニングの保存番号、および保存されている全てのワーニングの保存数を表示します。
- ③動作モード表示                      : ワーニングが保存された時点の動作モードを表示します。
- ④タイムコード表示                    : ワーニングが保存された時点のタイムコードを表示します。

## 操作説明

ERROR LOG機能に対して以下のキー操作ができます。

機能名	キー操作	機 能
選択	スクロールボタン ⑤	保存されたワーニングメッセージを上下にスクロールすることができます。
ALL CLEAR	RESET ボタン ⑪	保存されたワーニングメッセージを一括クリアすることができます。
CUE UP	PREROLL ボタン ⑬	選択表示されているワーニングに対して、ワーニング発生ポイントにキューアップすることができます。

# セットアップ (初期設定)

本機の主な設定はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

## 設定の変更

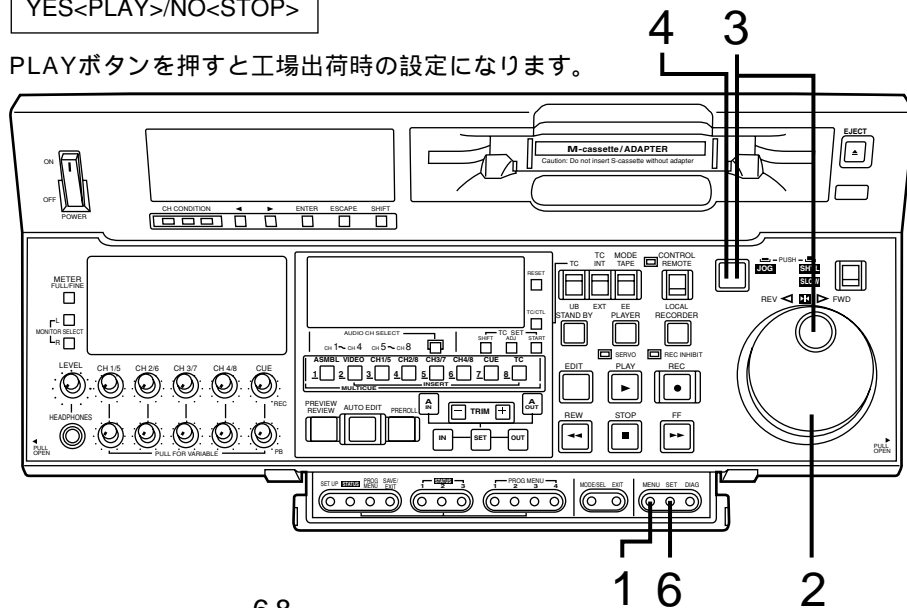
- 1** MENUボタンを押します。  
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。  
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2** サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。  
メニュー画面のカーソル( \* )が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
  - 右に回すと項目No.が001 002 003 004 のように増加し、左に回すと減少します。
  - PLAYボタンを押しながらFFまたはREWボタンを押すと、次または前の項目に切り替わります。
  - サーチダイヤルはできるだけJOGモードでご使用ください。
- 3** 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。  
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。  
ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。
- 4** 設定が終了すると、サーチボタンを離します。  
項目No.が点滅します。
  - サーチダイヤルがSHTLモードのときは、静止にしないと項目が移動します。
- 5** 変更する項目がある場合、2～4 を繰り返します。
- 6** SETボタンを押します。  
変更した内容は記憶されます。  
設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。
  - セットアップの内容を工場出荷(初期設定)に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET  
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

### <ノート>

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記録されます。

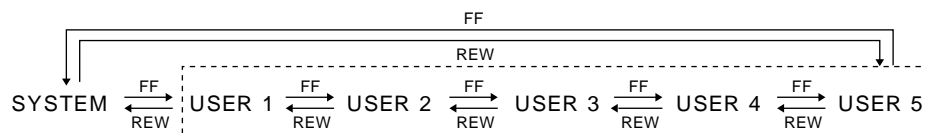


# セットアップメニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

## ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。  
STAND BYボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



### ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- MENU

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決定すると、SETボタンを押します。  
ユーザーファイルを変更して記憶します。

### < ノート >

- SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

# セットアップメニュー

システムファイルおよびユーザーファイル( USER2 ~ USER5 )の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルはセットアップメニューNo.30( MENU LOCK)、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03( MENU LOCK)で設定できます。

## ロックモードの設定および解除

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をシステムファイルはNo.30( MENU LOCK)、ユーザーファイルはNo.A03( MENU LOCK)へ移動します。
- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択します。  
ロック設定：設定値を0001( ON )に設定します。  
ロック解除：設定値を0000( OFF )に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「 LOCKED 」を点滅表示します。

SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000 - 0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 LOCAL ENA	ST&EJ
002 TAPE TIMER	±12h
003 REMAIN SEL	OFF
004 SYNCHRONIZE	OFF
005 SUPER	ON
006 DISPLAY SEL	T&STA
007 CHARA H-POS	6
008 CHARA V-POS	23

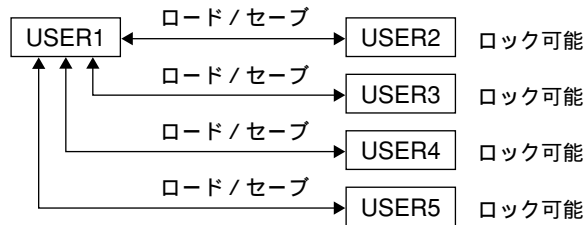
- 5 SETボタンを押します。設定内容が記憶されます。

< ノート >

- USER1はロックモードの設定はできません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作はできません。

# セットアップメニュー

USER2 ~ USER5 の内容を USER1 へ複写(ロード)することができます。また、USER1 の内容を USER2 ~ USER5 へ複写(セーブ)することができます。



## ユーザーファイルのロード

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A00(LOAD)へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>    NO.A00 - 0000
 759 REC PT MUTE      OFF
*A00 LOAD          USER2
A01 SAVE           USER2
A02 P.ON LOAD      OFF
END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU LOAD

USER2    USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

■の部分(USER2)は4.の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。4.の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A00(LOAD) \ No.A01(SAVE)以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

# セットアップメニュー

## ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A01( SAVE )へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00 - 0000
759 REC PT MUTE      OFF
A00 LOAD            USER2
*A01 SAVE           USER2
A02 P.ON LOAD       OFF
END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤル回し、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED”表示となりセーブ操作はできません。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU  SAVE

USER1      USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

■の部分は4.の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。USER1の内容が4.の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A00( LOAD )、No.A01( SAVE )以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。  
USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

## 電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02( P.ON LOAD )でロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。



# セットアップメニュー

## SYSTEM メニュー

### < SYSTEM >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	WFM SEL	0000	CTL	VIDEO OUT 2出力端子から各種信号を出力することができます。 0 : CTL信号を出力します。 1 : TIME CODE信号を出力します。 2 : VIDEO OUT信号を出力します。 3 : PB L RF信号を出力します。 4 : PB R RF信号を出力します。 5 : PB L ENV信号を出力します。 6 : PB R ENV信号を出力します。 <ノート> 1. セットアップメニューNo.30(MENU LOCK)の設定に影響されず、常に設定を変更することができます。 2. 通常再生時における各出力信号はほぼ以下のレベルになります。 CTL : 0.1 ~ 0.3 Vp-p TC : 0.6 Vp-p VIDEO : 1.0 Vp-p
		0001	TC	
		0002	VIDEO	
		0003	RF-L	
		0004	RF-R	
		0005	ENV-L	
		0006	ENV-R	
05	ENCODER SEL	0000	REMOTE	ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートから行うかを設定します。 0 ; 外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。 1 : 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。 2 : 本機及び外部のエンコーダリモートコントローラからビデオ出力信号の各調整を行います。
		0001	LOCAL	
		0002	BOTH	
06	V LEVEL CTRL	0000	HD	外部のエンコーダリモートコントローラからビデオ出力レベルを調整する場合、制御する対象を選択します。 0 : HDのビデオ出力レベルが調整できます。 1 : SDのビデオ出力レベルが調整できます。 2 : HD/SD共に、ビデオ出力レベルが調整できます。
		0001	SD	
		0002	BOTH	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

ビデオ出力信号の各調整について  
各調整の制御マトリックスを下表に示します。

設定		調整項目	
05 : ENCODER SEL	06 : V LEVEL CTRL	650 : Y LVL( HD ) 651 : P <sub>B</sub> LVL( HD ) 652 : P <sub>R</sub> LVL( HD ) 653 : BK LVL( HD )	654 : Y LVL( SD ) 655 : P <sub>B</sub> LVL( SD ) 656 : P <sub>R</sub> LVL( SD ) 657 : BK LVL( SD )
REMOTE	HD	外部エンコーダリモート	調整不可
	SD	調整不可	外部エンコーダリモート
	BOTH	外部エンコーダリモート	外部エンコーダリモート
LOCAL	HD	本機	本機
	SD		
	BOTH		
BOTH	HD	外部エンコーダリモート/本機	本機
	SD	本機	外部エンコーダリモート/本機
	BOTH	外部エンコーダリモート/本機	外部エンコーダリモート/本機

#### <ノート>

外部のエンコーダリモートコントローラ(AJ-ER50、別売品)をご使用の場合、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」および「SYS PHASE」は動作しません。

外部エンコーダリモート : 外部エンコーダリモートのみの調整となります。  
 本機 : セットアップメニューのみの調整となります。  
 外部エンコーダリモート/本機 : 外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから同時に調整可能ですが、外部エンコーダリモートからの調整値はセットアップメニューに反映されません。

# セットアップメニュー

## SYSTEM メニュー

### < SYSTEM > ( つづき )

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
12	SYS H (HD)* <sup>1</sup>	0550 ↓ 1100 ↓ 1650	- 550 ↓ 0 ↓ 550	システム位相調整：27nsステップ -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
13	V PHASE (HD)* <sup>1</sup>	0000 ↓ 0500 ↓ 1000	- 500 ↓ 0 ↓ 500	ビデオ位相調整：27nsステップ -：進み +：遅れ <ノート> SD再生テープからのHDアップコン出力(オプション装着時)はビデオ位相が固定となっています。
14	SYS SC (SD)* <sup>2</sup>	0000 ↓ 0108 ↓ 0216	- 108 ↓ 0 ↓ 108	システム位相調整：トータル可変範囲±180°以上 -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
15	VO SYS H (SD)* <sup>2</sup>	0000 ↓ 0429 ↓ 0858	- 429 ↓ 0 ↓ 429	VIDEO OUTのシステム位相調整：74nsステップ -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
16	SDI SYS H (SD)* <sup>2</sup>	0000 ↓ 0429 ↓ 0858	- 429 ↓ 0 ↓ 429	SDI OUTのシステム位相調整：74nsステップ -：進み +：遅れ ノート 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
17	V PHASE (SD)* <sup>2</sup>	0000 ↓ 0190 ↓ 0380	- 190 ↓ 0 ↓ 190	ビデオ位相調整：148ns ステップ -：進み +：遅れ <ノート> HD再生テープからのSDダウンコン出力(オプション装着時)はビデオ位相が固定となっています。
18	SCH COAR (SD)* <sup>2</sup>	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	SCH位相調整：90° 単位 -：進み +：遅れ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
19	SCH FINE (SD)* <sup>2</sup>	0000 ↓ 0032 ↓ 0064	- 32 ↓ 0 ↓ 32	SCH位相調整：トータル可変範囲±45° 以上 -：進み +：遅れ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
20	AV PHASE	0000 ↓ 0100 ↓ 0200	- 100 ↓ 0 ↓ 100	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。： 20.8 μs -：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 +：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。
30	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	システムファイルのロックモードの設定 / 解除を選択します。 0：ロック解除(変更可能) 1：ロック設定(変更禁止)

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

\*<sup>1</sup>はHD出力時( HDテープ再生またはアップコンバータ出力時)

\*<sup>2</sup>はSD出力時( SDテープ再生またはダウンコンバータ出力時)

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	P-ROLL TIME	0000   0005   0015	0s   5s   15s	プリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。 < ノート > VTR本体での自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT] 時は プリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。
001	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロン トパネルで操作可能なボタンを選択します。 0 : 全て不可 1 : STOP、EJECTボタンのみ可能 2 : RECORDER、PLAYERボタン以外全て可能
002	TAPE TIMER	0000 0001	± 12h 24h	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0 : 12時間表示 1 : 24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001	OFF ON	HD SDI OUT3 / SD SDI OUT3 / VIDEO OUT3端子 のスーパー表示にREMAIN(テープ残量時間)を表示する かどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : 表示します。 < ノート > 1. 「1 : ON」を選択した場合であっても、EJECTおよび カセット挿入後でテープ残量の計算を行っている間 は、表示されません。 2. セットアップメニュー No.006 ( DISPLAY SEL ) が TIMEに設定されている場合は、表示されません。
004	SYNCHRO- NIZE	0000 0001	OFF ON	2台のデッキ間で調相するかしないかを設定します。 0 : 調相をかけません。編集点が数フレームずれますが編 集に素早く入れます。 1 : 調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。
005	SUPER	0000 0001 0002	OFF ON SW	HD SDI OUT3 / SD SDI OUT3 / VIDEO OUT3端子 にタイムコード等のスーパー表示を行うかどうかを選択し ます。 0 : 表示しません。 1 : 表示します。 2 : SETボタン(フロントパネル下部⑤)先押しのPLAYボタ ン押しにてスーパー表示のON/OFFを切り替えます。 ノート PLAYボタン先押しのSETボタン押しでは、通常のPLAY ボタン押しと同じ動作を行います。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
006	DISPLAY SEL			HD SDI OUT3 / SD SDI OUT3 / VIDEO OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示内容を選択します。 0 : 時間のみ 1 : 時間および動作モード 2 : 時間, 動作モードおよびモード 3 : 時間およびREC TIME 4 : 時間およびREC DATE(年月日) 5 : 時間およびREC DATE(月日年) 6 : 時間およびREC DATE(日月年) ノート 1. モード表示は、各フォーマットに従って以下のように表示します。 <フォーマット>                    <表示> DVCPROHD                    DVCPRO_HD DVCPRO50                    DVCPRO_50 DVCPRO                    DVCPRO DV                    DV DVCAM                    DVCAM 2. 2(T&S&M)設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示します。 3. REC TIMEおよびREC DATEはDV / DVCAMフォーマット再生時のみ表示します。DVCPROHD / DVCPRO50/DVCPROフォーマット時は動作モードを表示します。
		0000	TIME	
		0001	T&STA	
		0002	T&S&M	
		0003	T&RT	
		0004	T&YMD	
		0005	T&MDY	
0006	T&DMY			
007	CHARA H-POS	0000	0	HD SDI OUT3 / SD SDI OUT3 / VIDEO OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態では各OUT3端子へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で各OUT3端子へ出力します。
		↓	↓	
		0006	6	
		↓	↓	
0037	37			
008	CHARA V-POS	0000	0	HD SDI OUT3 / SD SDI OUT3 / VIDEO OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態では各OUT3端子へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で各OUT3端子へ出力します。
		↓	↓	
		0023	23	
		↓	↓	
0032	32			
009	CHARA TYPE			HD SDI OUT3 / SD SDI OUT3 / VIDEO OUT3端子のスーパーおよび、SETUP-MENU等の表示タイプを選択します。 0 : 白文字で、背景は黒 1 : 白文字で、黒のふちどり
		0000	WHITE	
		0001	W/OUT	

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
010	MONI CONTROL	0000 0001	MANU AUTO	デッキ対デッキ編集時、モニタがレコーダ側だけに接続されている場合、レコーダ側のPLAYERボタンを押すことにより、強制的にレコーダをEEモードにし、プレーヤの再生信号をモニタに出力するかどうかを設定します。 0：強制的にEEモードにはなりません。 1：強制的にEEモードになり、プレーヤの再生信号が出力されます。
011	CU-ROLL TIME	0000 0005 0015	0s 5s 15s	MULTI CUEモードにおける、プリロール時間を設定します。 0～15秒の間で1秒単位で設定できます。
012	REC ADJUST	0000 0003 0005	0s 3s 5s	ストップコード記録基準点の何秒前からストップコードを記録するかを選択します。 0～5秒の間で1秒単位で設定できます。
013	DET STOP	0000 0001	OFF ON	ストップコード検出時の動作を設定します。 0：PLAY動作を継続します。 1：強制STOPします。
014	DET ADJUST	0000 0008 0108	- 8f 0f 3s10f	ストップコードを検出した場合、テープ走行を停止する位置を通常の停止位置からストップコード記録基準点に近づく方向に - 8フレーム～3秒10フレームの範囲でフレーム単位で調整します。
015	AUTO STEP	0000 0001	OFF ON	エラーログ機能において、ワーニングメッセージは最大99個まで保存できますが、この容量を越えた場合の保存処理を選択します。 0：99個を上限とし、以降に発生したワーニングメッセージは保存されません。 1：99個を保存し、以降に発生したワーニングメッセージは99番目に保存されます。既に保存されているワーニングメッセージは下位番号方向に順次シフトされます。
020	SYS FORMAT	0000 0001	1080i 720p	本機の記録フォーマットを選択します。 0：1080iを選択します。 1：720pを選択します。
022	PB FORMAT	0000 0001	MANUAL AUTO	テープ再生時のフォーマットを選択します。 0：セットアップメニューNo.023(FORMAT SEL)の設定に従います。 1：テープに記録されているフォーマットに従います。
023	FORMAT SEL	0000 0001 0002 0003 0004 0005	HD 50M 25M 50Mp DV DVCAM	セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)が「MANUAL」に設定されている場合のフォーマットを選択します。 0：DVCPROHDフォーマットを選択します。 1：DVCPRO50(422)フォーマットを選択します。 2：DVCPRO(411)フォーマットを選択します。 3：DVCPRO50(420p)フォーマットを選択します。 4：DVフォーマットを選択します。 5：DVCAMフォーマットを選択します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
030	HD FREQUENCY	0000 0001	59.94 60	0 : 59.94 Hzになります。 1 : 60 Hzになります。 ただし、ここで設定したFLD周波数は、OUT_REF設定に対応した入力がないときのみ使用されます。 対応する入力がある場合は、FLD周波数は入力のFLD周波数と一致します。
031	OUT REF	0000 0001 0002 0003	AUTO INPUT HD_REF SD_REF	ビデオ出力のリファレンス 0 : HD_REF入力があるときは、その信号がリファレンスになります。 HD_REF入力がなくSD_REF入力があるときは、そのSD_REF信号がリファレンス になります。 HD_REF、SD_REF入力が無いときは、HDシリアル信号がリファレンスになります。 HD_REFもSD_REFもHDシリアル入力信号も無いときは、内部同期信号がリファレンスになります。 1 : HDシリアル入力信号があるときは、その信号がリファレンスになります。 2 : HD_REF IN端子に入力された信号がリファレンスになります。 3 : SD_REF IN端子に入力された信号がリファレンスになります。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

### テープ再生時のフォーマットについて

022 : PB FORMAT	020 : SYS FORMAT	023 : FORMAT SEL	再生フォーマット
MANUAL	1080i	HD	DVCPROHD(1080i)
		422	DVCPRO50(422)
		411	DVCPRO(411)
		420p	DVCPRO50(420p)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
	720p	HD	DVCPROHD(720p)
		422	DVCPRO50(422)
		411	DVCPRO(411)
		420p	DVCPRO50(420p)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
AUTO	_____	_____	DVCPROHD(1080i)/ DVCPROHD(720p)/ DVCPRO50(422)/ DVCPRO(411)/ DVCPRO50(420p)/ DV/DVCAM、自動検出

#### ノート

- EJECT時はセットアップメニューNo.020(SYS FORMAT)により選択されたフォーマットとなります。
- セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)が「AUTO」に設定されている場合、フォーマット未検出時(テープ挿入時)のフォーマットはセットアップメニューNo.023(FORMAT SEL)に従います。ただし、「DV」「DVCAM」が選択されている場合は、「HD」が選択されているものとして動作します。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < OPERATION >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	SEARCH ENA	0000 0001	DIAL KEY	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0 : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 1 : サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X8.4 X16 X32	シャトル動作の最大速度を設定します。 0 : X8.4倍速 1 : X16倍速 2 : X32倍速 <ノート> 実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。
102	FF. REW MAX	0000 0001 0002 0003 0004	X16 X32 X50 X60 X100	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0 : X16倍速 1 : X32倍速 2 : X50倍速 3 : X60倍速 4 : X100倍速 <ノート> DVCPROHDは最大50倍速、DV/DVCAMは最大32倍速に自動的にリミットされます。
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ON	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105	AUTO EE SEL	0000 0001	S/F/R STOP	TAPE/EE SWがEEの時、EE状態になるVTRのモードを選択します。 0 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 1 : STOPの時のみ、EE状態になります。 <ノート> DVCPRO50/DVCPRO/DV/DVCAMフォーマット時におけるEE出力は、映像はBLACKとなり音声はミュートされます。 ただし、セットアップメニューNo.118(SD MODE INH)が「OFF」の場合は、DVCPRO50/DVCPROフォーマットではEEが出力されます。
106	EJECT EE SEL	0000 0001 0002	EE BLACK GRAY	EJECT時における、映像および音声の出力状態を選択します。 0 : TAPE/EE SW状態に関係無く常にEE状態になります。 1 : TAPE/EE SW状態により EE時 : EE状態になります。 TAPE時 : 映像系は、BLACK状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。 2 : TAPE/EE SW状態により EE時 : EE状態になります TAPE時 : 映像はGRAY状態になります。 音声は、ミュート状態になります。 <ノート> DVCPRO50/DVCPRO/DV/DVCAMフォーマット時におけるEE出力は、映像はBLACKとなり音声はミュートされます。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

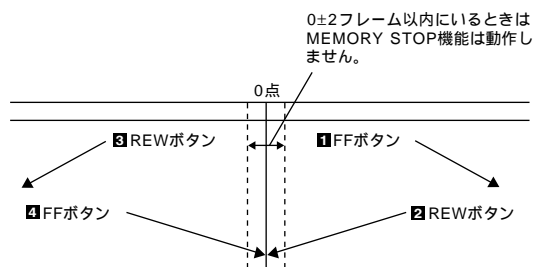
## USER メニュー

### < OPERATION > ( つづき )

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
107	EE MODE SEL	0000 0001	NORMAL THRU	EEモード時の出力信号を選択します。 0 : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 1 : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。 <ノート> 編集モード選択時、ビデオの入力信号選択においてSDTIを選択した時(オプション装着時)、ビデオまたはオーディオにおいてINT SGを選択した時は内部動作は強制的に「NORMAL」になります。
108	PLAY DELAY	0000   0015	0   15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
109	CAP.LOCK	0000 0001	2F 4F	再生フレーミングのロックを4フィールド単位で行うか、2フィールド単位で行うかを選択します。 0 : 2Fモード 1 : 4Fモード
110	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0 : テープ終端で停止します。 1 : テープ始端まで巻き戻します。
111	MEMORY STOP	0000 0001	OFF ON	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0 : VTRは停止しません。 1 : VTRは自動的に停止します。 <ノート> • 停止モードは、セットアップメニューNo.315(AFTER CUE-UP)の設定により停止または静止画(SHTL STILL)モードとなります。 • AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

### MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合、PREROLLランプ(SHTLランプも点灯)が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合、PREROLLランプ(SHTLランプも点灯)が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。



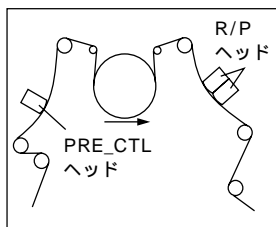
# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
112	FRZ MODE SEL	0000	DIS	再生画像からのSTANDY OFFモードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。 0 : 映像出力をミュートします。 1 : STANDBY OFFモード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。 2 : STANDBY OFFモードおよびEJECT時、その時点での再生画をフリーズして出力します。 <ノート> •フリーズ時の状態は、セットアップメニューNo.604 (FREEZE SEL)の設定に従います。 •EJECTモードはセットアップメニューNo.106(EJECT EE SEL)が1(BLACK)、2(GRAY)の設定時のみフリーズ画を出力します。 •EJECTモードへ遷移した時、HDシリアル出力の出力フォーマットに変化が生じた場合は強制的にフリーズは解除されず。
		0001	STBOFF	
		0002	SOF&EJ	
113	REC INH	0000	OFF	カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。 0 : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能状態の時にカセットへの記録が可能です。 1 : カセットテープへの記録を禁止します。 2 : ノーマル記録時において上書きを禁止します。 <ノート> “PRE”とは誤消去防止機能として動作します。この時、REC INHIBIT LAMPは常時点滅します。(約0.5秒/点滅周期)
		0001	ON	
		0002	PRE	
114	REC INH LAMP	0000	LIGHT	カセットが誤消去防止状態になっているときに、REC INHIBIT ランプを点滅または点灯させるかを選択します。 0 : ランプが点灯します。 1 : ランプが点滅します。(約1秒/点滅周期) <ノート> •セットアップメニューNo.113(REC INH)が1(ON)に設定されている場合は、本設定に関係無くREC INHIBIT LAMPは常時点灯します。 •セットアップメニューNo.113(REC INH)が2(PRE)に設定されている場合は、本設定に関係無くREC INHIBIT LAMPは常時点滅します。(約0.5秒/点滅周期)
		0001	FLASH	
115	EJECT SW INH	0000	REC	フロントパネルのEJECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0 : 記録モード中は禁止されます。 1 : 全てのモードにおいて操作が可能になります。
		0001	OFF	
116	EJECT LAMP	0000	MODE1	カセットアウト状態でEJECTランプを点灯させたままとするか、消灯させるかを選択します。 0 : EJECTランプは点灯したままとなります。 1 : EJECTランプは消灯します。
		0001	MODE2	
117	M CASSTT INH	0000	OFF	Mカセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。 0 : Mカセットテープへの記録が可能です。 1 : Mカセットテープへの記録を禁止します。 <ノート> 0(OFF)を選択した場合、カセットテープへの記録の禁止/許可状態はセットアップメニューNo.113(REC INH)に従います。
		0001	ON	

誤消去防止機能について  
テープ上に既に記録されている部分に対して再記録を禁止する機能です。  
CTL信号の記録/再生ヘッド(下図)のように配置し、CTL信号の有無により記録の判断を行い、記録済みのテープの誤消去を防止します。記録済みテープでREC/PLAYボタンを押すと、テープ走行はしますが、RECボタンは点滅し、記録はされません。



CTLヘッド配置図(概略)

は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
118	SD MODE INH	0000 0001	OFF ON	DVCPRO50及びDVCPROフォーマット時の記録の禁止/許可を選択します。 0 : カセットテープへの記録が可能です。 1 : カセットテープへの記録を禁止します。 <ノート> •0(OFF)を選択した場合、カセットテープへの記録の禁止/許可状態はセットアップメニューNo.113(REC INH)に従います。 •記録フォーマットはDVCPROHD(1080i)となります。
131	PAGE MODE	0000 0001	MANU AUTO	マルチキュー機能ON設定時、キュー点の動作を選択します。 0 : 選択されたページ内での動作となり、8ポイントのキュー点が登録できます。 1 : キュー点登録中ページが一杯になったときは、自動的に次ページへ移り、登録を続けます。最大10ページまで、合計80ポイントのキュー点が登録できます。
132	ROTA MODE	0000 0001	OFF ON	マルチキュー機能ON設定時、すべてのキュー点がすでに登録されている場合の登録動作を選択します。 0 : 登録動作は行いません。 1 : 登録動作を続けます。セットアップメニューNo.131 (PAGE MODE)がMANUに設定されている場合は、そのページ内のCUE * 1へ、AUTOに設定されている場合は、CUE01へ登録します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < INTERFACE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	PARA RUN	<u>0000</u> 0001	<u>DIS</u> ENA	2 台以上のVTR を同期運転させるかを選択します。 0 : 同期運転させません。 1 : 同期運転させます。 < ノート > 同期運転させる場合は、全てのVTRを1( ENA )に設定します。(13、21ページ参照)
201	9P SEL	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
202	ID SEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>OTHER</u> DVCPRO ORIG	コントローラに返すID情報を選択します。 0 : 20 25H 1 : DVCPROの独自のID( F0 33H )を返します。 2 : 本機独自のID( A0 50H )を返します。 < ノート > 「2(ORIG)」はパナソニック製のコントローラ(AJ-A900 など、別売品 )との接続時のみ設定してください。
203	50P SEL	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、PARALLEL( 50P )端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
204	RS232C SEL	<u>0000</u> 0001	OFF <u>ON</u>	REMOTE/LOCALスイッチがREMOTEのとき、RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
205	BAUD RATE	0000 0001 0002 0003 0004 <u>0005</u>	300 600 1200 2400 4800 <u>9600</u>	RS-232Cの通信速度( ボーレート )を設定します。
206	DATA LENGTH	0000 <u>0001</u>	7 <u>8</u>	RS-232Cのデータ長を設定します。 ( 単位 : BIT )
207	STOP BIT	<u>0000</u> 0001	<u>1</u> 2	RS-232Cのストップビット長を設定します。 ( 単位 : BIT )
208	PARITY	<u>0000</u> 0001 0002	<u>NON</u> ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0 : パリティビットを使用しません。 1 : パリティビットを奇数パリティで使用します。 2 : パリティビットを偶数パリティで使用します。
209	RETURN ACK	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0 : ACKコードを返信しません。 1 : ACKコードを返信します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < INTERFACE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
210	50P STBY CMD	0000	OFF/ON	PARALLEL(50P)端子におけるSTANDBY COMMANDの信号入力検出方法を選択します。 0 : アクティブ信号を検出する毎に、STANDBY ON/OFFモードが交互に切り替わります。 1 : STANDBY OFFモードにおいて、アクティブ信号を検出した場合、STANDBY ONモードへ移行します。 STANDBY ONモード中の動作には影響しません。
		0001	ON	
211	LOCAL 50P	0000	OFF	REMOTE/LOCALスイッチが「LOCAL」の時、PARALLEL(50P)端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
		0001	ON	
212	MASTER PORT	0000	IN/OUT	本機をデッキ対デッキ操作時においてマスター機として使用する場合、スレーブ機を制御するリモートコントロール端子を選択します。 0 : IN/OUT端子を使用します。 1 : OUT端子を使用します。 <ノート> 本設定はREMOTE/LOCALスイッチが「LOCAL」の時のみ有効です。
		0001	OUT	
213	50P STOP DET	0000	OFF	ストップコード検出時の50ピンへの状態出力を設定します。 0 : 50ピンへ出力しません。 1 : 50ピンへ検出状態を出力します。
		0001	ON	

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < EDIT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
300	IN/OUT DEL	0000 0001	MANU AUTO	編集点を誤って設定したとき(OUT点がIN点より前にある時)の動作を選択します。 0 : 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 1 : あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
301	NEGA FLASH	0000 0001	OFF ON	IN点がOUT点より大きい時、ネガティブ表示するかを選択します。 0 : ネガティブ表示をしません。 1 : ネガティブ表示をします。
302	CONFI EDIT	0000 0001	OFF ON	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0 : 同時再生を行いません。 1 : 同時再生を行います。 <ノート> TAPE/EE SWが「TAPE」側の場合に同時再生が有効になります。
303	AUD EDIT IN	0000 0001	CUT FADE	デジタルオーディオ編集IN点のつなぎ方を選択します。 0 : カット処理 1 : Vフェード処理
304	AUD EDIT OUT	0000 0001	CUT FADE	デジタルオーディオ編集OUT点のつなぎ方を選択します。 0 : カット処理 1 : Vフェード処理
305	AUTO ENTRY	0000 0001	DIS ENA	IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。 0 : 登録しません。 1 : 登録します。
306	CF ADJ SEL	0000 0001	PLAYER RECORD	デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。 0 : PLAYERのIN/OUT点を補正します。 (RECORDER基準) 1 : RECORDERのIN/OUT点を補正します。 (PLAYER基準)
307	AFTER CUE-UP	0000 0001 0002	STOP STILL STILL2	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0 : STOPモードになります。 1 : 静止画(SHTL STILL)モードになります。 2 : 静止画(VAR STILL)モードになります。
308	VAR FWD MAX	0000 0001 0002	+ 4.1 + 1.85 + 1	VAR FWDの最大速度を設定します。 0 : + 4.1倍速 1 : + 1.85倍速 2 : + 1倍速 <ノート> 1. 0(+ 4.1)以外の設定では編集コントローラからの調相ができません。 2. 実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。
309	VAR REV MAX	0000 0001 0002	- 4.1 - 1.85 - 1	VAR REVの最大速度を設定します。 0 : - 4.1倍速 1 : - 1.85倍速 2 : - 1倍速 <ノート> 実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
310	JOG FWD MAX	0000 0001 <u>0002</u>	+ 4.1 + 1.85 + 1	JOG FWDの最大速度を設定します。 0 : + 4.1倍速 1 : + 1.85倍速 2 : + 1倍速 <ノート> •フロントでのダイヤル操作時は最大 + 1倍速再生となります。 •0(+ 4.1)以外の設定ではJOGコマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相ができません。
311	JOG REV MAX	0000 0001 <u>0002</u>	- 4.1 - 1.85 - 1	JOG REVの最大速度を設定します。 0 : - 4.1倍速 1 : - 1.85倍速 2 : - 1倍速 <ノート> フロントでのダイヤル操作時は最大 - 1倍速再生となります。
312	POSTROLL TM	0000 0001 <u>0002</u> 0003 0004 0005	0s 1s 2s 3s 4s 5s	ポストロール時間を設定します。 0秒～5秒の間で1秒単位で設定できます。
320	EDIT RPLCE1	0000 <u>0001</u> 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1 + 2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
321	EDIT RPLCE2	0000 0001 <u>0002</u> 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1 + 2	セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCH2のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
322	EDIT RPLCE3	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1+2	セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCH3のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
323	EDIT RPLCE4			セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCH4のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
		0000	N-DEF	
		0001	CH1	
		0002	CH2	
		0003	CH1 + 2	
324	EDIT RPLCEC			セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCUEのエディットプリセットをエディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
		0000	N-DEF	
		0001	CH1	
		0002	CH2	
		0003	CH1 + 2	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TAPE PROTECT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000	0.5s	STOP、サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態 で放置された時、テープ保護モードになる までの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分) < ノート > DV/DVCAMテープを使用している時は2(10s) 以上に選択しても10秒となります。
		0001	5s	
		0002	10s	
		0003	20s	
		0004	30s	
		0005	40s	
		0006	50s	
		0007	1min	
0008	2min			
401	SRC PROTECT	0000	STEP	サーチモード(JOG/VAR/SHTL)のSTILLの 状態で放置された時のテープ保護モード 時の動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : ハーフローディング < ノート > STEP FWDが選択されている時に、 STILLの状態 で放置された合計時間が30分(DV/DVCAM テープの場合は1分)になると、自動的 にスタンバイOFF(ハーフローディング) モードへ移行します。
		0001	HALF	
402	DRUM STDBY	0000	OFF	スタンバイOFF(ハーフローディング)モ ード時のドラムの動作を選択します。 0 : ドラムの回転は停止します。 1 : ドラムは回転を続けます。
		0001	ON	
403	STOP PROTECT	0000	STEP	STOPの状態 で放置された時のテープ保護モードの 動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : ハーフローディング < ノート > STEP FWDが選択されている時に、 STOPの状態 で放置された合計時間が30分(DV/DVCAM テープの場合は1分)になると、自動的 にスタンバイOFF(ハーフローディング) モードへ移行します。
		0001	HALF	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

#### STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。



# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TIME CODE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	セットアップメニューNo.501( VITC POS-1 )とNo.502 ( VITC POS-2 )で選択された位置に、VITC信号を出力するかどうかを選択します。 0 : 出力しません。 1 : 出力します。 <ノート> 本設定はS D出力時のみ有効となります。
501	VITC POS-1	0000 ↓ 0006 ↓ 0010	10L ↓ 16L ↓ 20L	VITC信号の挿入位置を設定します。 <ノート> ・セットアップメニューNo.502( VITC POS-2 )と同じラインは選択できません。 ・本設定はS D出力時のみ有効となります。
502	VITC POS-2	0000 ↓ 0008 ↓ 0010	10L ↓ 18L ↓ 20L	VITC信号の挿入位置を設定します。 <ノート> ・セットアップメニューNo.501( VITC POS-1 )と同じラインは選択できません。 ・本設定はS D出力時のみ有効となります。
503	REGEN	0000 0001	REGEN PRE	内蔵タイムコードジェネレータの同期を設定します。 0 : タイムコードリーダーがテープから読み込んだタイムコードに同期します。 1 : 操作パネルまたはリモートコントローラでプリセットが可能になります。
504	RUN MODE	0000 0001	REC FREE	動作モードによる内蔵タイムコードジェネレータの歩進を設定します。 0 : 記録中のみ歩進します。 1 : 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進します。
505	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG( タイムコードジェネレータ )がREGENモードの時、REGENする信号を選択します。 0 : タイムコード、ユーザービット共にREGENします。 1 : タイムコードのみREGENします。 2 : ユーザービットのみREGENします。
506	REGEN MODE	0000 0001 0002 0003	AS&IN ASSEM INSRT MANU	本機のコントロールパネルを使用した自動編集で、タイムコードをREGENするかどうかを選択します。 0 : アセンブルまたはインサート編集でREGENします。 1 : アセンブル編集でREGENします。 2 : インサート編集でREGENします。 3 : セットアップメニューNo.503( REGEN )に従います。
507	EXT TC SEL	0000 0001 0002	LTC SLTC SVITC	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します。 0 : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 1 : シリアル信号に付加されているLTC情報を使用します。 2 : シリアル信号に付加されているVITC情報を使用します。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TIME CODE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
508	BINARY GP			TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0 : NOT SPECIFIED( キャラクタセットを指定しない ) 1 : ISO CHARACTER( ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット ) 2 : UNASSIGNED 1( 未定義 ) 3 : UNASSIGNED 2( 未定義 ) 4 : UNASSIGNED 3( 未定義 ) 5 : PAGE/LINE 6 : UNASSIGNED 4( 未定義 ) 7 ; UNASSIGNED 5( 未定義 )
		0000	000	
		0001	001	
		0002	010	
		0003	011	
		0004	100	
		0005	101	
		0006	110	
0007	111			
509	PHASE CORR			TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0 : 位相補正コントロールは行いません。 1 : 位相補正コントロールを行います。
		0000	OFF	
0001	ON			
510	TCG CF FLAG			TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。 0 : CFフラグをOFFします。 1 : CFフラグをONします。
		0000	OFF	
0001	ON			
511	DF MODE			CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。 0 : ドロップフレームモード 1 : ノンドロップフレームモード < ノート > • DF MODEはLOCALまたはセットアップメニューNo.001 ( LOCAL ENA )が、「ENA」の時のみ有効です。
		0000	DF	
0001	NDF			
512	TC OUT REF			TC INT/EXT SWが「EXT」の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切換えます。( EEモード時のみ ) 0 : 出力映像に合わせます。 1 : 外部タイムコード入力に合わせます。
		0000	V OUT	
0001	TC IN			
513	VITC OUT			出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 0 : 再生モード時、SBC領域に記録されているタイムコードを出力します。 1 : 再生モード時、VAUX領域に記録されているタイムコードを出力します。 < ノート > • HDシリアル入力により検出されたVITC情報は映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録します。
		0000	SBC	
0000	VAUX			
514	HD EMBD VITC			HD シリアル出力にVITC情報を重畳するかしないかを選択します。 0 : VITCは重畳しません。 1 : VITCを重畳します。
		0000	OFF	
0001	ON			
515	HD EMBD LTC			HD シリアル出力にLTC情報を重畳するかしないかを選択します。 0 : LTCは重畳しません。 1 : LTCを重畳します。
		0000	OFF	
0001	ON			

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

#### SBC ( Sub Code Data ) 領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、 SMPTE/EBUに準拠したタイムコード、記録日時などのテープ管理情報が格納されます。従来のLTC( Linear Time Code )と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

#### VAUX ( Video Auxiliary Data ) 領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	VIDEO IN SEL	0000 0001	INT SG SDI	入力する映像信号を選択します。 0 : VIDEO INT SGで選択された内蔵信号を発生します。 1 : HD SDI IN端子に入力されたシリアル映像信号を選択します。
601	VIDEO INT SG	0000 0001 0002 0003	CB MB RAMP BLACK	内蔵信号の種類を選択します。 0 : カラーバーを選択します。 1 : マルチバーストを選択します。 2 : ランプを選択します。 3 : ブラックを選択します。
602	SDI IN MODE	0000 0001	DR OFF DR ON	HD SDI入力の処理方法を選択します。 0 : 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録します。 1 : ダイナミックラウンディングをかけた8ビット信号を記録します。
603	V-MUTE SEL	0000 0001 0002 0003	N MUTE GRAY BLACK NOISE	再生中にLOW RFが検出された場合、映像出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。(フリーズします) 1 : グレイでミュート。 2 : ブラックでミュート 3 : ノイズでミュート
604	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0 : フィールドフリーズ 1 : フレームフリーズ
605	INTER- POLATE	0000 0001	OFF AUTO	スロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。 0 : 強制的にOFFします。 1 : スロー再生時、自動的にONします。
620	DOWN- CON MODE	0000 0001 0002 0003 0004	CROP LT-BOX SQUEEZ 14 : 9 13 : 9	ダウンコンバート時の画額を選択します。 0 : サイドカットモード 1 : レターボックスモード 2 : スクウィーズモード 3 : セミレターボックス14 : 9 4 : セミレターボックス13 : 9
621	UPCON MODE	0000 0001 0002	S-PANL CROP STRECH	アップコンバート時の画額を選択します。 0 : サイドパネルモード 1 : 垂直方向の上部と下部のカット 2 : ストレッチモード
622	D/C RESP H	0000 0001	WIDE STD	ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i 720p)時の水平方向の周波数帯域を選択します。
623	D/C RESP V	0000 0001	WIDE STD	ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i 720p)時の垂直方向の周波数帯域を選択します。
624	U/C RESP H	0000 0001	STD NARROW	アップコンバート時の水平方向の周波数帯域を選択します。
625	U/C RESP V	0000 0001	STD NARROW	アップコンバート時の垂直方向の周波数帯域を選択します。

<ノート>  
オプションボードAJ-UDC150Pが挿入されていない場合は、セットアップメニューNo.620～No.625は動作しません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO > (つづき)

項目		設定値		設定内容																				
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示																					
626	D/C ENH H	0000 0001 0002 0003	0dB 1dB +1.5dB +2dB	ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i 720p)時の水平方向の輪郭を強調します。																				
627	D/C ENH V	0000 0001 0002 0003	0dB 1dB +1.5dB +2dB	ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i 720p)時の垂直方向の輪郭を強調します。																				
628	U/C ENH H	0000 0001 0002 0003	0dB 1dB +1.5dB +2dB	アップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。																				
629	U/C ENH V	0000 0001 0002 0003	0dB 1dB +1.5dB +2dB	アップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。																				
630	1080i HD OUT	0000 0001 0002	1080i 720p 1080i	1080iテープ再生時、または1080iのEEモード時のHD/SD出力信号フォーマットを選択します。 <table border="1" data-bbox="911 947 1463 1234"> <thead> <tr> <th colspan="4">出力端子</th> </tr> <tr> <th></th> <th>HD SDI OUT</th> <th>SD SDI OUT</th> <th>VIDEO OUT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 :</td> <td>1080i (変換なし)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> <tr> <td>1 :</td> <td>720p (ラインコン出力)</td> <td>ミュート</td> <td>ミュート</td> </tr> <tr> <td>2 :</td> <td>1080i (変換なし)</td> <td>480p (ダウンコン出力)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> </tbody> </table>	出力端子					HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT	0 :	1080i (変換なし)	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)	1 :	720p (ラインコン出力)	ミュート	ミュート	2 :	1080i (変換なし)	480p (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)
	出力端子																							
	HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT																					
0 :	1080i (変換なし)	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)																					
1 :	720p (ラインコン出力)	ミュート	ミュート																					
2 :	1080i (変換なし)	480p (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)																					
	1080i SD OUT	0000 0001 0002	480i --- 480p																					
631	720p HD OUT	0000 0001 0002	1080i 720p 720p	720pテープ再生時、または720pのEEモード時のHD/SD出力信号フォーマットを選択します。 <table border="1" data-bbox="911 1318 1463 1606"> <thead> <tr> <th colspan="4">出力端子</th> </tr> <tr> <th></th> <th>HD SDI OUT</th> <th>SD SDI OUT</th> <th>VIDEO OUT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 :</td> <td>1080i (ラインコン出力)</td> <td>ミュート</td> <td>ミュート</td> </tr> <tr> <td>1 :</td> <td>720p (変換なし)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> <tr> <td>2 :</td> <td>720p (変換なし)</td> <td>480p (ダウンコン出力)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> </tbody> </table>	出力端子					HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT	0 :	1080i (ラインコン出力)	ミュート	ミュート	1 :	720p (変換なし)	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)	2 :	720p (変換なし)	480p (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)
	出力端子																							
	HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT																					
0 :	1080i (ラインコン出力)	ミュート	ミュート																					
1 :	720p (変換なし)	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)																					
2 :	720p (変換なし)	480p (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)																					
	720p SD OUT	0000 0001 0002	--- 480i 480p																					
632	480p HD OUT	0000 0001 0002	1080i 720p ---	480pテープ(DVCPRO50P)再生時のHD/SD出力信号フォーマットを選択します。 <table border="1" data-bbox="911 1690 1463 1978"> <thead> <tr> <th colspan="4">出力端子</th> </tr> <tr> <th></th> <th>HD SDI OUT</th> <th>SD SDI OUT</th> <th>VIDEO OUT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 :</td> <td>1080i (アップコン出力)</td> <td>480p (変換なし)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> <tr> <td>1 :</td> <td>720p (アップコン出力)</td> <td>480p (変換なし)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> <tr> <td>2 :</td> <td>ミュート</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> <td>480i (ダウンコン出力)</td> </tr> </tbody> </table>	出力端子					HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT	0 :	1080i (アップコン出力)	480p (変換なし)	480i (ダウンコン出力)	1 :	720p (アップコン出力)	480p (変換なし)	480i (ダウンコン出力)	2 :	ミュート	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)
	出力端子																							
	HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT																					
0 :	1080i (アップコン出力)	480p (変換なし)	480i (ダウンコン出力)																					
1 :	720p (アップコン出力)	480p (変換なし)	480i (ダウンコン出力)																					
2 :	ミュート	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)																					
	480p SD OUT	0000 0001 0002	480p 480p 480i																					

<ノート>  
オプションボードAJ-UDC150Pが挿入されていない場合は、セットアップメニューNo.626～No.632は動作しません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO > (つづき)

項目		設定値		設定内容																			
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示																				
633	480i HD OUT	0000 0001 0002	1080i 720p ---	480iテープ(DVCPRO50/DVCPRO/DV/DVCAM)再生時のHD/SD出力信号フォーマットを選択します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">出力端子</th> </tr> <tr> <th></th> <th>HD SDI OUT</th> <th>SD SDI OUT</th> <th>VIDEO OUT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 :</td> <td>1080i (アップコン出力)</td> <td>480i (変換なし)</td> <td>480i (変換なし)</td> </tr> <tr> <td>1 :</td> <td>720p (アップコン出力)</td> <td>480i (変換なし)</td> <td>480i (変換なし)</td> </tr> <tr> <td>2 :</td> <td>ミュート</td> <td>480p (アップコン出力)</td> <td>480i (変換なし)</td> </tr> </tbody> </table>	出力端子				HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT	0 :	1080i (アップコン出力)	480i (変換なし)	480i (変換なし)	1 :	720p (アップコン出力)	480i (変換なし)	480i (変換なし)	2 :	ミュート	480p (アップコン出力)	480i (変換なし)
	出力端子																						
	HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT																				
0 :	1080i (アップコン出力)	480i (変換なし)	480i (変換なし)																				
1 :	720p (アップコン出力)	480i (変換なし)	480i (変換なし)																				
2 :	ミュート	480p (アップコン出力)	480i (変換なし)																				
	480i SD OUT	0000 0001 0002	480i 480i 480p																				
650	Y LVL (HD)*1	0000 ↓ 1000 ↓ 1413	0.0% ↓ 100.0% ↓ 141.3%	HD SDI OUTのYレベルの調整を行います。 ( - ~ 0 dB ~ + 3 dB )																			
651	Pb LVL (HD)*1	0000 ↓ 1000 ↓ 1413	0.0% ↓ 100.0% ↓ 141.3%	HD SDI OUTのP <sub>B</sub> レベルの調整を行います。 ( - ~ 0 dB ~ + 3 dB )																			
652	Pr LVL (HD)*1	0000 ↓ 1000 ↓ 1413	0.0% ↓ 100.0% ↓ 141.3%	HD SDI OUTのP <sub>R</sub> レベルの調整を行います。 ( - ~ 0 dB ~ + 3 dB )																			
653	BK LVL (HD)*1	0050 ↓ 0150 ↓ 0250	- 10.0% ↓ 0% ↓ +10.0%	HD SDI OUTのブラックレベルの調整を行います。																			
654	Y LVL (SD)*2	0000 ↓ 1000 ↓ 1413	0.0% ↓ 100.0% ↓ 141.3%	SD SDI OUT及びVIDEO OUTのYレベルの調整を行います。 ( - ~ 0 dB ~ + 3 dB )																			
655	Pb LVL (SD)*2	0000 ↓ 1000 ↓ 1413	0.0% ↓ 100.0% ↓ 141.3%	SD SDI OUT及びVIDEO OUTのP <sub>B</sub> レベルの調整を行います。 ( - ~ 0 dB ~ + 3 dB )																			
656	Pr LVL (SD)*2	0000 ↓ 1000 ↓ 1413	0.0% ↓ 100.0% ↓ 141.3%	SD SDI OUT及びVIDEO OUTのP <sub>R</sub> レベルの調整を行います。 ( - ~ 0 dB ~ + 3 dB )																			

<ノート>  
オプションボードAJ-UDC150Pが挿入されていない場合は、セットアップメニューNo.633は動作しません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

\*1はHD出力時( HDテープ再生またはアップコン出力時)

\*2はSD出力時( SDテープ再生またはダウンコン出力時)

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
657	BK LVL (SD)* <sup>1</sup>	0050	- 10.0%	SD SDI OUT及びVIDEO OUTのブラックレベルの調整を行います。
		↓	↓	
		0150	0%	
		↓	↓	
		0250	+10.0%	
670	CC(F1) BLANK* <sup>1</sup>			第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
		0000 0001	BLANK THRU	
671	CC(F2) BLANK* <sup>1</sup>			第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
		0000 0001	BLANK THRU	
673	EDH (SD)* <sup>1</sup>	0000	OFF	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
		0001	ON	
674	ESR MODE (SD)* <sup>1</sup>	0000	OFF	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを選択します。 0 : 強制的にOFFします。 1 : VTR動作に応じて自動的にON/OFFされます。
		0001	AUTO	
675	CCR MODE (SD)* <sup>1</sup>	0000	OFF	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0 : そのまま出力します。 1 : クロスカラーを軽減することができます。
		0001	ON	
676	SDI INDEX O* <sup>1</sup>	0000	OFF	VIDEO INDEX信号をSD SDI出力に重畳するかどうかを選択します。 0 : VIDEO INDEX信号をSD SDI出力信号に重畳しません。 1 : VIDEO INDEX信号をSD SDI出力信号に重畳します。
		0001	ON	

\_\_\_は工場出荷モードです。

\*<sup>1</sup>はSD出力時( SDテープ再生またはダウンコン出力時)

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
680	V BLANK LINE	0000 0001 0002	BLANK THRU MANU	SDテープ再生時、ビデオ信号の垂直ブランキング期間の ブランキングON/OFFを選択します。 0 : 全ライン強制ブランキングします。 1 : 全ラインブランキングしません。 2 : 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 < ノート > 2( MANU )設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に移 り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画 面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
680(V BLANK LINE)メニューのサブメニュー画面				
00	LINE 10&273	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
01	LINE 11&274	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
02	LINE 12&275	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
03	LINE 13&276	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
04	LINE 14&277	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
05	LINE 15&278	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
06	LINE 16&279	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
07	LINE 17&280	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
08	LINE 18&281	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
09	LINE 19&282	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
10	LINE 20&283	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
11	LINE 21&284	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
12	LINE 22	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	AUDIO IN SEL	0000 0001 0002 0003 0004	AES ANA SDI INT SG USRSET	オーディオの入力信号選択を行います。(全ch同時) 0 : AES入力を選択します。 1 : アナログ入力を選択します。 2 : シリアル入力を選択します。 3 : 内部発生信号を選択します。 4 : セットアップメニューNO.714 ~ 721の設定に従います。
701	CH1 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH1)の基準レベル切換えを選択します。
702	CH2 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH2)の基準レベル切換えを選択します。
703	CH3 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH3)の基準レベル切換えを選択します。
704	CH4 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH4)の基準レベル切換えを選択します。
705	CUE IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	CUE入力の基準レベル切換えを選択します。
706	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH1)の基準レベル切換えを選択します。
707	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH2)の基準レベル切換えを選択します。
708	CH3 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH3)の基準レベル切換えを選択します。
709	CH4 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH4)の基準レベル切換えを選択します。
710	CUE OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	CUE出力の基準レベル切換えを選択します。
711	MONIL OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力(Lch)の基準レベル切換えを選択します。
712	MONIR OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力(Rch)の基準レベル切換えを選択します。
713	MONI OUT	0000 0001	UNITY VAR	オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLE基準切換えを選択します。 0 : 既定値にて出力します。 1 : ヘッドホンVRに連動します。

\_\_\_は工場出荷モードです。



# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > ( つづき )

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
714	CH1 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH1入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル
715	CH2 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH2入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル
716	CH3 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH3入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル入力
717	CH4 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH4入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル入力
718	D IN SEL 12	0000 0001	AES SDI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0 : AES入力 1 : シリアル入力
719	D IN SEL 34	0000 0001	AES SDI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH3およびCH4のデジタル入力を選択します。 0 : AES入力 1 : シリアル入力
720	D IN SEL 56	0000 0001	AES SDI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH5およびCH6のデジタル入力を選択します。 0 : AES入力 1 : シリアル入力
721	D IN SEL 78	0000 0001	AES SDI	セットアップメニューNo.700 ( AUDIO IN SEL ) でUSR SETを選択した場合のCH7およびCH8のデジタル入力を選択します。 0 : AES入力 1 : シリアル入力
722	REC CH1	0000 0001 0002 0003 0004 0005	CH1 CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH1トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH3 3 : オーディオ入力のCH4 4 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
723	REC CH2	0000 0001 0002 0003 0004 0005	CH1 CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH2トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH3 3 : オーディオ入力のCH4 4 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
724	REC CH3	0000 0001 <u>0002</u> 0003 0004 0005	CH1 CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH3トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH3 3 : オーディオ入力のCH4 4 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
725	REC CH4	0000 0001 0002 <u>0003</u> 0004 0005	CH1 CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH4トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH3 3 : オーディオ入力のCH4 4 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
726	REC CH5	0000 0001 0002 0003 0004 0005	CH5 CH6 CH7 CH8 CH5+6 CH7+8	オーディオのCH5トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH5 1 : オーディオ入力のCH6 2 : オーディオ入力のCH7 3 : オーディオ入力のCH8 4 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
727	REC CH6	0000 0001 0002 0003 0004 0005	CH5 CH6 CH7 CH8 CH5+6 CH7+8	オーディオのCH6トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH5 1 : オーディオ入力のCH6 2 : オーディオ入力のCH7 3 : オーディオ入力のCH8 4 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
728	REC CH7	0000 0001 <u>0002</u> 0003 0004 0005	CH5 CH6 CH7 CH8 CH5+6 CH7+8	オーディオのCH7トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH5 1 : オーディオ入力のCH6 2 : オーディオ入力のCH7 3 : オーディオ入力のCH8 4 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
729	REC CH8	0000 0001 0002 <u>0003</u> 0004 0005	CH5 CH6 CH7 CH8 CH5+6 CH7+8	オーディオのCH8トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH5 1 : オーディオ入力のCH6 2 : オーディオ入力のCH7 3 : オーディオ入力のCH8 4 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 5 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
730	REC CUE	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011 0012 0013	CUE CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH1+2 CH3+4 CH5+6 CH7+8 CH1 - 8	CUEに記録する入力信号を選択します。 0 : CUE IN 1 : オーディオ入力のCH1 2 : オーディオ入力のCH2 3 : オーディオ入力のCH3 4 : オーディオ入力のCH4 5 : オーディオ入力のCH5 6 : オーディオ入力のCH6 7 : オーディオ入力のCH7 8 : オーディオ入力のCH8 9 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 10 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号 11 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 12 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号 13 : オーディオ入力のCH1 ~ CH8のミックス信号

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > ( つづき )

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
731	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時に音声編集点(IN点、OUT点)の処理をどのように行うかを選択します。 0 : 記録時の状態に従います、 1 : 強制CUT 2 : 強制FADE
732	HD EMBD AUD	0000 0001	OFF ON	HDシリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
733	SD EMBD AUD	0000 0001	OFF ON	SDシリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
734	MONITOR MIX L	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	OFF CH1+2 CH3+4 CH1+3 CH2+4 CH5+6 CH7+8 CH5+7 CH6+8	ヘッドホンモニターのLchにミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスします。 2 : CH3/CH4をミックスします。 3 : CH1/CH3をミックスします。 4 : CH2/CH4をミックスします。 5 : CH5/CH6をミックスします。 6 : CH7/CH8をミックスします。 7 : CH5/CH7をミックスします。 8 : CH6/CH8をミックスします。
735	MONITOR MIX R	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	OFF CH1+2 CH3+4 CH1+3 CH2+4 CH5+6 CH7+8 CH5+7 CH6+8	ヘッドホンモニターのRchにミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスします。 2 : CH3/CH4をミックスします。 3 : CH1/CH3をミックスします。 4 : CH2/CH4をミックスします。 5 : CH5/CH6をミックスします。 6 : CH7/CH8をミックスします。 7 : CH5/CH7をミックスします。 8 : CH6/CH8をミックスします。
736	CUE SLOW	0000 0001	STEP LINEAR	SLOW再生時のテープ走行状態(CUEトラック再生状態)を選択します。 0 : 出力画を優先し、STEP送りを行います。 1 : CUEトラック再生を優先し、LINEARに走行します。 < ノート > 1( LINEAR )に設定した場合、 • TC/CTLスイッチでTCを選択してください。CTLカウンタは正常に動作しない場合があります。 • STEPモードのようなきれいな画像にならない場合があります。
737	CH1 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH1の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「L」を選択した場合に限り有効になります。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
738	CH2 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH2の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「R」を選択した場合に限り有効になります。
739	CH3 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH3の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「L」を選択した場合に限り有効になります。
740	CH4 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH4の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「R」を選択した場合に限り有効になります。
741	CH5 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH5の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「L」を選択した場合に限り有効になります。
742	CH6 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH6の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「R」を選択した場合に限り有効になります。
743	CH7 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH7の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 < ノート > CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「L」を選択した場合に限り有効になります。

— は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
744	CH8 CUE SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、CH8の本線系にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 <ノート> CUE出力の選択は、セットアップメニューNo. 745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択し、セットアップメニューNo. 746 (MON AUTO SEL) で「L/R」または「R」を選択した場合に限り有効になります。
745	MONI CH SEL	0000 0001 0002 0003 0004	MANU AUTO1 AUTO2 AUTO11 AUTO21	モニター出力の選択を行います。 0 : MONITOR SELECTで選択されているものを出力します。 1 : - 1 ~ + 1の範囲はPCM AUDIO、それ以外のテープモードでは自動的にCUEを出力します。 2 : PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外のテープモードでは自動的にCUEを出力します。 3 : AUTO1に付け加え、セットアップメニューNo. 746(MON AUTO SEL)を「L/R」に設定している場合、RECボタンを押し本機をEEモードに切換えると、自動的にCUE入力を入力します。 4 : AUTO2に付け加え、セットアップメニューNo. 746(MON AUTO SEL)を「L/R」に設定している場合、RECボタンを押し本機をEEモードに切換えると、自動的にCUE入力を入力します
746	MON AUTO SEL	0000 0001 0002	L/R L R	セットアップメニューNo.745 (MONI CH SEL) で「MANU」以外を選択した場合、動作モードに応じて自動でモニター出力にCUEが出力されますが、自動でCUEに切換わるモニターチャンネルを選択します。 0 : Lch/Rch両方にCUEを出力します。 1 : LchのみにCUEを出力します。 2 : RchのみにCUEを出力します。
747	MONI SEL INH	0000 0001 0002	OFF ON ON1	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0 : 操作が可能になります。 1 : 操作が禁止されます。 2 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能となります。
748	AUDIO PB VR	0000 0001	DIS ENA	セットアップメニューNo.700(AUDIO IN SEL)で「INT SG」を選択した場合、EEモードにおいて再生レベルの調整ボリュームが機能するかどうかを選択します。 0 : INT SGの出力レベルはUNITY固定です。 1 : INT SGの出力レベルを、再生レベルの調整ボリュームで可変することができます。 <ノート> •セットアップメニューNo.760(AUDIO VRCONT)で0(DIS)を選択した場合は、本設定に関係無くINT SGの出力レベルはUNITY固定です。 •セットアップメニューNo.760(AUDIO VRCONT)で2(MUTE)を選択した場合は、本設定に関係無くINT SGの出力レベルはミュートされます。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
749	ANA CH1 SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CH1</u> CH5	アナログ出力CH1のへの出力信号を選択します。 0 : CH1を出力します。 1 : CH5を出力します。
750	ANA CH2 SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CH2</u> CH6	アナログ出力CH2のへの出力信号を選択します。 0 : CH2を出力します。 1 : CH6を出力します。
751	ANA CH3 SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CH3</u> CH7	アナログ出力CH3のへの出力信号を選択します。 0 : CH3を出力します。 1 : CH7を出力します。
752	ANA CH4 SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CH4</u> CH8	アナログ出力CH4のへの出力信号を選択します。 0 : CH4を出力します。 1 : CH8を出力します。
753	SD SDI CH1 SL	<u>0000</u> 0001	<u>CH1</u> CH5	SDI出力CH1のへの出力信号を選択します。 0 : CH1を出力します。 1 : CH5を出力します。
754	SD SDI CH2 SL	<u>0000</u> 0001	<u>CH2</u> CH6	SDI出力CH2のへの出力信号を選択します。 0 : CH2を出力します。 1 : CH6を出力します。
755	SD SDI CH3 SL	<u>0000</u> 0001	<u>CH3</u> CH7	SDI出力CH3のへの出力信号を選択します。 0 : CH3を出力します。 1 : CH7を出力します。
756	SD SDI CH4 SL	<u>0000</u> 0001	<u>CH4</u> CH8	SDI出力CH4のへの出力信号を選択します。 0 : CH4を出力します。 1 : CH8を出力します。
757	JOG PROC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	JOG/VAR/SHTLモード時のデジタルオーディオ出力の スロー信号処理を選択します。 0 : デジタルオーディオのスロー信号処理をしない音が STILL時も含めて出力されます。 1 : デジタルオーディオのスロー信号処理をした音が出 力されます。
758	DV PB ATT	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	DVフォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選 択します。 0 : オーディオ出力レベルをアッテネートしません。 1 : オーディオ出力レベルをアッテネートします。
759	REC PT MUTE	<u>0000</u> 0001	OFF <u>ON</u>	DV/DVCAMフォーマット再生時、記録のつなぎ目でオ ーディオをミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。 1 : ミュートします。
760	AUD VR CTRL	0000 <u>0001</u> 0002	DIS <u>ENA</u> MUTE	CH5 ~ CH8の入力 / 出力レベル( ANALOG、AES/ EBU、SDI)の調整ボリュームが機能するかどうかを選 択します。 0 : 入力 / 出力レベルはUNITY固定です。 1 : 入力 / 出力レベルは調整ボリュームで可変する ことができます。 2 : 入力 / 出力レベルはミュートされます。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < MENU >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	USER1へロードするユーザーファイルの選択します。 0 : USER2の内容をロードします。 1 : USER3の内容をロードします。 2 : USER4の内容をロードします。 3 : USER5の内容をロードします。 < ノート > ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	USER1の設定をセーブするユーザーファイルの選択します。 0 : USER2へセーブします。 1 : USER3へセーブします。 2 : USER4へセーブします。 3 : USER5へセーブします。 4 : すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合の表示します。 < ノート > ・変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ・すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。 0 : 前回設定したユーザーファイルで起動します。 1 : USER2の内容をUSER1へロードし起動します。 2 : USER3の内容をUSER1へロードし起動します。 3 : USER4の内容をUSER1へロードし起動します。 4 : USER5の内容をUSER1へロードし起動します。
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	ユーザーファイル( USER2 ~ USER5 )のロックモードの設定 / 解除を選択します。 0 : ロック解除( 変更可能 ) 1 : ロック設定( 変更禁止 ) < ノート > USER1のロック設定はできません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

### < ノート >

- No.A00( LOAD )、No.A01( SAVE )、No.A02( P.ON LOAD )はUSER1のみ設定可能な項目です。USER2 ~ USER3では表示されません。
- No.A03( MENU LOCK )はUSER2 ~ USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

# タイムコード / ユーザービットについて

---

## タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレータ(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使用します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域(データ領域)へ書き込まれます。このために、タイムコードだけ独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード スロー再生 高速再生(約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速)まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

## ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字(文字)は0~9とA B C D E Fです。



# 内部 / 外部タイムコードの記録

---

## 1 内部タイムコードの設定

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。
- 3 TC INT/EXTスイッチを「INT」にします。(内部タイムコードの選択)
- 4 セットアップメニューNo.504(RUN MODE) の設定  
REC RUN : 記録と同時にタイムコードが歩進します。  
FREE RUN : VTRの動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。
- 5 セットアップメニューNo.503(REGEN)の設定  
REGEN : 編集前の下地のTCの連続性を保ちます。  
(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参考してください。)  
    セットアップメニューNo.505( TCG REGEN )  
    セットアップメニューNo.506( REGEN MODE )  
PRESET : TC SETボタンで設定された値から記録を開始します。  
• 自動編集時はPRESETの位置でもメニューNo.506の設定によりREGENします。

## 6 TC SETボタンの設定

TC SETボタンを使ってタイムコード/ユーザービットの開始番号を設定します。

1. SHIFTボタンを押します。  
左端の桁が点滅します。
2. ADJボタンを押して値を変更します。  
押すたびに、番号は変化します。設定範囲は次のとおりです。
  - タイムコードおよびユーザービットの実時間使用の場合  
00:00:00:00 - 23:59:59:29
  - ユーザービット  
00:00:00:00 - FF FF FF FF
3. ステップ1と2を繰り返して、値を変更します。
4. 開始番号の設定が終わると、STARTボタンを押します。  
「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。
5. 記録または編集を行います。

<ノート>

OUT REFがSD REFの時は、SD REFのカラーフレーム(CF)情報に合ったタイムコード値を記録します。

HD SDI入力のみ、またはOUT REFがHD REFの時、カラーフレーム情報はフリーランで記録されます。

## 2 外部タイムコードの設定( TC SW EXT )

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。
- 3 TC INT/EXTスイッチを「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)

# タイムコード / ユーザービットの再生

---

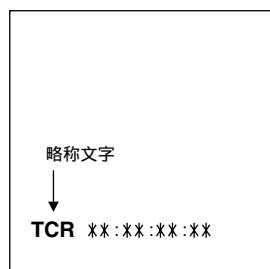
- 1 STOPモードにします。
- 2 TC/CTLボタンを「TC」にします。
- 3 TC/UB スイッチを「TC」または「UB」にします。  
TC : タイムコードが表示されます。  
UB : ユーザービットが表示されます。
  - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 4 PLAYボタンを押します。  
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。  
セットアップメニューNo.005( SUPER が「ON」)の場合、VIDEO OUT 3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときにはCTL信号で自動的に補います。

# スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

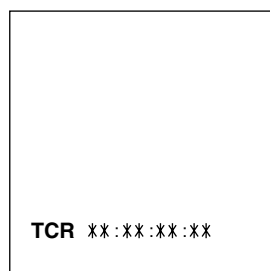


モニターテレビ

- CTL (コントロール信号)
- TCR (TCタイムコードの再生値)
- UBR (TCユーザービットの再生値)

## 表示文字

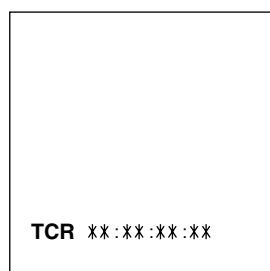
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.009(CHARA TYPE)で文字の背影を変えることができます。



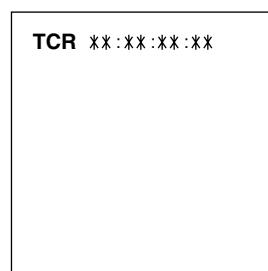
モニターテレビ

## 表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.007(CHARA H-POS)とセットアップメニューNo.008(CHARA V-POS)で変えることができます。



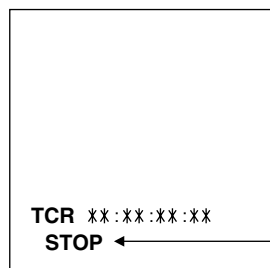
モニターテレビ



モニターテレビ

## 動作モード

セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)でVTRの動作モードも表示されます。



モニターテレビ

# 音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

## 音声の記録チャンネル

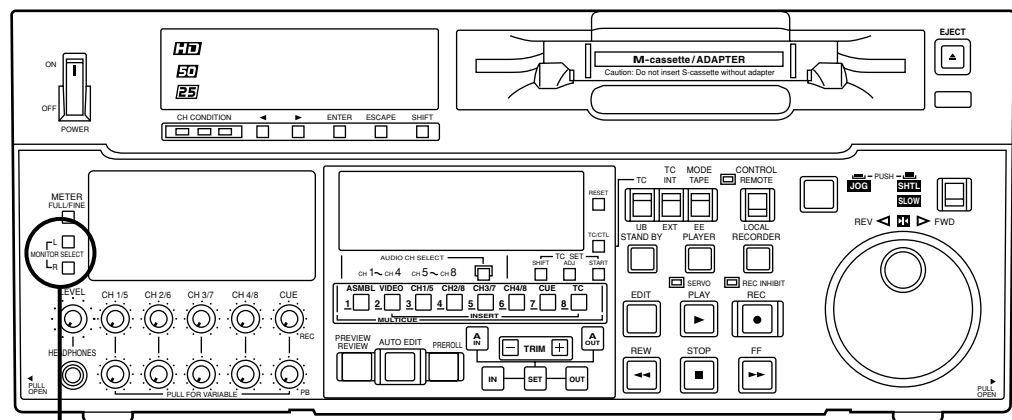
AUDIOのセットアップメニューにより以下のように音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH5	CH5入力/CH6入力/CH5入力+CH6入力
CH6	CH5入力/CH6入力/CH5入力+CH6入力
CH7	CH7入力/CH8入力/CH7入力+CH8入力
CH8	CH7入力/CH8入力/CH7入力+CH8入力
CUE	CH1入力/CH2入力/CH3入力/CH4入力/CH5入力/ CH6入力/CH7入力/CH8入力/CH1入力+CH2入力/ CH3入力+CH4入力/CH5入力+CH6入力/CH7入力+ CH8入力/CH1入力~CH8入力

## モニター出力チャンネル

セットアップメニューNo.734(MONITOR MIX L)、No.735(MONITOR MIX R)とMONITOR SELECTスイッチにより以下のように選択できます。

モニター出力	出力信号
L	CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8/CH1 + CH2/CH3 + CH4/CH5 + CH6/CH7 + CH8/CUE
R	CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8/CH1 + CH2/CH3 + CH4/CH5 + CH6/CH7 + CH8/CUE



MONITOR  
SELECTスイッチ

# 回路板

回路板	略称名	フルネーム	設定目的	初期設定
F1基板 ADDA	SW1	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH1のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
	SW101	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH2のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
	SW201	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH3のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
	SW301	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH4のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
H3基板 CUE	SW101	CUE INPUT IMPEDANCE SW	CUE入カインピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω	600Ω

# ラックマウント

本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P(別売品)をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、摂津金属工業(株)製18インチレール(品番C-305-18)とブラケット(品番RBA2-35)を使用することをお勧めします。VTR本体を引き出した時のVTRとラックのすきまをより確保したい場合は、摂津金属工業(株)製20インチレール(品番C-305-20)とブラケット(品番RBA2-35)を使用することもできます。詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。ネジ止め箇所は下記の表1を参照してください。

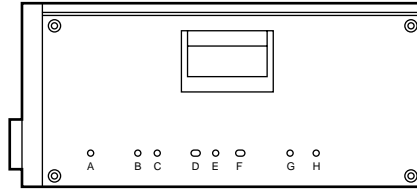


表1 各レールのインナーメンバーの右(R)側ネジ止め箇所

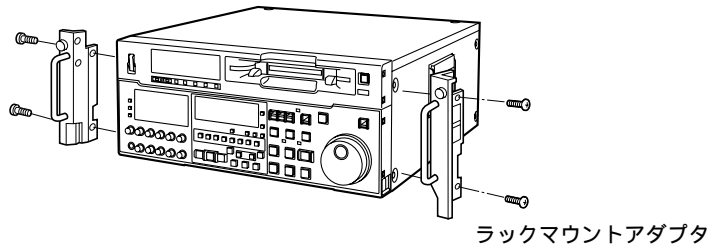
レール	18"レール	20"レール
品番	C-305-18	C-305-20
使用するネジ穴	B、F、H	A、D、G

左(L)側も対称の位置で取り付けてください。

注)側板にはアルファベットの刻印はありません。

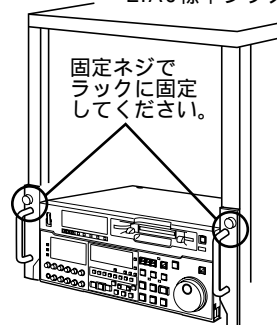
使用するネジは、長さ制限があります。長さ10ミリ以下のものをご使用ください。インナーメンバーは、必ず6個ネジ止めしてください。

- 2 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。左右の高さが同じであることを確認してください。
- 3 左右の側板を取りつけるフロント側のビス4本を外します。
- 4 AJ-MA75Pに付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



- 5 本機底面のゴム足(4ヶ所)を外し、本機をラックに取り付けます。本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。

EIAJ標準ラック



< ノート >

- ラック内の温度は5 ~ 40 に保ってください。
- VTR を引き出したとき倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

# ビデオヘッドクリーニング

---

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。  
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

## 結露

---

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動した時に起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動した時。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動した時。

このような所へ移動した時は、すぐ電源を入れずに10分程度放置したまでお待ちください。もし、本機に結露が発生した時は、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、AUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

## お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。清掃の時は、水で湿らせた布を使用してください。汚れを拭き取った後、乾いた布で仕上げを行ってください。

汚れのひどい時は、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取った後は同じように、乾いた布で仕上げを行ってください。

<ノート>

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

# エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。

ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、カウンタ表示部にメッセージを表示します。

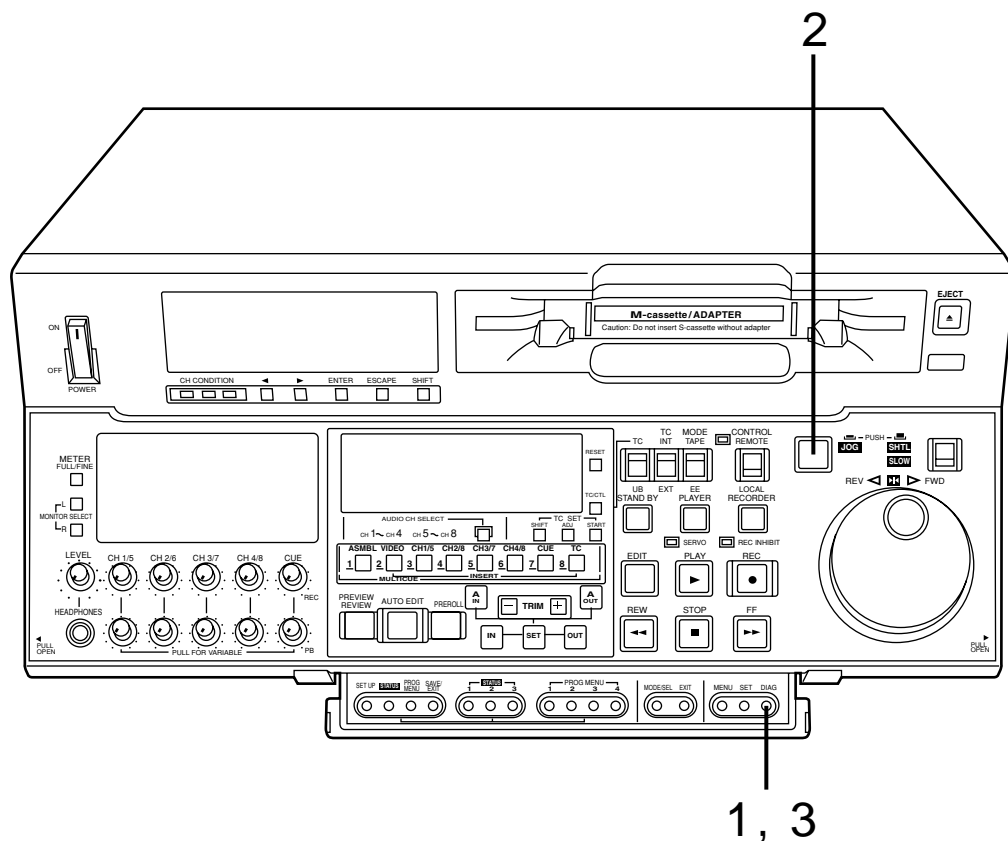
## ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

VTRの情報にはワーニング情報とアワーメータ(使用時間)情報があります。モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

### ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。  
モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示されます。
- 2 サーチボタンを押すたびに、ワーニング情報とアワーメータ情報の表示が切り替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



### ワーニング情報の表示

- ワーニング発生(ワーニングランプ点灯)時は、ワーニングメッセージを表示します。ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。



# エラーメッセージ

## アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル( \*) が移動し、カーソルのある項目の内容をスーパーインポーズで表示します。

項目No.	項目	内容
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUN r	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H12	TAPE RUN r	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H13	THREADING r	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

< ノート >

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.006( DISPLAY SEL )でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示	内容
高い ▲ ↓ ▼ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生するとAUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG	セットアップメニューNo.600 ( VIDEO IN SEL )またはNo.700 ( AUDIO IN SEL )で「INT SG」が選択されている場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと(E-Eモード)、開始2秒間表示されます。 編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、セットアップメニューNo.600 ( VIDEO IN SEL )またはNo.700 ( AUDIO IN SEL )により選択されている端子に入力信号が無い場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと(E-Eモード)、開始2秒間表示されます。 編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	ワーニングメッセージ (ワーニングメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

## ワーニングメッセージ

優先順位	カウンタ表示部およびモニターテレビの表示	内容	VTRの動作
高い ▲ ↓ ▼ 低い	FAN STOP	ファンモータが停止した場合には表示します。	動作継続
	NO RF	再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合には表示します。 下記の条件を全て満たした時、ブランク部分として認識します。 • 全てのヘッド出力がない。 • 再生データが読みとれない。 • CTLがない。	動作継続
	SERVO NOT LOCKED	再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。	動作継続
	LOW RF	再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合には表示します。	動作継続
	HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合には表示します。	動作継続

# エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR( 処置 )の動作
CAP ROTATE TOO SLOW	CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
CAP TENSION ERROR	CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
DEW	DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。 • EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 • カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
DRUM ROTATE TOO FAST	DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
DRUM ROTATE TOO SLOW	DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
E-FF	E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端およびテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
FRONT LOAD ERROR	FRONT LOAD ERROR	ローディング途中 ( ハーフポジション ) の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
FRONT LOAD MOTOR	FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードへ移行します。	停止 ( POWER OFF ON )
LOADING MOTOR	LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード ( アンローディングモード ) へ移行します。	停止 ( POWER OFF ON )
REEL DIR UNMATCH	REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )

# エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR( 処置 )の動作
REEL TENSION ERROR	REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO COMM ERROR	SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO CONTROL ERROR	SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO ERROR	SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S-FF/REW TIMEOVER	S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S REEL ROTA TOO FAST	S REEL TOO FAST	Sリールモータの回転が異常に速い場合には、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S REEL TORQUE ERROR	S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合。もしくは電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合には、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
T REEL ROTA TOO FAST	T REEL TOO FAST	Tリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
T REEL TORQUE ERROR	T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
UNLOAD ERROR	UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
WINDUP ERROR	WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
WINDUP REEL NOT ROTA	W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )

# RS-232C インターフェース

## 1. 概要

(1) RS-232Cインターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。  
(119～121ページのコマンド一覧をご参照ください。)

(2) RS-232Cインターフェースからのコマンド受け付け条件

フロントパネルのREMOTE/LOCAL SW : REMOTE  
セットアップメニュー項目No. 204「RS232C SEL」: ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK]+[STX] ER001 [ETX]の返答を行います。  
[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209「RETURN ACK」の設定に従います。

## 2. ハードウェア仕様

### 外部インターフェース仕様

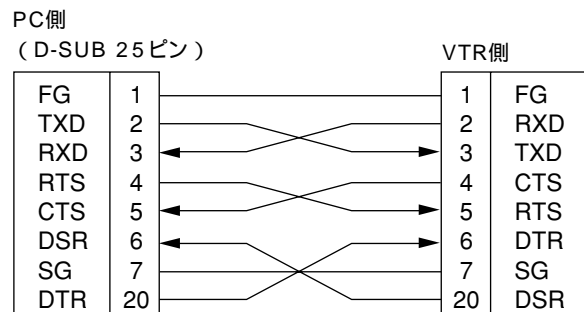
(1) 端子仕様

コネクタ : D-SUB 25ピン(クロスケーブル対応)

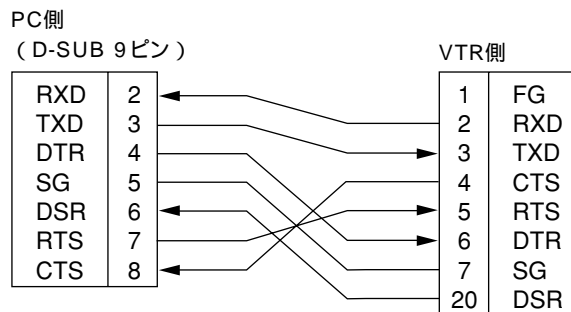
ピン配列	信号	回路名称	内容
1	FG	保安用接地	フレームグラウンド
2	RXD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TXD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データ・セット・レディ	通信可能状態後正電圧出力

(2) コントローラ(PC)との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9ピン-25ピン クロスケーブルを使用)



# RS-232C インターフェース

## 3. ソフトウェア仕様

### プロトコル

#### (1) 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7 bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	ACKコードを返信しない/ <u>ACKコードを返信する</u> <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

工場出荷時の設定は、\_\_\_\_\_ で示しています。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通 信 条 件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

#### (2) 送信フォーマット[ コントローラ( PC ) VTR ]

##### データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]

02h XX XX XX 3Ah XX-XX 03h (ASCIIコード:記号、数字、英大文字)  
20h<XX<7Fh

- [command] : コマンド識別子です。  
コマンドとして3バイトの識別子(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を送信します。
- [:] : コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。
- [data] : 必要なバイト数のデータ(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

##### コントローラからの送信手順概略

1. 送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。  
最後にETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。
2. 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。  
(118ページ参照)
3. ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

# RS-232C インターフェース

---

## (3) 返信フォーマット[VTR コントローラ(PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

通信が正常終了した場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

```
[ACK]
06h
```

2. 実行完了メッセージを返信します。

```
[STX] [command] [data] [ETX]
02h XX XX XX XX-XX 03h
```

- [command] : 返信するメッセージ(データ)または、実行完了のメッセージ識別子です。
- [data] : 返信するデータです。省略が可能です。
- [example] : 送信コマンド                    返信メッセージ(データ)  
                              [STX] OPL [ETX]                    [ACK] [STX] OPL [ETX]

通信が異常終了した場合

```
[NACK]
15h
```

間違ったデータまたは、VTRに異常があり処理できない場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

```
[ACK]
06h
```

2. エラーコードを返信します。

```
[STX] E R N1 N2 N3 [ETX]
02h エラーコード 03h
```

## 4. エラーコード一覧

ER001 : 無効コマンド

- 未対応コマンド受信
- コマンド実行エラー

ER002 : パラメータエラー

ER102 : VTR モードエラー(フロントローディングモータ)

ER103 : VTR モードエラー(ローディングモータ)

ER104 : VTR モードエラー(ドラム、キャプスタン系)

ER105 : VTR モードエラー(リール系)

ER106 : VTR モードエラー(テンション系)

ER108 : VTR DEW エラー

ER1FF : VTR システムエラー

# RS-232C インターフェース

## 5. コマンド一覧

### (1) 動作制御( Operation )関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ ACK ] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ ACK ] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
STOP	[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
EJECT	[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
PLAY	[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。
REWIND	[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
REC	[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	録画を開始するコマンドです。

# RS-232C インターフェース

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX]	[STX] OSF [ETX]	正方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 2: ×0.1 3: ×0.2 4: ×0.5 5: ×1 6: ×1.85 7: ×4.1 8: ×9.5 9: ×16 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。] A: ×32 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。]		
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX]	[STX] OSR [ETX]	逆方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 2: ×0.1 3: ×0.2 4: ×0.5 5: ×1 6: ×1.85 7: ×4.1 8: ×9.5 9: ×16 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。] A: ×32 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。]		
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTRをスタンバイONにするコマンドです。



# RS-232C インターフェイス

## (2) 問い合わせ( Question )関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001(無効コマンド)を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	[STX] CD data [ETX]	カウンター値を問い合わせるコマンドです。
		data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL: g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0~9 : 時 TC: gh = 00~23 : 時 mm = 00~59 : 分 ss = 00~59 : 秒 ff = 00~29 : フレーム(525モード) 00~24 : フレーム(625モード)	フロント表示モード に合わせてCTLかTC を返信します。
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	[STX] xxx [ETX]	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。
		xxx = OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD OPL: PLAY ORC: REC ORW: REWIND OSP: STOP (STANDBY ON含む) SRS: (IN/OUT) PREROLL OBF: STANDBY OFF OSF: SHTL FORWARD OSR: SHTL REVERSE OJG: JOG FORWARD/REVERSE OSW: VAR FORWARD/REVERSE EAE: AUTO EDIT EON: EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV: PREVIEW ERV: REVIEW	
ID( 機器番号 ) REQUEST	[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	使用機器を問い合わせるコマンドです。
		data = AJ-HD150	

# RS-232C インターフェイス

---

## (3) Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "**** Quit ****": GOTO ProgEnd
WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

\*Microsoft QuickBASICはマイクロソフト社の商標です。

# コネクタの信号

## VIDEO IN

HD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 1	
HD REF IN	BNC × 2	ループスルー75Ω終端スイッチ付
SD REF IN	BNC × 2	ループスルー75Ω終端スイッチ付
HD SDTI IN	BNC × 1	(ボード オプション)

## VIDEO OUT

HD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	
SD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	
VIDEO OUT	BNC × 3	
HD REF OUT	BNC × 1	
SD REF OUT	BNC × 1	

## AUDIO IN

HD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 1	
AUDIO IN (DIGITAL)	BNC × 4	CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8 AES/EBU フォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 4	CH1、CH2、CH3、CH4
CUE IN	XLR × 1	
TIME CODE IN	XLR × 1	

ピンNo.	内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

## AUDIO OUT

HD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	
AUDIO OUT (DIGITAL)	BNC × 4	CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8 AES/EBU フォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 4	CH1、CH2、CH3、CH4
CUE OUT	XLR × 1	
TIME CODE OUT	XLR × 1	
MONITOR OUT	XLR × 2	L/R
HEADPHONES(フロント) M6		

## RS-422A REMOTE (9P)

### REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	RECEIVE COMMON	7	TRANSMIT B
2	TRANSMIT A	5		8	RECEIVE A
3	RECEIVE B	6	TRANSMIT COMMON	9	FRAME GROUND

### REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	TRANSMIT COMMON	7	RECEIVE B
2	RECEIVE A	5		8	TRANSMIT A
3	TRANSMIT B	6	RECEIVE COMMON	9	FRAME GROUND

# コネクタの信号

## PARALLEL REMOTE (50P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	REC COMMAND	21	ERR 0 STATUS*	40	REC INH MENU STATUS
2	PLAY COMMAND	23	CUE COMMAND	41	CUE STATUS
3	FF COMMAND	24	ERR 1 STATUS*	42	REMOTE STATUS
4	REW COMMAND	26	+POWER	44	PRE CTL DETECT
5	STOP COMMAND	27	REC STATUS	45	LOCAL STATUS
10	LOCAL ENABLE COMMAND	28	PLAY STATUS	46	STBY STATUS
11	EJECT COMMAND	29	FF STATUS	47	GND
12	IN SET COMMAND	30	REW STATUS	48	STOP CODE STATUS
13	REC INHIBIT ON COMMAND	31	STOP STATUS	49	GND
14	PRE CTL INHIBIT COMMAND	33	EJECT STATUS	50	GND
15	LOCAL DISABLE COMMAND	34	ERR 2 STATUS*		
20	STBY ON/OFF COMMAND	39	REC INH MENU STATUS		

\*50ピンエラーステータス表

21番端子 ERR 0	24番端子 ERR 1	34番端子 ERR 2	AJ-HD150	
			出力優先順位	VTRの状態
0	0	0	1	SERVO NOT LOCKED
0	0	1	4	SERVO LOCKED
0	1	0	3	HIGH ERROR (UMBER)
0	1	1	2	HIGH ERROR (RED)
1	0	0	----	
1	0	1	----	
1	1	0	----	
1	1	1	----	

1 : Active\_L    0 : Open

## RS-232C REMOTE (D-SUB 25ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	略号	回路名称	内容
1	FRANE GROUND	保安用接地	フレームグランド
2	RxD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TxD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	GND	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データセットレディ	通信可能状態後正電力出力

## ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
4	REM (G)
7	REM RX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
8	REM TX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT
14	REM RX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
15	REM TX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT

# 定 格

## [総合]

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	230 W (オプション未挿入時 200 W)

動作周囲温度	5 ~ 40
動作周囲湿度	10% ~ 90% (結露なし)
重量	20 kg
外形寸法	424(max.435.4)(幅) × 175.2(高さ) × 448.9(奥行き) mm (セット足、ジャック、JOGダイヤル、FANを除く)
記録フォーマット	DVCPRO HD
記録ビデオ信号	1080i/720p、59.94 Hz/60 Hz 切換
記録オーディオ信号	48 kHz 16bit 8CH
記録トラック	デジタル・ビデオ・オーディオ ; ヘリカルトラック タイムコードはサブコード領域に記録
	キュートラック ; 1トラック
	コントロールトラック ; 1トラック
テープ速度	135.28 mm/秒
記録時間	46分 (AJ-HP46LP 使用時) 32分 (AJ-HP32LP 使用時)
使用テープ	メタルテープ
早送り / 巻戻し時間	約 1分 (AJ-HP46LP 使用時)
サーチ速度	± 50 倍速 (カラー)
デジタルスロー	プラス方向 : 1 倍速 マイナス方向 : - 1 倍速
編集精度	± 0 フレーム (タイムコード使用時)
テープタイマー精度	± 1 フレーム (連続 CTL 信号使用時)
サーボロック時間	0.3 秒以内 (スタンバイ ON)
ローディング時間	約 3 秒
オーディオスプリット編集	有り

## [ビデオ]

サンプリング周波数	Y ; 74.25 MHz、P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> ; 37.125 MHz
量子化	8 bits
ビデオ圧縮方式	DCT + 可変長符号
ビデオ圧縮比率	1/6.7
エラー訂正	リードソロモンプロダクトコード
ビデオ記録ビットレート	100 Mbps
ビデオ入力端子	
HD シリアルデジタル入力	BNC × 1 (SMPTE 292M 準拠)
HD リファレンス入力	BNC × 2 (ループスルー)、75Ω ON/OFF 切換
SD リファレンス入力	BNC × 2 (ループスルー)、75Ω ON/OFF 切換
SDTI 入力 (オプション)	BNC × 1 (SMPTE 305M/SMPTE 321M 規格に準拠)
ビデオ出力端子	
HD シリアルデジタル出力	BNC × 3 (SMPTE 292M 準拠) OUT3 はスーパーインポーズ可能
SD シリアルデジタル出力	BNC × 3 (SMPTE 259M-C/SMPTE 294M 準拠) OUT3 はスーパーインポーズ可能
HD リファレンス出力	BNC × 1
SD リファレンス出力	BNC × 1
アナログコンポジット出力	BNC × 3、ビデオ 1、ビデオ 2 (WFM OUT)、ビデオ 3 (スーパー ON/OFF) SD 再生時またはダウンコンバーター装着時に出力
SDTI 出力 (オプション)	BNC × 1 (SMPTE 305M/SMPTE 321M 規格に準拠)

# 定 格

## ビデオ調整範囲

HD SDI Y 出力ゲイン	- ~ +3 dB
HD SDI P <sub>B</sub> 出力ゲイン	- ~ +3 dB
HD SDI P <sub>R</sub> 出力ゲイン	- ~ +3 dB
HD SDI Y ブラックレベル	± 10%
HD SDI 出力システム位相	± 0.5 H (1100 Sample、27 ns ステップ)
SD SDI (コンポジットビデオ) Y 出力ゲイン	- ~ +3 dB
SD SDI (コンポジットビデオ) P <sub>B</sub> 出力ゲイン	- ~ +3 dB
SD SDI (コンポジットビデオ) P <sub>R</sub> 出力ゲイン	- ~ +3 dB
SD SDI (コンポジットビデオ) Y ブラックレベル	± 10%
SD SDI 出力システム位相	± 0.5 H (858 Sample、74 ns ステップ)
コンポジットビデオ出力システム位相	± 0.5 H (858 Sample、74 ns ステップ)
コンポジットビデオ出力 SC 位相	± 180°
SD SDI およびコンポジット出力ビデオ位相	± 0.44 H (760 Sample、74 ns ステップ)
HD SDI 出力ビデオ位相	± 0.45 H (1000 Sample、27 ns ステップ)

## [オーディオ]

デジタルオーディオ サンプリング周波数	48 kHz (ビデオに同期)
量子化	16 bits
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)
ダイナミックレンジ	90 dB 以上 (1 kHz、エンファシス OFF)
歪率	0.05% 以下 (1 kHz、エンファシス OFF、基準レベル)
クロストーク	-80 dB 以下 (1 kHz、2 チャンネル間)
ワウフラッター	測定限界値以下
ヘッドルーム	20 dB

## キュートラック

周波数特性	300 Hz ~ 6 kHz ± 3 dB
-------	-----------------------

## オーディオ入力端子

アナログ入力 (CH1 - CH4)	XLR × 4、600Ω/High インピーダンス (切換可) + 4/0/ - 20 dBm 切換可能
デジタル入力 (CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)	BNC × 4、AES/EBU フォーマット
シリアルデジタル入力	SMPTE 292M 規格に準拠 (BNC × 1)
キュートラック入力	XLR × 1、600Ω/High インピーダンス (切換可) + 4/0/ - 20/ - 60 dBm 切換可能

## オーディオ出力端子

アナログ出力 (CH1 - CH4)	XLR × 4、Low インピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBm 切換可能 (600Ω 負荷時)
デジタル出力 (CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)	BNC × 4、AES/EBU フォーマット
シリアルデジタル出力	SMPTE 292M 規格に準拠 (BNC × 3)
キュートラック出力	XLR × 1、Low インピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBm 切換可能 (600Ω 負荷時)
モニター出力	XLR × 2、Low インピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBm 切換可能 (600Ω 負荷時)
ヘッドホン出力	M6、8Ω、レベル可変

## [その他入出力信号]

タイムコード入力	XLR × 1、0.5 ~ 8 Vp-p、10 kΩ
タイムコード出力	XLR × 1、Low インピーダンス、2.0 Vp-p ± 0.5Vp-p (600Ω 負荷時)
RS-422A 入力	D-sub 9pin、RS-422A インターフェース
RS-422A 出力	D-sub 9pin、RS-422A インターフェース
RS-232C	D-sub 25pin、RS-232C インターフェース
パラレル入出力	D-sub 50pin
エンコーダリモート	D-sub 15pin



---

松下電器産業株式会社 AVC社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161